

HP Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン : 9.10

HP Financial Management ユーザーズガイド

ドキュメントリリース日: 2010年9月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2010年9月 (英語版)



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付属する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 1997-2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Intel®, Intel® Itanium®, Intel® Xeon®, および Pentium® は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows® XP, および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、Oracle Corporation とその子会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最近更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細については、HPの営業担当にお問い合わせください。

バージョン番号が9.10である理由

PPM Centerは、HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオに組み込まれています。このバージョン番号を使用するのは、PPM Centerのバージョンと、同時期にリリースされる他の製品のバージョンを揃えるためです。PPM Center 9.10はPPM Center 8.0xをベースとしており、このバージョンの製品ファミリーを拡張した製品となっています。HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオ内でリリースされる製品では、共有のテクノロジー、共通のプラットフォーム、統合、ソリューション、アップグレードツール、プロフェッショナルサービスが提供されます。

サポート

次のHPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com/>

HPソフトウェアサポートオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートWebサイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。

アクセスレベルに関する詳細は、次のWebサイトを参照してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP PassportのIDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

目次

1	はじめに	11
	HP Financial Management の紹介	11
	関連文書	13
2	コストルールの設定	15
	コストルールの設定の概要	15
	コストルールの作成	16
	コストルールの変更	17
	コストルールの値の変更	17
	コスト係数の優先順位の設定	20
	コストルールの削除	21
	コストルールのアクセス許可	21
	コストルールの変更後のコスト再計算	22
	コストルールの優先順位	22
	コストルールの例	23
	コスト係数の適用	24
3	財務為替レートと通貨の管理	27
	財務為替レートと通貨の管理	27
	通貨と為替レートの管理	28
	通貨の追加	28
	新しい為替レートの追加	29
	既存の為替レートの編集	30
	為替レート変更後の再計算	31
	地域の管理 (通貨表示)	31
	地域の作成	32
	既存の地域の変更	32
	地域とエンティティの関連付け	33

通貨表示のパーソナル設定	35
通貨の表示形式の設定	36
4 財務サマリと財務データテーブル	37
財務サマリと財務データテーブルの概要	37
ライフサイクルエンティティ (提案、プロジェクト、資産) の財務サマリ	39
ライフサイクルエンティティの財務サマリの上部にあるボタンとリンク	42
ライフサイクルエンティティの財務サマリの [サマリ] セクション	43
ライフサイクルエンティティの財務サマリの [合計 (年別)] セクション	45
ライフサイクルエンティティの財務サマリの [予測の実績の詳細]	46
ライフサイクルエンティティの財務サマリの [ベネフィットの詳細] セクション	48
ライフサイクルエンティティの財務サマリのテーブルで使用できる機能	49
ライフサイクルエンティティの財務サマリに関する一般的な情報	50
ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示	51
ライフサイクルエンティティの財務サマリの編集	52
承認された予算に明細を追加	52
予測コストおよび実績コストの明細の追加、削除、編集	54
財務ベネフィット明細の追加、削除、編集	57
メモの表示と追加	61
提案のコピー (財務サマリを含む)	62
ライフサイクルエンティティの財務サマリのスナップショット	62
スナップショットの作成	63
スナップショットの表示	64
スナップショットをレコードの計画として指定	65
スナップショットの自動作成	65
スナップショットの比較	66
ライフサイクルエンティティの財務サマリを Microsoft Excel にエクスポート	68
ライフサイクルエンティティの財務サマリの監査履歴の表示	69
ライフサイクルエンティティの財務サマリの監査履歴を表示するために必要なアクセス権限	70
ライフサイクルエンティティの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定	70
財務サマリでの提案の設定	71
財務サマリでのプロジェクトの設定	73
財務サマリでの資産の設定	76
ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限	78
プログラムの財務サマリ	82
プログラムの財務サマリの上部にあるボタンとリンク	84
プログラムの財務サマリの [サマリ] セクション	85
プログラムの財務サマリの [合計 (年別)] セクション	88
プログラムの財務サマリの [予測の実績の詳細] セクション (コストデータ)	89

プログラムの財務サマリの [ベネフィットの詳細] セクション	91
プログラムの財務サマリのテーブルで使用できる機能	92
プログラムの財務サマリの表示	93
プログラムの財務サマリの編集	93
承認された予算に明細を追加	94
予測コストおよび実績コストの明細の追加、削除、編集	95
財務ベネフィットの明細の追加、削除、編集	98
メモの表示と追加	100
プログラムの財務サマリのスナップショット	100
スナップショットの作成	101
スナップショットの表示	101
スナップショットをレコードの計画として指定	102
スナップショットの比較	103
プログラムの財務サマリを Microsoft Excel にエクスポート	104
プログラムの財務サマリの監査履歴の表示	105
プログラムの財務サマリの監査履歴を表示するために必要なアクセス権限	105
プログラムの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定	106
プログラムの財務サマリでの資産計上コストのトラッキング	106
プログラムの財務サマリでの自動計算の設定	107
プログラムの財務サマリで使用する割引率の設定	107
プログラムの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限	108
組織単位の財務サマリ	112
組織単位の財務サマリの上部と下部	112
組織単位の財務サマリの [サマリ] セクション	113
組織単位の財務サマリの [承認された予算] セクション	113
組織単位の財務サマリの表示	115
組織単位の承認済み予算に明細を追加	116
メモの表示と追加	117
組織単位の財務サマリの監査履歴の表示	118
組織単位の財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限	118
リクエストでの財務データテーブル	121
財務データテーブルの上部にあるボタンとリンク	122
財務データテーブルの [サマリ] セクション	123
財務データテーブルの [予測の実績の詳細] セクション (コストデータ)	124
財務データテーブルの [ベネフィットの詳細] セクション	124
財務データテーブルの作成と編集	125
財務データテーブルを含むリクエストまたは提案をコピー	127

ライフサイクルエンティティの遷移に伴う財務データテーブル	127
1つの提案から1つまたは複数のプロジェクトが作成された場合の財務データテーブル	127
プロジェクトから作成された資産の財務データテーブル	128
財務データテーブルを Microsoft Excel にエクスポート	129
財務データテーブルの表示および編集に必要なアクセス権限	130
財務サマリと財務データテーブルでの金額入力の設定	132
財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可	134
財務サマリの比較	139
予測と実績の比較	141
エンティティ間での予測の比較	143
財務サマリと財務データテーブルの比較	144
エンティティ間での予測の比較	146
5 プロジェクトコストのトラッキングと分析	147
プロジェクトコストのトラッキングと分析の概要	147
コストデータの計算と式	147
[プロジェクト設定] でのプロジェクトコスト計算の設定	151
作業計画での実績人件費の手入力	155
実績人件費をタイムシートからロールアップ	156
財務サマリへのコストのロールアップ	157
計画人件費をスタッフイングプロファイルからロールアップ	157
実績人件費と実績非人件費のロールアップ	157
プログラム財務サマリへのコストのロールアップ	158
プロジェクトコストの分析	158
プロジェクトの累積コストメトリクス	158
プロジェクトの現在のコストメトリクス	162
プロジェクトのアーンドバリュー分析の表示	164
プログラムコストの分析	166
6 SOP 98-1 への準拠	167
SOP 98-1 の概要と HP Financial Management	167
SOP 98-1 トラッキングの有効化	168
システム管理レベルで SOP 98-1 トラッキングを有効化	168
プロジェクトでの SOP 98-1 トラッキングの有効化	168
アクティビティを使用した資本コストのトラッキング	169
アクティビティの設定	169
アクティビティのアクセス許可	169
アクティビティの作成	170

既存のアクティビティの変更	171
アクティビティの無効化	172
アクティビティとタスクの関連付け	173
アクティビティの継承	174
プロジェクトでの資本支出と運用費データの表示	175
プロジェクトの [財務サマリ] セクションと [EVサマリ] セクション	175
[タスクの詳細] ページ	176
プログラムの資本支出と運用費データを表示	176
ポートフォリオの資本支出データを表示	177
[トータルリスク] ポートレット	177
[減損リスク] ポートレット	178
[資本化されたプロジェクトタイムライン] ポートレット	179
[資本化されたプロジェクトの内訳] ポートレットの内訳	180
A コストの計算間隔の設定	181
コストの計算間隔の概要	181
コスト計算サービス	182
索引	185

1 はじめに

HP Financial Managementの紹介

HP Project and Portfolio Management Center (PPM Center) には、HP Financial Management と呼ばれる機能セットが含まれます。HP Financial Management には次のような機能があります。

- 人件費の詳細な見積もりを目的としたコストルールのセットアップと使用
 - さまざまなコスト係数に基づいてコストレートを設定できます。
 - コスト係数には、優先順位を割り当てることができます。

詳細については、第2章「コストルールの設定」(15 ページ)を参照してください。

- 1つのPPM Center環境内で複数通貨の使用と表示に対応
 - 通貨は、ユーザベースまたはエンティティベースで表示できます。
 - 財務為替レートを使用して、通貨の値を相互にトラッキングできます。

詳細については、第3章「財務為替レートと通貨の管理」(27 ページ)を参照してください。

このマニュアルで使用する「ライフサイクルエンティティ」という用語は、提案、プロジェクト、資産を指します。また、提案、プロジェクト、資産を組み合わせたものも指します。各ライフサイクルエンティティは新規作成が可能です。ただし通常の場合、提案は、承認されると自動的にプロジェクトになり、プロジェクトは完了すると自動的に資産になります。



- 財務サマリには、特定期間内にライフサイクルエンティティとプログラムで発生したコストとベネフィットの予測および実績、承認された予算をトラッキングする機能や、特定期間内での承認された予算を組織単位ごとにトラッキングする機能があります。また、財務サマリのスナップショットの作成や、スナップショットをレコードの計画として指定することも可能です。
- 財務サマリでは、スタッフィングプロファイルから予測人件費をロールアップ(自動計算)できます。
- また、実績人件費は、HP Time Managementを使用している場合はタイムシートに記録されている時間から、HP Project Managementを使用している場合はプロジェクト作業計画からロールアップできます。
- プロジェクトの実績非人件費は、HP Project Managementを使用している場合はプロジェクト作業計画からロールアップできます。
- HP Program Managementを使用している場合、プログラムの財務サマリのロールアップでは、プログラム内のプロジェクトの財務サマリの合計が計算されます。

詳細については、第4章「財務サマリと財務データテーブル」(37 ページ)を参照してください。

- 財務データテーブルを設定、作成、使用することにより、ライフサイクルエンティティに限らず、あらゆるタイプのリクエストに関して予測と実績のコストおよびベネフィットをトラッキングできます。財務データテーブルでこのようなトラッキングを行うことにより、間接的なコストやベネフィットのトラッキングが可能になります。

詳細については、第4章「財務サマリと財務データテーブル」(37 ページ)を参照してください。

- HP Project Managementを使用して、プロジェクトのコストデータのトラッキングと分析を行います。
- 作業計画では、タスクでスケジュールされた工数または実績工数、人件費レートに基づいて、計画コストと実績コストを自動計算できます。
- プロジェクトのコストデータからアーンドバリュー (EV) 分析を実行できます。

詳細については、第5章「プロジェクトコストのトラッキングと分析」(147 ページ)を参照してください。

- Monitor SOP 98-1に準拠しています。
 - アクティビティを使用して、タスクレベルで資産計上をトラッキングできます。
 - プロジェクトテンプレートを使用して、資産計上をプロセスに組み込むことができます。
 - プログラムおよびポートフォリオレベルで資本リスクを監視できます。
- 詳細については、第6章「SOP 98-1への準拠」(167 ページ)を参照してください。

関連文書

次の文書には、HP Financial Managementに関連した情報が記載されています。

- 『HP Project Management ユーザーガイド』
- 『HP Program Management ユーザーガイド』
- 『HP Portfolio Management ユーザーガイド』
- 『HP Resource Management ユーザーガイド』
- 『HP Time Management ユーザーガイド』
- 『Operational Reporting ユーザーガイド』

これ以外の一般的な内容については、『スタートアップガイド』ガイドを参照してください。

2 コストルールの設定

コストルールの設定の概要

コストレートは、複数のコスト係数に基づいて決定されます。人員やロールにレートを1つしか割り当てないと、コストを正確に予測することはできません。また、コストレートを決定するコスト係数も変化する可能性があります。

次に例を示します。

- リソースのコストレートは、リソースごとに異なる場合があります。
- ロールのコストレートは、年ごとに異なる場合があります。
- リソースのコストレートは、請負業者とフルタイム従業員とで異なる場合があります。

さらに、コスト係数の優先順位も、組織ごとに異なる場合があります。たとえば、特定のプロジェクトのコストレートよりも、地域のコストレートが優先されることがあります。

HP Financial Management では、選択したコスト係数群に対してコストルールを設定できます。コスト係数には次のようなものがあり、優先順序の変更が可能です。

- リソース
- ロール
- 地域
- プロジェクト
- リクエストタイプ
- リソースタイプ

- 部門
- プライマリ組織単位
- パッケージワークフロー
- その他の作業項目

コストルールは、次のようなコスト計算に使用されます。

- 承認可能なタイムシートで表示されるコスト
- スタッフィングプロファイルから計算される予測コスト
- 提案と資産について、タイムシートに記録された期間の実績コスト
- プロジェクト作業計画の計画コストと実績コスト。時間データはタイムシートからのロールアップ、[マイタスク] ポートレットからのロールアップ、作業計画への直接入力が可能

コストルールを入力する際には、使用するコスト係数と優先順位を確認しておいてください。コストルールの確認と優先順位については、「[コストルールの優先順位](#)」(22 ページ)を参照してください。

コストルールの作成

新しいコストルールを作成するには、次の手順を実行してください。

1. PPM Center にログインします。
2. メニューバーから、[作成] > [管理] > [コストルール] を選択します。

[コストルールの追加] ページが開きます。

コスト ルールの追加

地域:	<input type="text"/>	🔍
リソース:	<input type="text"/>	🔍
ロール:	<input type="text"/>	🔍
リソースタイプ:	<input type="text"/>	🔍
組織単位:	<input type="text"/>	🔍
レート:	日本円 ▾ <input type="text"/>	
有効な開始日:	<input type="text"/>	📅
有効な終了日:	<input type="text"/>	📅



このページに表示されるコスト係数は、選択したコスト係数と異なる場合があります。詳細については、「コスト係数の優先順位の設定」(20 ページ)を参照してください。

3. 必要に応じて、コスト係数の値を指定します。
4. [通貨] を選択し、[レート] を入力します。
5. [作成] をクリックします。

コストルールの変更

コストルールの変更では、通貨、レート、発効日を変更できます。また、コスト係数の優先順位を変更することにより、コストルール全体を調整することも可能です。コストルールは、削除もできます。

コストルールの値の変更

コストルールのレートを変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[検索] > [管理] > [コストルール] を選択します。

[コストルールの検索] ページが開きます。

コスト ルールの検索

表示するコスト ルールの検索

詳細を表示するルール番号:

地域:

リソース:

ロール:

リソース タイプ:

組織単位:

有効なレートの範囲: ~

期限切れのルールを表示しない:

ソート基準: 昇順 降順

1 ページ当たりの表示結果数:

3. 検索条件を指定し、[検索] をクリックします。



このページに表示されるコスト係数は、選択したコスト係数と異なる場合があります。詳細については、「コスト係数の優先順位の設定」(20 ページ) を参照してください。

[コストルールの検索] ページに検索結果が表示されます。

コストルールの検索

表示するコストルールの検索							1 - 2 / 2 を表示		前へ	次へ
ルール番号 △	地域	リソース	ロール	リソースタイプ	組織単位	通貨	現在のレート			
編集	1					日本円	0			
編集	2	Joseph Banks				日本円	82			

1 - 2 / 2 を表示 前へ 次へ

表示するコストルールの検索

詳細を表示するルール番号: [実行](#)

地域: [目録](#)

リソース: [目録](#)

ロール: [目録](#)

リソースタイプ: [目録](#)

組織単位: [目録](#)

有効なレートの範囲: [目録](#) ~ [目録](#)

期限切れのルールを表示しない:

ソート基準: 昇順 降順 ページ当たりの表示結果数:

[検索](#)

4. 変更したいルールの際にある **[編集]** ボタンをクリックします。
[コストルールの編集] ページが開きます。

コストルールの編集 #2

[このルールの削除](#)

地域:
リソース: Joseph Banks
ロール:
リソースタイプ:
組織単位:

[新規レートの通知](#)

レート履歴

開始日	終了日	通貨	レート
2010/12/21		日本円	82 編集

[完了](#)

5. 変更したいルールのレートの隣にある **[編集]** ボタンをクリックします。
[レートの編集] ダイアログボックスが開きます。

レートの編集

*レート: 日本円 84

有効な開始日:

有効な終了日:

[完了](#) [キャンセル](#)

6. 通貨、レート、有効期間を変更します。
7. **[完了]** をクリックします。

コスト係数の優先順位の設定

コスト係数の優先順位は、[コストルールの検索] ページ上で左から右へと並んでいます。優先順位は、左の方が高くなります(詳細な説明と例は「コストルールの優先順位」(22 ページ)を参照してください)。

コスト係数は、コストルールで使用されている場合は削除できません。コスト係数はいつでも追加または順序変更(優先順位の変更)できます。このような変更を行うと、開いているライフサイクルエンティティとタイムシートのコストが再計算されます。



コスト係数の順序は、コストルールごとに変更できません。同じコスト係数がすべてのコストルールに適用されます。したがって、コストルールを変更した結果、コスト係数の順序が変わる場合には、システム上のすべてのコストルールに影響するので注意してください。

コスト係数の順序を変更するには、次の手順を実行してください。

1. PPM Center にログインします。
2. メニューバーで [開く] > [管理] > [財務] > [コスト係数の変更] を選択します。
[コスト係数の変更] ページが開きます。

コスト係数の変更

利用できる列	選択した列
プロジェクト	地域
リクエスト タイプ	リソース
パッケージワークフロー	ロール
各種作業項目	リソース タイプ
部署	組織単位

保存 完了 キャンセル

3. コスト係数の追加、削除、順序の変更を行うには、次の手順を実行してください。
 - コスト係数を追加するには、[利用できる列] リストでコスト係数を選択し、右矢印アイコンをクリックします。
 - コスト係数を削除するには、[選択した列] リストでコスト係数を選択し、左矢印アイコンをクリックします。
 - コスト係数の順序を変更するには、[選択した列] リストでコスト係数を選択し、上下矢印アイコンをクリックします。
4. [保存] をクリックします。

コストルールの削除

コストルールを削除するには、次の手順を実行してください。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[検索]** > **[管理]** > **[コストルール]** を選択します。

[コストルールの検索] ページが開きます。

3. 検索条件を指定し、**[検索]** をクリックします。

[コストルールの検索] ページに検索結果が表示されます。

4. 削除したいルールの隣にある **[編集]** ボタンをクリックします。

[コストルールの編集] ページが開きます。

5. **[このルールの削除]** をクリックします。

ルールの削除を確認するダイアログボックスが開きます。コストルールの削除は、取り消すことができません。

6. **[削除]** をクリックします。

これで、コストルールは削除されます。

コストルールのアクセス許可

ユーザには、所属しているセキュリティグループに基づいてアクセス許可が割り当てられます。コストルールに関連するアクセス許可を表 2-1にまとめます。このアクセス許可は、すべて **Financial Management** カテゴリに属します。

アクセス許可とセキュリティグループの詳細については、『セキュリティ モデルのガイドとリファレンス』を参照してください。

表 2-1. コストルールに関連する Financial Management のアクセス許可

アクセス許可	説明
コストルール表示	システム内にある任意のコストルールを表示できます
コストルールの編集	システム内にある任意のコストルールを編集できます
コスト係数の管理	コスト係数の順序変更、追加、削除ができます

コストルールの変更後のコスト再計算

コストルールを変更すると、コストレートルール更新サービス(「コスト計算サービス」(182 ページ)を参照)で指定したスケジュールに従ってコストが再計算されます。



コストルールの変更内容は、ただちに有効にはならない場合があります。デフォルトでは、コストの再計算は1時間ごとに実行されます。コストレートの変更は、営業時間後や週末など、業務に影響しない時間帯に行うことをお勧めします。

コストルールの優先順位

コストルールを作成する際は、コストレートを決める要因となるコスト係数と、コスト係数の優先順位を把握しておいてください。この作業は、表 2-2 で示すようなテーブルを使って行います。



テーブルを作成する際には、ルールが競合しないように注意してください。つまり、特定のトランザクション日に適用可能なルールが複数存在する場合、その日に適用できるルールは1つのみであり、これによって各コスト係数の値が決まります(ただし、リソースのデフォルトレートを除く)。PPM Centerでは、競合するルールは設定できません。

コストレートの計算では、ルールテーブルのフィルタ処理によって、コスト係数の条件に合致するルールのみが適用対象になります。これにより、トランザクション日に有効であり、コスト係数の値に合致するルール、またはコスト係数のすべての値に適用されるルールのみが選択されます。

この中から、適用するルールが決定されます。コスト係数の優先順位は、テーブル列の左から右に並んでいます。システムは、コスト係数とルールの値が完全一致するかどうかを左から右へ順番にチェックします。一致した場合、そのコスト係数のすべての値に適用される一般的なルールは無視されます。合致するルールが見つかるまで、以上の処理が左から右へ実行されます。

コストルールの例

ここでは、コストレートの選択方法を、表 2-2 を例に説明します。このテーブルの行はルール、列(ルール番号以外)はコスト係数を示します。

表 2-2. コストルールテーブルの例

ルール番号	リソース	地域	ロール	発効日	レート
1				1月9日	USD \$75
2		EMEA		1月9日	EUR €80
3		EMEA	DBA	1月9日	EUR €100
4		APAC		1月9日~7月10日	HKD \$50
5	John Doe			1月9日	USD \$200

このテーブルは、次の内容を示しています。

- 2009年以降にEMEA地域で発生するほとんどの人件費は€80/時です。
- 2009年以降にEMEA地域で発生するDBAの人件費は€100/時です。
- 2009年から2010年7月にAPAC地域で発生する人件費は\$50/時(単位は香港ドル、HKD)です。
- 2009年以降、John Doeの人件費は\$200/時です。
- 2009年以降、北米で発生する人件費は、John Doeが行う場合を除いて\$75/時です。
- 2009年以降、ロールと地域のいずれも割り当てられていないリソースを使用した作業計画のタスクは、\$75/時です。

コスト係数の適用

コスト係数は、すべてのエンティティにいつでも適用できるとは限りません。たとえば、パッケージワークフローは、パッケージに対するログ時間には関連していますが、タスクやリクエストに対するログ時間とは関連性はありません。表 2-3 では、重要なエンティティと適用対象となるコスト係数をまとめています。

表 2-3. コスト係数と適用対象のエンティティ (1/3 ページ)

エンティティ	関連するコスト係数
同期済みのスタッフィングプロファイル上にある、未処理のデマンドに対する計画人件費	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域: スタッフィングプロファイルの地域。 ● プロジェクト: スタッフィングプロファイルがプロジェクトで使用される場合。 ● リソースタイプ: スタッフィングプロファイルポジションでの定義に従う。 ● ロール: スタッフィングプロファイルポジションで指定されたロール。
同期済みのスタッフィングプロファイル上にある、割り当て済みのリソースに対する計画人件費	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域: リソースの地域。 ● プロジェクト: スタッフィングプロファイルがプロジェクトで使用される場合。 ● リソース: ポジションに割り当てられたリソース。 ● リソースタイプ: タスクに割り当てられたリソースタイプ。 ● ロール: リソースのロール。 ● 部署: リソースの部署。 ● 組織単位: リソースが所属するプライマリ組織単位。
タスクの計画コスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域: タスクのアサイン済み部分については、リソースの地域。アサインされていない部分については、プロジェクトの地域。 ● プロジェクト: 作業中のプロジェクト。 ● リソースタイプ: タスクのアサイン済み部分については、リソースのリソースタイプを使用。 ● ロール: タスクのアサイン済み部分については、リソースのロールを使用。アサインされていない部分については、タスクのロールを使用。 ● 部署: タスクのアサイン済み部分については、リソースの部署を使用。 ● リソース: タスクのアサインされている部分。 ● 組織単位: リソースが所属するプライマリ組織単位。

表 2-3. コスト係数と適用対象のエンティティ (2/3 ページ)

エンティティ	関連するコスト係数
作業計画内のタスクの実績コスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域: リソースの地域。 ● プロジェクト: 作業中のプロジェクト。 ● リソースタイプ: タスクにアサイン済みのリソースのタイプ。 ● リソース: タスクにアサイン済みのリソース。 ● ロール: リソースのロール。 ● 部署: リソースの部署。 ● 組織単位: リソースが所属するプライマリ組織単位。
タイムシートで更新されるプロジェクト、タスク、サマリタスク	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域: リソースの地域。 ● プロジェクト: 作業中のプロジェクト。 ● リソースタイプ: タスクにアサイン済みのリソースのタイプ。 ● リソース: 時間を記録しているリソース。 ● ロール: リソースのロール。 ● 部署: 時間を記録しているリソースの部署。 ● 組織単位: リソースが所属するプライマリ組織単位。
タイムシートで更新されるパッケージ	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域: リソースの地域。 ● リソースタイプ: タスクにアサイン済みのリソースのタイプ。 ● リソース: リソースのログ時間。 ● ロール: リソースのロール。 ● 部署: 時間を記録しているリソースの部署。 ● パッケージワークフロー: 作業中のパッケージのパッケージワークフロー。 ● 組織単位: リソースが所属するプライマリ組織単位。

表 2-3. コスト係数と適用対象のエンティティ (3/3 ページ)

エンティティ	関連するコスト係数
タイムシートで更新されるその他項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域: リソースの地域。 ● リソースタイプ: タスクにアサイン済みのリソースのタイプ。 ● リソース: リソースのログ時間。 ● ロール: リソースのロール。 ● 部署: 時間を記録しているリソースの部署。 ● その他の作業項目タイプ: 作業中のその他作業項目のタイプ。 ● 組織単位: リソースが所属するプライマリ組織単位。
タイムシートで更新されるリクエスト(提案と資産を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域: リソースの地域。 ● リクエストタイプ: 作業中のリクエストのタイプ。 ● リソースタイプ: タスクにアサイン済みのリソースのタイプ。 ● リソース: 時間を記録しているリソース。 ● ロール: リソースのロール。 ● 部署: 時間を記録しているリソースの部署。 ● 組織単位: リソースが所属するプライマリ組織単位。

コスト係数を組み合わせる際、PPM Center では無効または冗長な組み合わせになることがあります。次に例を示します。

- リソースと部署
- リソースとロール
- リソースと組織単位
- リソースとリソースタイプ
- リソースと地域

上記のような組み合わせでコスト係数を指定すると、コスト係数のエラーが報告されます。コスト係数の一方の値を変更するか、両方を空白にしないと、ルールは保存されません。

3 財務為替レートと通貨の管理

財務為替レートと通貨の管理

PPM Centerでは、プロジェクトや財務サマリなどのエンティティに関するコストデータを、エンティティが関連付けられている地域の通貨で表示できます。1つのエンティティを関連付けられる地域は1つに限定されます。したがって、エンティティのコストデータは、地域の現地通貨またはシステムで設定されている基本通貨のいずれかで表示されます。現地通貨と基本通貨間の交換レートは、財務為替 (FX) レートに基づいて計算されます。



通貨、為替レート、地域へのアクセスは、アクセス許可とセキュリティグループを使って制御します。通貨、為替レート、地域のセキュリティの詳細については、『セキュリティ モデルのガイドとリファレンス』を参照してください。

通貨と為替レートの管理

データ表示に使用する通貨を新しく選択できます。また、為替レートは、新規作成や既存のレートのメンテナンスが可能です。

通貨の追加

データ表示には通貨を使用できます。新しく追加した通貨は、任意の地域でのデータ表示で使用できます。通貨を新規追加する場合は、現在および先日付の為替レートも指定する必要があります。



一部の通貨では、正しく表示するために、PPM Serverのserver.confファイルでI18N_ENCODINGパラメータをUTF-8に設定する必要があります。server.confファイルの設定に関する詳細は、『Installation and Administration Guide』を参照してください。

新しい通貨を追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログインします。
2. メニューバーで[開く]>[管理]>[財務]>[為替レートの管理]を選択します。

[財務為替レートの管理]ページが開きます。

財務為替レートの管理

すべてのレートは日本円 (JPY) を基準としています

通貨	発効日 2010/01/01	発効日 2010/02/01	発効日 2010/03/01	発効日 2010/04/01	発効日 2010/05/01	発効日 2010/06/01	発効日 2010/07/01
ニュージーランドドル (NZD)	67	63	62	66	68	61	60
オーストラリアドル (AUD)	83	80	80	85	85	76	74
	レートの編集	レートの編集	レートの編集	レートの編集	レートの編集	レートの編集	レートの編集

通貨の追加

新規為替レートの追加

3. **[通貨の追加]** をクリックします。

[通貨の追加] ページが開きます。

通貨の追加

追加する通貨の選択:

すべてのレートは 日本円 (JPY) を基準としています

発効日	為替レート
*2010/01/01	<input type="text"/>
*2010/02/01	<input type="text"/>
*2010/03/01	<input type="text"/>
*2010/04/01	<input type="text"/>
*2010/05/01	<input type="text"/>
*2010/06/01	<input type="text"/>
*2010/07/01	<input type="text"/>

4. **[追加する通貨の選択]** リストから通貨を選択します。

5. **[発効日]** にあるすべての日付に対するレートを **[為替レート]** に入力します。

6. **[追加]** をクリックします。

新しい為替レートの追加

新しい為替レートを追加すると、これまでに保存したコストおよびベネフィットデータ (予測と実績、プロジェクト計画コストなど) の基本通貨額が再計算されます。

新しい為替レートを追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。

2. メニューバーで **[開く]** > **[管理]** > **[財務]** > **[為替レートの管理]** を選択します。

[為替レートの管理] ページが開きます。

3. [新規為替レートの追加] をクリックします。

[財務為替レートの追加] 画面が開き、アクティブなすべての通貨について、現在の為替レートの値が表示されます。

財務為替レートの追加

発効日:

すべてのレートは 日本円 (JPY) を基準としています

通貨	為替レート
ニュージーランドドル (NZD)	50
オーストラリアドル (AUD)	74

4. 新しい為替レートを有効にする日付を [発効日] で選択します。
5. 一覧表示されている通貨について、必要に応じて新しい為替レートを追加します。
6. [追加] をクリックします。

既存の為替レートの編集

為替レートを編集するには、[Financial Mgmt: 財務為替レートの編集] アクセス許可が必要です。

既存の為替レートを編集するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーで [開く] > [管理] > [財務] > [為替レートの管理] を選択します。
[為替レートの管理] ページが開きます。
3. 目的の期間の下にある [レートの編集] リンクをクリックします。
[財務為替レートの編集] ページが開きます。
4. 通貨の為替レート値を編集します。
5. [完了] をクリックします。

為替レート変更後の再計算

為替レートを変更すると、為替レート更新サービス（「コスト計算サービス」(182 ページ) を参照）で指定したスケジュールに従って金額が再計算されます。



為替レートの変更内容は、ただちに有効にはなりません。デフォルトでは、コストの再計算は2時間ごとに実行されます。為替レートの変更は、営業時間後や週末など、業務に影響しない時間帯に行うことをお勧めします。

地域の管理 (通貨表示)

通貨表示は、地域ごとに行われます。各地域には、現地通貨と地域カレンダーが定義されます。



地域カレンダーは、HP Project Management と HP Resource Management で使用します。地域カレンダーの詳細と使用方法については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

コストデータの表示に使用される現地通貨は、エンティティが関連付けられている地域によって決まります。次のエンティティには、地域を指定できます。

- 提案、プロジェクト、資産 (ライフサイクルエンティティ)
- 作業計画テンプレート
- リソース
- 組織単位
- スタッフィングプロファイル
- リソースプール

地域の作成

新しい地域を作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[作成]>[管理]>[地域]を選択します。
[新規地域の作成] ページが開きます。

新規地域の作成

*地域名:	<input type="text"/>
有効:	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
説明:	<input type="text"/>
*地域カレンダー:	<input type="text"/> <input type="button" value="日付"/>
*現地通貨:	<input type="text"/> ▼

3. [地域名]を入力し、[地域カレンダー]と[現地通貨]を指定します。
4. 地域を有効にするには、[有効]オプションで[はい]を選択します。
5. [作成]をクリックします。



地域の定義言語が、セッション言語に設定されます。地域は、定義言語のみで変更可能で
す。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

既存の地域の変更

既存の地域は、[地域の変更] ページで変更します。

[地域の変更] ページでは、不要な地域を無効にすることができます。地域を無効にしても、その地域を使用中のエンティティに影響はありません。ただし、新規または既存のエンティティでその地域を選択できなくなります。



地域の定義言語とセッション言語が異なる場合、地域の変更はできません。詳細については、ヘッダの[理由]をクリックして、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

既存の地域を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーで **[開く]** > **[管理]** > **[地域]** > **[地域の参照]** を選択します。
[地域の管理] ページが開きます。

地域の管理

Excelにエクスポート

地域の選択 1 - 1 / 1 を表示

名前	地域カレンダー	現地通貨	有効	説明
Enterprise	日本	JPY	はい	Enterprise

1 - 1 / 1 を表示

地域の作成

3. 目的の **[地域名]** をクリックします。
[地域の編集] ページが開きます。

地域の編集: Enterprise

地域名: Enterprise

有効: はい いいえ

説明: Enterprise

地域カレンダー: 日本

現地通貨: 日本円

この地域は使用中であるため、削除できません。

完了 キャンセル

4. 必要な変更を加えます。
5. **[完了]** をクリックします。

地域とエンティティの関連付け

地域と各種エンティティとの関連付けは、PPM Centerのページで指定します。表 3-1は、各ページでの指定に基づいて、エンティティの地域を設定します。

リソースの地域は、所属するプライマリ組織単位の地域を継承する場合と、地域が直接指定される場合があります。プライマリ組織単体に属さないリソースには、[リソース設定の変更] ページで地域を割り当てます。リソースと地域の詳細については、『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

表 3-1. エンティティの地域を選択するフィールドがあるページ

エンティティ	ページ	フィールド名
提案	[新規PFM - 提案の作成] ページ (地域は作成時のみに選択可能)	[地域]
プロジェクトと プロジェクト テンプレート	[新規プロジェクト作成] ページ (地域は作成時のみに選択可能)	[地域]
資産	[新規PFM - 資産の作成] ページ (地域は作成時のみに選択可能)	[地域]
リソース	[リソース] ページ > [リソースの変更] ページ	リソースの作業内容: <ul style="list-style-type: none"> ● [地域を継承] ● [この地域を使用]
組織単位	[新規組織単位の作成] ページ	上位組織単位 <ul style="list-style-type: none"> ● [上位から地域を継承] ● [この地域を使用]
	[組織単位] ページ > [組織単位の変更] ページ	上位組織単位 <ul style="list-style-type: none"> ● [上位から地域を継承] ● [この地域を使用]
リソースプール	[新規リソースプールの作成] ページ	[地域]
	[リソースプールの編集] ページ	
スタッフィング プロファイル	[スタッフィングプロファイルヘッダーの変更] ページ	[地域]
	[スタッフィングプロファイルの作成] ページ	

通貨表示のパーソナル設定

個人の PPM Dashboard ページとポートレットの表示で使用する通貨を選択できます。

通貨のプリファレンスを選択するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーで **[開く]** > **[管理]** > **[マイプロフィールの編集]** を選択します。

[マイプロフィールの編集] ページが開きます。

マイ プロファイルの編集 保存 完了 キャンセル

全般 | 地域設定

一般的なアプリケーションの設定

パスワードの変更

古いパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワードの再入力:

消去可能なメッセージ ダイアログ

今後表示しないように設定した警告メッセージを、再表示するように設定できます。

すべての警告メッセージを再表示

プロジェクト作業計画プリファレンス

プロジェクト作業計画での 1 ページ当たりの表示タスク数をここで設定できます。

20 タスクページ。

100 タスクページ。

ページ (最大 = 500)。

ダッシュボード コスト表示

一部のポートレットは、ここで指定する設定に基づき、システム基本通貨、またはポートレット データに合った現地通貨でコスト データを表示するように構成されます。

コストの表示方法:

基本通貨: アメリカ合衆国ドル (USD)

現地通貨

3. **[ダッシュボードコスト表示]** セクションでオプションを選択します。



現地通貨は、エンティティの地域に関連付けられている通貨であり、各ユーザの地域設定で指定されている通貨ではありません。

4. **[完了]** をクリックします。

通貨の表示形式の設定

通貨の表示形式を選択するには、プロフィールの地域設定を変更します。たとえば、[ウクライナ語 (ウクライナ)]を選択すると、1,234,56 USDのように表示されます。[英語 (アメリカ合衆国)]を選択すると、\$1,234.56のように表示されます。



通貨の表示形式を変更すると、日付や時刻の表示形式も変更されます。詳細については、『スタートアップガイド』を参照してください。

通貨の表示形式のプリファレンスを選択するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーで[開く]>[管理]>[マイプロフィールの編集]を選択します。
3. [地域設定] タブをクリックします。
4. フォーマットオプションを選択します。
5. [完了] をクリックします。

4 財務サマリと財務データテーブル

財務サマリと財務データテーブルの概要



このマニュアルで使用する「ライフサイクルエンティティ」という用語は、提案、プロジェクト、資産を指します。また、提案、プロジェクト、資産を組み合わせたものも指します。

すべてのライフサイクルエンティティとプログラムには財務サマリがあります。財務サマリでは、[予測の実績の詳細] セクションや [ベネフィットの詳細] セクションに予測と実績のコストとベネフィットが表示されます。すべてのライフサイクルエンティティ、プログラム、組織単位の財務サマリでは、[承認された予算] セクションに承認済みの予算が表示されます。

提案、プロジェクト、資産、プログラム、組織単位は、作成時(またはPPM Centerバージョン7.5からのアップグレード時)、自動作成される財務サマリの親になります。

財務サマリには上位エンティティが必要であり、独立した財務サマリは存在しません。提案、プロジェクト、資産、プログラム、組織単位には、財務サマリが1つあります。

提案が承認されてプロジェクトになる場合や、プロジェクトが完了して資産になる場合、同じ財務サマリ(コピーではありません)がこの3つの「ライフサイクルエンティティ」(提案、プロジェクト、資産)にそのまま繰り越されます。

財務データテーブルは、任意のタイプのリクエストの一部として設定できます(タイプは、ライフサイクルエンティティリクエストに限定されません)。また、財務サマリとは別に、リクエストに関連する他の財務情報のトラッキングも可能です。

この章では、財務サマリと財務データテーブルを使用する方法を説明します。
財務サマリの詳細については、次を参照してください。

- ライフサイクルエンティティについては、「[ライフサイクルエンティティ \(提案、プロジェクト、資産\)の財務サマリ](#)」を参照してください。
- プログラムについては、「[プログラムの財務サマリ](#)」(82 ページ)を参照してください。
- 組織単位については、「[組織単位の財務サマリ](#)」(112 ページ)を参照してください。

財務データテーブルについては、「[リクエストでの財務データテーブル](#)」(121 ページ)を参照してください。

ライフサイクルエンティティ (提案、プロジェクト、資産) の財務サマリ

図 4-1は、あるライフサイクルエンティティに対して新規作成された財務サマリの例です。この財務サマリは、[サマリ] セクションに限られたデータがあるだけで、他のセクションにはデータがありません。

図 4-1. ライフサイクルエンティティで新規作成した財務サマリの例

財務サマリの監査履歴

財務サマリ: Project 1001: Project 1001

財務サマリの設定 | アクセシビリティ | スナップショットの比較 | Excelにエクスポート | 保存 | 完了 | キャンセル

サマリ

名前: Project 1001 | 割引率: 0% | ステータス: In Planning

説明: | 表示通貨: 日本円 | 作成日時: 2010/12/21

スナップショット: スナップショットの作成 | スナップショットの表示 | 作成者: Admin User

HPV: ¥0 | 合計予測コスト: ¥0 | 合計実績コスト: ¥0

合計名目収益: ¥0 | 合計予測ベネフィット: ¥0 | 合計実績ベネフィット: ¥0

合計の承認された予算: ¥0 | 承認済み予算明細の表示

合計 (年別)

会計年: 2010 | ビュー: 月 | 四半期

■ 実績 ■ 予測 □ 今月

金額 (¥ 1,000)

1月10 2月10 3月10 4月10 5月10 6月10 7月10 8月10 9月10 10月10 11月10 12月10

月

予測コスト: ¥0 | 実績コスト: ¥0 | 承認された予算: ¥0

予測ベネフィット: ¥0 | 実績ベネフィット: ¥0

予測の実績の詳細

予測データがありません | 予測と実績の追加 | メモの追加

ベネフィットの詳細

ベネフィット データがありません | ベネフィットの追加 | メモの追加

保存 | 完了 | キャンセル



財務サマリのセクションの表示と編集は、財務サマリに関して設定されているユーザのアクセス許可に基づいて行われます。詳細については、「ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(78 ページ)および「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ)を参照してください。

図 4-2 と 図 4-3 は、2010年のデータを表示する財務サマリの上の部分と下の部分の例です。以下では、この図に基づいて財務サマリを説明します。

図 4-2. ライフサイクルエンティティの財務サマリの例 (上の部分)

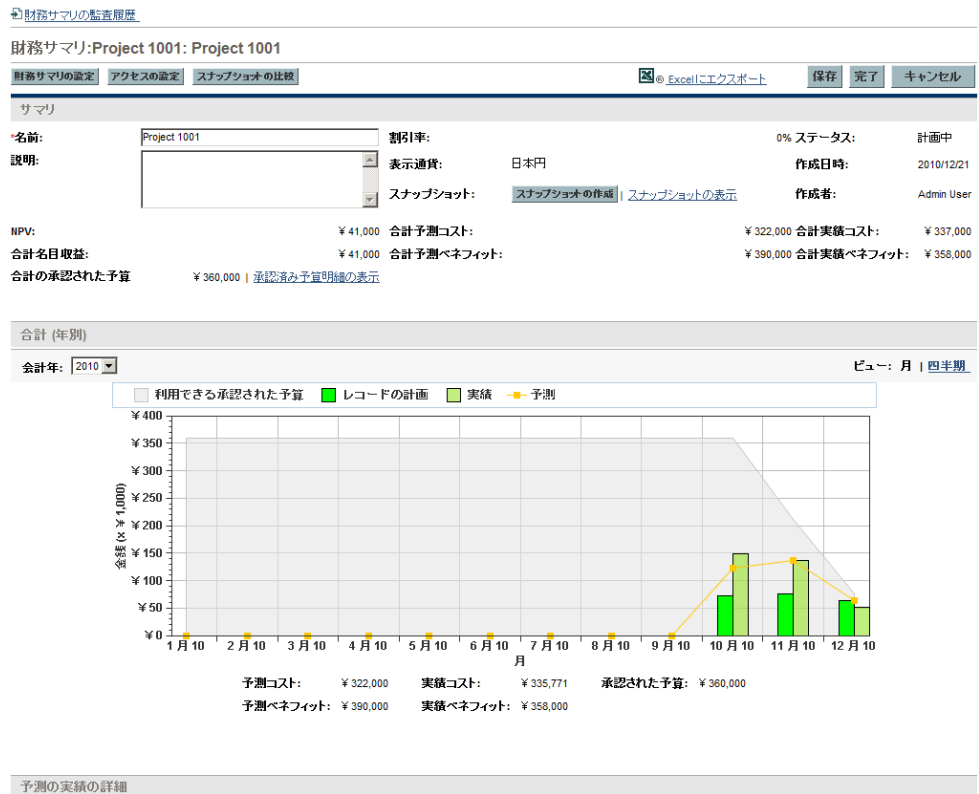


図 4-3. ライフサイクルエンティティの財務サマリの例 (下の部分)

予測の実績の詳細																				
																		予測と実績の編集	メモの追加	
ビュー: 合計のみ 詳細の明細 計画のみ 計画と実績 月 四半期																				
	2010年第4四半期(x ¥1,000)						2011年第1四半期(x ¥1,000)						2011年第2四半期(x ¥1,000)							
	10月10		11月10		12月10		1月11		2月11		3月11		4月11		5月11		6月11		7	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計	
資本金合計	0	77.000	79.000	80.000	55.000	13.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四半期合計	0	計画: ¥170.000 実績: ¥134.000						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						
運用費の合計	0	46.000	68.888	56.000	81.724	50.000	51.161	0.000	1.229	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四半期合計	0	計画: ¥152.000 実績: ¥201.771						計画: ¥0.000 実績: ¥1.229						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						
月合計	0	123.000	147.888	136.000	136.724	63.000	51.161	0.000	1.229	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四半期合計	0	計画: ¥322.000 実績: ¥335.771						計画: ¥0.000 実績: ¥1.229						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						
ベネフィットの詳細																				
																		ベネフィットの編集	メモの追加	
ビュー: 合計のみ 詳細の明細 計画のみ 計画と実績 月 四半期																				
	2010年第4四半期(x ¥1,000)						2011年第1四半期(x ¥1,000)						2011年第2四半期(x ¥1,000)							
	10月10		11月10		12月10		1月11		2月11		3月11		4月11		5月11		6月11			
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計	
収入の合計	0	60.000	70.000	80.000	80.000	90.000	80.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四半期合計	0	計画: ¥230.000 実績: ¥230.000						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						
節減合計	0	50.000	48.000	55.000	40.000	55.000	40.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四半期合計	0	計画: ¥160.000 実績: ¥128.000						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						
月合計	0	110.000	118.000	135.000	120.000	145.000	120.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四半期合計	0	計画: ¥390.000 実績: ¥358.000						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						計画: ¥0.000 実績: ¥0.000						
保存 完了 キャンセル																				

『HP Portfolio Management ユーザーガイド』で説明しているように、提案、プロジェクト、資産の財務サマリのデータは、さまざまな方法でポートフォリオ分析に活用できます。

財務サマリページには、次の形式でタイトルが付けられています。

財務サマリ: <エンティティ名>: <財務サマリの名前>

提案、プロジェクト、資産(つまり、ライフサイクルエンティティ)の財務サマリには、ボタン、Microsoft® Excelへのエクスポートのためのリンク、各種フィールドを含む[サマリ]セクション、コストおよびベネフィットデータを示すグラフやテーブルが表示されます。これについては、以下の節で説明します。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの上部にあるボタンとリンク

ライフサイクルエンティティの財務サマリの上部には、次に示すボタンとリンクがあります(40ページの図4-2を参照してください)。

- **[財務サマリの設定]** ボタン: このボタンをクリックすると、[財務サマリの設定] ウィンドウが開きます。プロジェクトの場合、フィールドは読み取り専用になります。プロジェクトの[プロジェクトの設定] ページ(フィールドを設定するページ)にある[コストと工数] ポリシーの[**Financial Management**] セクションのサブセットが表示されます。財務サマリの設定の詳細については、「**ライフサイクルエンティティの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定**」(70 ページ)を参照してください。
- **[アクセスの設定]** ボタン: このボタンを使用できるのは、他のユーザが使用する財務サマリのビュー設定や項目の編集を行う権限があるユーザのみです。アクセス許可の詳細については、「**ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限**」(78 ページ)を参照してください。
- **[スナップショットの比較]** ボタン: スナップショットの詳細については、「**ライフサイクルエンティティの財務サマリのスナップショット**」(62 ページ)を参照してください。
- **[Excelにエクスポート]** リンクは、財務サマリをMicrosoft Excel スプレッドシートにエクスポートします。詳細については、「**ライフサイクルエンティティの財務サマリを Microsoft Excel にエクスポート**」(68 ページ)を参照してください。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの [サマリ] セクション

ライフサイクルエンティティの財務サマリの [サマリ] セクションには、表 4-1 で示すフィールドが表示されます。

表 4-1. ライフサイクルエンティティの財務サマリの [サマリ] セクションにあるフィールド (1/2 ページ)

フィールド (* 必須)	説明
* 名前	財務サマリの名前。
説明	財務サマリの説明。
NPV ^a	エンティティの全期間での正味現在価値。計算方法は、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。
合計名目収益 ^a	エンティティの全期間での合計名目収益。計算方法は、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。
合計の承認された予算 ^b	エンティティの全期間に対する予算として承認されている合計金額。
割引率	割引率 (プロジェクトに適用される場合)。詳細については、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。
表示通貨	次の通貨を切り替えて、金額を表示できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 上位エンティティの通貨 (デフォルトオプション) • システムのデフォルト通貨 上記2つの通貨が異なる場合に、[表示通貨] フィールドが表示されます。
[スナップショット] フィールド、[スナップショットの作成] ボタン	財務サマリのスナップショットを作成します。詳細については、「 ライフサイクルエンティティの財務サマリのスナップショット 」(62 ページ)を参照してください。
[スナップショット] フィールド、[スナップショットの表示] リンク	財務サマリのスナップショットを一覧表示します。
合計予測コスト ^a	エンティティの全期間に対して予測されるコストの合計額。

表 4-1. ライフサイクルエンティティの財務サマリの [サマリ] セクションにあるフィールド (2/2 ページ)

フィールド (*必須)	説明
合計予測ベネフィット ^a	エンティティの全期間に対して予測 (計画) されるベネフィットの合計額。
ステータス	財務サマリの上位ライフサイクルエンティティのステータス。上位エンティティをクローズまたはキャンセルすると、財務サマリ全体が読み取り専用になります。
作成日時	財務サマリを作成した日付。
作成者	財務サマリを作成したユーザー。
合計実績コスト ^a	エンティティの全期間で実際に発生したコストの合計額。
合計実績ベネフィット ^a	エンティティの全期間で実際に発生したベネフィットの合計額。

- a. このメトリクスは、財務サマリ内のすべてのデータが対象になります。期間は、現在を基準に2年前から5年先までを指定できます。また、ライフサイクルエンティティに含まれるすべてのフェーズ (提案から、プロジェクト、資産までのフェーズ) が対象になります。
- b. [合計の承認された予算] には、財務サマリ内で承認された予算データがすべて含まれます。データは、データが存在する会計年ごとに表示できます。[合計の承認された予算] は、通常はプロジェクトのみで使用されますが、ライフサイクルエンティティの既存の全フェーズが対象となります。

エンティティの承認済み予算は、会計年の割り当て予算として承認が得られた金額です。

[**合計の承認された予算**] フィールドの右にある [**承認済み予算明細の表示**] リンクをクリックすると、[予算の詳細] ページが開き、会計年の承認済み予算の明細が一覧表示されます。[**会計年**] フィールドで年を選択できるので、現在の会計年度、来年度、すべての年度の承認済み予算を表示できます。予算明細には、名前、日付、金額、会計年、作成者、説明が表示されます。

[予算の詳細] ページで [**予算の更新**] をクリックすると、現在の会計年、前の年、次の年の承認済み予算に予算明細 (正または負の値) を追加できます。いずれの会計年についても、既存の予算明細の編集や削除はできません。明細の追加については、「承認された予算に明細を追加」(52 ページ) を参照してください。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの [合計 (年別)] セクション

ライフサイクルエンティティの財務サマリの [合計 (年別)] セクションでは、選択した会計年について、表 4-2 で示す項目をグラフで表示します (40 ページの図 4-2 を参照してください)。

表 4-2. 財務サマリのグラフ項目

グラフ項目/色	説明
灰色	その年の承認済み予算のうち、使用可能な金額を示します。承認済み予算から、実績コストまたは予測コスト (実績コストが指定されていない場合) を差し引いた額を月別に表示します。
赤の縦ライン	承認済み予算が完全になくなった時点を示します。
オレンジ色のライン	予測コスト。
黄緑の棒グラフ	実績コスト。
黄色の領域 (グラフ縦方向)	今月。
明るい緑の棒グラフ	財務サマリの [レコードの計画] スナップショットの値 (スナップショットを作成した場合)。この値と予測ラインの差異は、[レコードの計画] スナップショット作成後の予測データの変動分を示します。

グラフの下には、[予測コスト]、[実績コスト]、[承認された予算]、[予測ベネフィット]、[実績ベネフィット] の各フィールドがあり、選択した会計年のそれぞれの合計額が表示されます。

デフォルトでは現在の会計年が表示されますが、[会計年] フィールドのドロップダウンリストで2年前から5年先までの年を選択できます。[ビュー] フィールドを使用することで、月別または四半期別の表示が可能です。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの [予測の実績の詳細]

ライフサイクルエンティティの財務サマリの [予測の実績の詳細] セクションの上部には、オプションで設定可能なコスト関連データフィールドが表示されます。詳細については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください (画面の例は41ページの図4-3を参照してください)。

[予測の実績の詳細] セクションでは、エンティティの予測コストと実績コストがテーブル形式で表示されます。データは、2年前から5年先の期間を対象に月別または四半期別で表示されます。[実績] は、同じ期間中に実際に発生したコストを示します。

財務サマリでは、表示期間以外のコストを表示することもできます。すべての財務サマリデータを表示するには、財務サマリを Microsoft Excel スプレッドシートにエクスポートします。詳細については、「ライフサイクルエンティティの財務サマリを Microsoft Excel にエクスポート」(68 ページ) を参照してください。

コストは、PPM Server の設定に基づいて、資本コストと運用コストに分類できます。さらにデフォルトで、コスト明細を次のフィールドで指定できます。

- [タイプ] (「人件費」または「非人件費」)
- [カテゴリ]:
 - 「請負業者」または「従業員」([タイプ] が「人件費」に設定されている場合)
 - 「ハードウェア」、「ソフトウェア」、「トレーニング」([タイプ] が「非人件費」に設定されている場合)

これ以外のコストカテゴリを追加するには、PPM Workbench で [CST - 予算人件費カテゴリ] の検証または [CST - 予算非人件費カテゴリ] の検証を変更します。詳細については、『コマンド、トークン、妥当性検証のガイドとリファレンス』を参照してください。

- 管理者がオプションで設定できるユーザーデータフィールド (詳細については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください)

追加したコストのタイプや、[ビュー] フィールドで選択したオプション (「ライフサイクルエンティティの財務サマリのテーブルで使用できる機能」(49 ページ) を参照) によっては、[予測の実績の詳細] セクションに1つまたは2つのサブテーブルが表示されます。

- 財務サマリの上位エンティティで、資産計上コストと運用コストを別々にトラッキングしている場合（「ライフサイクルエンティティの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定」(70 ページ)を参照）、サブテーブルが1つまたは2つ追加されます。サブテーブルのヘッダーには、使用されている**〔費用タイプ〕**ごとに次の項目が表示されます。
 - **〔資本金合計〕** または **〔運用費の合計〕** (合計のみを表示する場合)。
 - **〔資本金〕** または **〔運用〕** (明細を表示する場合)。さらに、次の行が表示されます。
 - 各コスト明細に対する**カテゴリ**の行と**タイプ**の行
 - **〔資本金合計〕**、**〔運用費の合計〕**の行のどちらか、または両方
- 資本コストと運用コストを別々にトラッキングしない場合、1つまたは2つのサブテーブルが表示されます。サブテーブルのヘッダーには、使用している**〔タイプ〕**ごとに次の項目が表示されます。
 - **〔非人件費の合計〕**、**〔人件費の合計〕**のどちらか、または両方(合計のみを表示する場合)
 - **〔非人件費〕**、**〔人件費〕**のどちらか、または両方(明細を表示する場合)。さらに、次の行が表示されます。
 - 各コスト明細に対する**カテゴリ**の行
 - **〔非人件費の合計〕**、**〔人件費の合計〕**の行のどちらか、または両方

いずれの場合も、サブテーブルの最後には**〔月合計〕**または**〔四半期合計〕**というヘッダーで合計額が表示されます(ヘッダーは、データ表示の区切りが月または四半期のいずれかによって異なります)。

スタッフィングプロファイルから予測データを自動計算する方法や、タイムシートから実績データを自動計算する方法(プロジェクトについては作業計画から計算)については、「ライフサイクルエンティティの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定」(70 ページ)を参照してください。自動計算を行うと、財務サマリの**〔予測の実績の詳細〕**セクションに、予測コストまたは実績コストの明細(行)が追加されます。この行は編集できません。

〔予測の実績の詳細〕セクションには、予測または実績データをまだ入力していない場合は**〔予測と実績の追加〕**ボタン、入力済みの場合は**〔予測と実績の編集〕**ボタンが表示されます。詳細については、「**予測コストおよび実績コストの明細の追加、削除、編集**」(54 ページ)を参照してください。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの [ベネフィットの詳細] セクション

ライフサイクルエンティティの財務サマリにある [ベネフィットの詳細] セクションの上部には、オプションで設定可能なベネフィット関連のユーザータフィールドが表示されます。詳細については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください(画面の例は41ページの図4-3を参照してください)。

[ベネフィットの詳細] セクションでは、エンティティの予測ベネフィットコストと実績ベネフィットがテーブル形式で表示されます。データは、2年前から5年先の期間を対象に月別または四半期別で表示されます。[実績] は、同じ期間中に実際に発生したベネフィットを示します。

▶ 財務サマリでは、表示期間以外のベネフィットを表示することもできます。すべての財務サマリデータを表示するには、財務サマリをMicrosoft Excelスプレッドシートにエクスポートします。詳細については、「ライフサイクルエンティティの財務サマリを Microsoft Excelにエクスポート」(68 ページ)を参照してください。

ベネフィットには明細があり、次のフィールドで指定できます(デフォルト)。

- [タイプ] (「節減」、「収入」、「回避」)
- [カテゴリ]:
 - 「ハードウェア」、「人件費」、「メンテナンス」([タイプ] が「節減」に設定されている場合)
 - 「製品」または「サービス」([タイプ] が「収入」に設定されている場合)
 - 「コンプライアンス」または「リーガル」([タイプ] が「回避」に設定されている場合)

▶ ベネフィットのカテゴリを追加するには、PPM Workbenchの [財務ベネフィットの明細カテゴリリスト] の検証、[財務ベネフィットの収入カテゴリリスト] の検証、[財務ベネフィットの回避カテゴリリスト] の検証を変更します。詳細については、『コマンド、トークン、妥当性検証のガイドとリファレンス』を参照してください。

- 管理者がオプションで設定できるユーザーデータフィールド(詳細については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください)

追加したベネフィットのタイプや、[ビュー] フィールドで選択したオプション(「ライフサイクルエンティティの財務サマリのテーブルで使用できる機能」(49 ページ)を参照)によっては、[ベネフィットの詳細] セクションに1つまたは2つのサブテーブルが表示されます。サブテーブルのヘッダーには、使用している[タイプ]ごとに次の項目が表示されます。

- [収入の合計]、[節減合計]、[回避の合計] (合計のみを表示する場合)。
- [収入]、[節減]、[回避] (明細を表示する場合)。さらに、次の行が表示されます。
 - ベネフィットの各明細に対するカテゴリの行
 - [収入の合計]、[節減合計]、[回避の合計] の行

サブテーブルの最後には、[月合計] または [四半期合計] というヘッダーで合計額が表示されます(ヘッダーは、データ表示の区切りが月または四半期のいずれかによって異なります)。

[ベネフィットの詳細] セクションには、ベネフィットがまだ入力されていない場合は[ベネフィットの追加] ボタン、入力済みの場合は[ベネフィットの編集] ボタンが表示されます。詳細については、「財務ベネフィット明細の追加、削除、編集」(57 ページ)を参照してください。

ライフサイクルエンティティの財務サマリのテーブルで使用できる機能

ライフサイクルエンティティの財務サマリにある[予測の実績の詳細] セクションと[ベネフィットの詳細] セクションで表示されるテーブルでは、次のような機能を使用できます。

- 水平スクロールバーを使用して期間全体を表示できます。また必要に応じて、コストやベネフィットのカテゴリリスト内にある正式名称をスクロールバーを使用して表示できます。各テーブルで、左側にあるカテゴリと右側にある月ごとまたは四半期ごとのデータを区切る分割ラインの位置を調整できます。この機能は、[予測と実績の編集] ページと[ベネフィットの編集] ページにも適用されます。
- [計画のみ] をクリックすると計画(予測) 値のみが表示され、[計画と実績] をクリックすると計画と実績の両方の値が表示されます。この機能は、[予測と実績の編集] ページと[ベネフィットの編集] ページにも適用されます。

- [月] をクリックすると月ごとの合計額が表示され、[四半期] をクリックすると四半期ごとの合計額が表示されます。この機能は、[予測と実績の編集] ページと [ベネフィットの編集] ページにも適用されます。
- [合計のみ] をクリックすると合計のみ、[<x> 詳細の明細] (<x> はシステムによって決まる 1～100 の数値) をクリックすると明細 (および合計) が表示されます。



テーブルの明細が100行を超える場合は、合計のみを表示できます。

ライフサイクルエンティティの財務サマリに関する一般的な情報

ライフサイクルエンティティの財務サマリでは、会計期間を設定できます。会計年は任意の日付から開始できます。グレゴリオ暦での12カ月とし、小売業で使用される標準または非標準のカレンダーを使用できます。表示されるのは、管理者が作成した会計期間のみです。会計期間の詳細については、『Generating Fiscal Periods』を参照してください。

承認済み予算、予測コスト、実績コスト、予測ベネフィット、実績ベネフィットは、財務サマリの一部として処理され、個別に処理されることはありません。このようなデータの編集は、[財務サマリ] ページで直接行うのではなく、アクセス許可を持ったユーザーが財務サマリから別のページにアクセスして行います。

提案がプロジェクトになった時点、またはプロジェクトが資産になった時点で、同じ財務サマリ (コピーではありません) がこの3つの「ライフサイクルエンティティ」(提案、プロジェクト、資産) にそのまま繰り越されます。これにより、トラッキングや比較を簡単に行うことができます。



たとえば、提案がプロジェクトになると、提案とプロジェクトは同じ財務サマリを使用しますが、このように複数のライフサイクルエンティティが同じ財務サマリを使用する場合、関連するライフサイクルエンティティは削除できなくなります。



ワークフローでは、さまざまなワークフローステップにおいて1つの提案から複数のプロジェクトを作成するように設定できます。この場合、作成された各プロジェクトの財務サマリにデータは含まれません (財務データは、さまざまなプロジェクト用にカスタマイズできます。詳細については「リクエストでの財務データテーブル」(121 ページ)、特に「1つの提案から1つまたは複数のプロジェクトが作成された場合の財務データテーブル」(127 ページ) を参照してください)。

server.conf 設定ファイルで通貨金額の形式を指定するパラメータを設定する方法については、「[財務サマリと財務データテーブルでの金額入力の設定](#)」(132 ページ)を参照してください。

まだ開始されていない提案またはプロジェクトの開始日を調整した場合、変更内容に基づいて財務サマリの予測コストおよびベネフィットも調整されます。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示

提案または資産の財務サマリを表示するには、次の手順を実行してください。

1. [PFM - 提案] リクエストまたは [PFM - 資産] リクエストを検索して開きます。
2. 提案または資産の [**ビジネスケースの詳細**] セクションにある [**財務サマリ**] フィールドで、財務サマリの名前のリンクをクリックします。
[財務サマリ] ページが開きます。

プロジェクトの財務サマリを開くには、次の手順を実行してください。

1. プロジェクトを検索して開きます。
2. 次のいずれかを行います。
 - プロジェクトの [**プロジェクトサマリ**] タブを選択し、[プロジェクトコスト] セクションにある [**財務サマリの表示**] をクリックします。
 - プロジェクトの [**プロジェクトの詳細**] タブを選択し、[PFM プロジェクト] セクションにある [**財務サマリ**] で、財務サマリの名前のリンクをクリックします。
[財務サマリ] ページが開きます。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの編集

▶ 財務サマリ内のセクションを表示または編集できるかどうかは、ユーザに割り当てられている一般的なアクセス許可と、財務サマリに設定されているアクセス権限によって決まります。詳細については、「ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(78 ページ)および「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ)を参照してください。

ユーザにアクセス許可がある場合、以下で説明する手順に従って、[財務サマリ] ページで承認済み予算、予測コストおよび実績コスト、予測ベネフィットおよび実績ベネフィットを編集できます。また、承認された予算については、明細を追加することはできますが、既存の明細の変更または削除はできません。

▶ ドルなどの通貨で金額を入力する際の形式は、server.conf 設定ファイルのパラメータで指定します(「財務サマリと財務データテーブルでの金額入力の設定」(132 ページ)を参照)。

承認された予算に明細を追加

アクセス許可とアクセス権限があるユーザは(「ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(78 ページ)を参照)、提案、プロジェクト、資産の承認済み予算に明細を追加できます。ただし、既存の明細の変更はできません。

承認された予算に明細を追加するには、次の手順を実行してください。

1. [財務サマリ] ページで、[承認済み予算明細の表示] リンクをクリックします(詳細については、40 ページの図 4-2 を参照してください)。

[予算の詳細] ページが開きます。現在の会計年の予算が一覧表示されます。

予算の詳細: Project 1001

予算の更新						完了
承認された予算		会計年: 2010	会計年 2010 の会計の承認された予算: ¥ 380,000		1 - 2 / 2 を表示	前へ 次へ
名前	日付	金額 (x ¥ 1,000)	会計年	作成者	説明 (すべて展開する)	
FY2010	2011/01/05	348.000	2010	Admin User	Initial approved budget, subject to adjustment in May	
Adjustment for FY2010	2011/01/05	12.000	2010	Admin User	Covers minor increase in project scope	

1 - 2 / 2 を表示 前へ 次へ

2. [会計年] フィールドで、[すべての表示] を選択するか、ドロップダウンリストから会計年を選択します。

選択内容に基づいて、[予算の詳細] ページがリフレッシュされます。

3. [予算の更新] をクリックします。

[予算の更新] ウィンドウが開きます。

4. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (*必須)	説明
*名前	承認済み予算の明細の名前。既存の明細と同じ名前、または別の名前を指定できます。いずれの場合も、明細は新しいエントリ (行) として入力されます。
*会計年	予算明細の追加先となる会計年 (現在の会計年、昨年、来年)。
*金額	選択した会計年の承認済み予算に加算、または承認済み予算から減算する金額。負の値を入力すると、減算されます。
説明	承認済み予算に新しく追加する明細の説明 (オプション)。

5. [完了] をクリックします。

これで、承認済み予算に明細が追加されました。[会計年 <会計年> の合計の承認された予算] フィールド ([会計年] が [すべての表示] に設定されている場合は [合計の承認された予算]) の値が更新されます。

6. [予算の詳細] ページにある [完了] をクリックします。

予測コストおよび実績コストの明細の追加、削除、編集

[財務サマリのコストの編集] または [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可と、[コストの編集] アクセス権限 (「ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(78 ページ) を参照) を持つユーザは、予測コストと実績コストの明細の追加と削除、カテゴリなどのデータの編集を実行できます。

予測コストおよび実績コストの明細を編集または追加するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリの [予測の実績の詳細] セクションにコスト明細がない場合、コスト明細を追加するには [予測と実績の追加] をクリックします。明細がある場合は [予測と実績の編集] をクリックします (41 ページの図4-3 を参照してください)。

[予測と実績の編集] ページが開きます。

予測と実績の編集

保存 完了 キャンセル

予測と実績の詳細

会計年: 2010 更新日: 2010-07-01

ビュー: 仕簿のみ | 計画と実績 月: 四半期

	10年 第2四半期 (x1000)				10年 第3四半期 (x1000)				10年 第4四半期 (x1000)			
	3月10	4月10	5月10	6月10	7月10	8月10	9月10	10月10	11月10	12月10	計	実
資本金												
国 役員賞与 人件費											27,000	27,000
未指定 人件費								0,000	0,000	0,000	0,000	0,000
国 ソフトウェア 非人件費											50,000	52,000
未指定 非人件費											60,000	56,000
資本の四半期合計	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	77,000	79,000	60,000	55,000	13,000
計画 ¥0,000	実績 ¥0,000				計画 ¥0,000				実績 ¥170,000			
実績 ¥0,000	実績 ¥0,000				実績 ¥0,000				実績 ¥124,000			
運用												
国 従業員 人件費											36,000	42,000
国 ハードウェア 非人件費											10,000	10,000
国 ソフトウェア 非人件費											0,000	3,781
国 ハードウェア 非人件費											0,000	5,625
未指定 人件費											0,000	10,642
未指定 人件費											0,000	12,500
運用の四半期合計	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	46,000	68,886	56,000	61,724	50,000
計画 ¥0,000	実績 ¥0,000				計画 ¥0,000				実績 ¥152,000			
実績 ¥0,000	実績 ¥0,000				実績 ¥0,000				実績 ¥204,774			
合計												
合計	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	123,000	147,886	116,000	116,724	63,000
四半期合計	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	123,000	147,886	116,000	116,724	63,000
計画 ¥0,000	実績 ¥0,000				計画 ¥0,000				実績 ¥222,000			
実績 ¥0,000	実績 ¥0,000				実績 ¥0,000				実績 ¥235,774			

ヒント: セル内のデータを、同じ行で隣接した範囲のセルにコピーするときは、コピーするデータが入ったセルをクリックし、Shift キーを押しながらコピー範囲の最終セルをクリックします。

2. デフォルトでは現在の会計年が表示されますが、**[会計年]** フィールドのドロップダウンリストで2年前から5年先までの会計年を選択できます。

必要に応じて、**[ビュー]** オプション、水平スクロールバー、分割ラインを使用できます。詳細については、「**ライフサイクルエンティティの財務サマリのテーブルで使用できる機能**」(49 ページ)を参照してください。

コスト明細がすでに追加されている場合は、以下に注意してください。

- 財務サマリの上位エンティティで資産計上されたコストと運用コストを別々にトラッキングしている場合(「**ライフサイクルエンティティの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定**」(70 ページ)を参照)、テーブルには1つまたは2つの編集可能なサブテーブルが表示されます。このサブテーブルのヘッダーには**費用タイプ**(**[資本金]**または**[運用]**)、コスト明細行には**カテゴリ**と**タイプ**が表示されます。
- 資産計上されたコストと運用コストを別々にトラッキングしていない場合、テーブルには1つまたは2つのサブテーブル(編集可能)が表示されます。このサブテーブルのヘッダーには**タイプ**(**[非人件費]**または**[人件費]**)、コスト明細行には**カテゴリ**が表示されます。
- サブテーブルのデータは合計され、読み取り専用のサブテーブルの**[合計]**というヘッダーに合計額が表示されます。



財務サマリの**[予測の実績の詳細]** セクションにある**[前年からコピー]** をクリックすると、現在表示している会計年の前年の予測データがコピーされます。実績データはコピーされないため、財務サマリで表示されている実績データは上書されません。



財務サマリで表示できるコスト明細は、300行までです。

3. コスト明細を追加するには、次の手順を実行してください。

- a. **[コスト明細の追加]** をクリックします。

[コスト明細の追加] ページが開きます。

b. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (* 必須)	説明
*タイプ	「人件費」または「非人件費」。
*カテゴリ	「請負業者」または「従業員」([タイプ]が「人件費」に設定されている場合)。 [ハードウェア]、[ソフトウェア]、[トレーニング]([タイプ]が「非人件費」に設定されている場合)。
費用タイプ	「運用」または「資本金」。このフィールドが表示されるのは、財務サマリの上位エンティティで資産計上した費用をトラッキングしている場合のみです。詳細については、「ライフサイクルエンティティの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定」(70ページ)を参照してください。

これ以外のコストカテゴリを追加するには、PPM Workbenchで[CST - 予算人件費カテゴリ]の検証または[CST - 予算非人件費カテゴリ]の検証を変更します。詳細については、『コマンド、トークン、妥当性検証のガイドとリファレンス』を参照してください。

- c. [追加] をクリックすると、明細を追加した後 [コスト明細の追加] ページが閉じます。[他の項目を追加] をクリックすると、明細を追加した後 [コスト明細の追加] ページは開いたままになります。
4. 明細行を削除するには、対象となる明細の左の削除アイコンをクリックします。いずれの会計年についても実績額がゼロでない行には削除アイコンは表示されず、削除できません。

5. コスト明細に関連するフィールド ([55ページの手順3](#)を参照) を編集するには、次の手順を実行してください。
 - a. 編集する明細の左にある右矢印をクリックします。
[コスト明細の編集] ウィンドウが開きます。
 - b. フィールドの内容を適宜変更し、[OK] をクリックします。
6. [予測と実績の編集] ページでは、テーブルのセルをクリックすると、予測コストと実績コストのデータを編集できます。次の点に注意してください。
 - 金額は、正または負の数値で入力できます。たとえば、会計システムのデータと一致させるために、実績コストとして負の値を入力することができます。
 - 四半期ごとに表示している場合、金額は四半期内の各月へ均等に配分されます([月] オプションと [四半期] オプションを切り替えただけでは、変更されたデータは保存されません)。
 - 計画と実績の両方ではなく、計画データのみを表示している場合は、同じ行内の隣接した範囲にあるセルにデータをコピーできます。コピー元のセルをクリックし、コピー先範囲のもう一方の端のセルをクリックしてから、[SHIFT] キーを押しながら**クリック**します。
7. [保存] をクリックすると、変更内容が保存されて [予測と実績の編集] ページは開いたままになります。[完了] をクリックすると、変更内容が保存されて [財務サマリ] ページに戻ります。

財務ベネフィット明細の追加、削除、編集

[財務ベネフィットの編集] または [すべての財務ベネフィットの編集] のアクセス許可と、[ベネフィットの編集] アクセス権限 ([「ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」](#) (78 ページ) を参照) を持つユーザは、予測ベネフィットおよび実績ベネフィットの明細の追加と削除、カテゴリなどのデータの編集を実行できます。

予測ベネフィットおよび実績ベネフィットの明細を編集または追加するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリの [**ベネフィットの詳細**] セクションにベネフィット明細がない場合、コスト明細を追加するには [**ベネフィットの追加**] をクリックします。明細がある場合は [**ベネフィットの編集**] をクリックします ([40ページの図 4-2](#)を参照してください)。

[ベネフィットの編集] ページが開きます。

ベネフィットの編集

保存 完了 キャンセル

ベネフィットの詳細

会計年: 2010 前年からコピー

ビュー: 計画のみ | 計画と実績 月 | 四半期

		10年第2四半期 (x1000)						10年第3四半期 (x1000)						10年第4四半期 (x1000)					
		4月10		5月10		6月10		7月10		8月10		9月10		10月10		11月10		12月10	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
収入																			
製品		1,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	40,000	45,000	50,000	55,000	50,000	50,000
サービス		1,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	20,000	25,000	30,000	25,000	40,000	30,000
収入																			
収入の四半期合計		.000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	60,000	70,000	80,000	80,000	90,000	80,000
		計画 ¥0.000						計画 ¥0.000						計画 ¥230.000					
		実績 ¥0.000						実績 ¥0.000						実績 ¥230.000					
節減																			
ハードウェア		1,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	30,000	28,000	25,000	20,000	25,000	25,000
ソフトウェア		1,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	20,000	20,000	30,000	20,000	30,000	15,000
節減																			
節減の四半期合計		.000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	50,000	48,000	55,000	40,000	55,000	40,000
		計画 ¥0.000						計画 ¥0.000						計画 ¥160.000					
		実績 ¥0.000						実績 ¥0.000						実績 ¥128.000					
合計																			
合計		.000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	0,000	110,000	118,000	135,000	120,000	145,000	120,000
四半期合計		計画 ¥0.000						計画 ¥0.000						計画 ¥390.000					
		実績 ¥0.000						実績 ¥0.000						実績 ¥358.000					

ヒント: セル内のデータを、同じ行で隣接した範囲のセルにコピーするときは、コピーするデータが入ったセルをクリックし、Shift キーを押しながらコピー範囲の最終セルをクリックします。

2. デフォルトでは現在の会計年が表示されますが、[会計年] フィールドのドロップダウンリストで2年前から5年先までの会計年を選択できます。

ベネフィット明細がすでに追加されている場合は、以下に注意してください。

- 追加されているベネフィットのタイプによって、[ベネフィットの編集] ページのテーブルには1つまたは2つの編集可能なサブテーブルが表示されます。このサブテーブルのヘッダーには、使用されているベネフィットのタイプ ([収入]、[節減]、[回避])、行には各ベネフィット明細のカテゴリが表示されます。すでに入力されている値は、60 ページの手順4から60 ページの手順6の手順で編集できます。
- [収入]、[節減]、[回避] のサブテーブルに含まれるデータは合計され、[合計] と強調表示された見出しをもつテーブルに表示されます。



財務サマリの「**ベネフィットの詳細**」セクションにある「**前年からコピー**」をクリックすると、現在表示している会計年の前年の予測データがコピーされます。実績データはコピーされないため、財務サマリで表示されている実績データは上書されません。



財務サマリで表示できるベネフィット明細は、300行までです。

3. ベネフィット明細を追加するには、次の手順を実行してください。

a. 「**ベネフィット明細の追加**」をクリックします。

「**ベネフィット明細の追加**」ページが開きます。

b. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (* 必須)	説明
*タイプ	[節減]、[収入]、[回避]。
*カテゴリ	「ハードウェア」、「人件費」、「メンテナンス」、「ソフトウェア」([タイプ]が「節減」に設定されている場合)。 「製品」または「サービス」([タイプ]が「収入」に設定されている場合)。 「コンプライアンス」または「リーガル」([タイプ]が「回避」に設定されている場合)。



ベネフィットのカテゴリを追加するには、PPM Workbenchの「**財務ベネフィットの明細カテゴリリスト**」の検証、「**財務ベネフィットの収入カテゴリリスト**」の検証、「**財務ベネフィットの回避カテゴリリスト**」の検証を変更します。詳細については、『**コマンド、トークン、妥当性検証のガイドとリファレンス**』を参照してください。

- c. **[追加]** をクリックすると、明細の追加後に **[ベネフィット明細の追加]** ページが閉じます。**[他の項目を追加]** をクリックすると、明細の追加後に **[ベネフィット明細の追加]** ページは開いたままになります。
4. 明細行を削除するには、明細の左にある **削除** アイコンをクリックします。いずれの会計年についても、実績額がゼロでない行には **削除** アイコンは表示されず、削除できません。
5. ベネフィット明細に関連するフィールド (**59 ページの手順3** で説明したフィールド) を編集するには、次の手順を実行してください。
 - a. 編集する明細の左にある右矢印をクリックします。
[ベネフィット明細の編集] ウィンドウが開きます。
 - b. フィールドの内容を適宜変更し、**[OK]** をクリックします。
6. **[ベネフィットの編集]** ページでは、テーブルのセルをクリックすると、予測ベネフィットと実績ベネフィットのデータを編集できます。次の点に注意してください。
 - 金額は、正または負の数値で入力できます。たとえば、会計システムのデータと一致させるために、実績コストとして負の値を入力することができます。
 - 四半期ごとに表示している場合、金額は四半期内の各月へ均等に配分されます(**[月]** オプションと **[四半期]** オプションを切り替えただけでは、変更されたデータは保存されません)。
 - 計画と実績の両方ではなく、計画データのみを表示している場合は、同じ行内の隣接した範囲にあるセルにデータをコピーできます。コピー元のセルをクリックし、コピー先範囲のもう一方の端のセルをクリックしてから、**[SHIFT]** キーを押しながら **クリック** します。
7. **[保存]** をクリックすると、変更内容が保存されて **[ベネフィットの編集]** ページは開いたままになります。**[完了]** をクリックすると、変更内容が保存されて **[財務サマリ]** ページに戻ります。

メモの表示と追加

財務サマリでコストを表示できるユーザは、[予測の実績の詳細] セクションでメモを表示することもできます。財務サマリでコストを変更できるユーザは、[予測の実績の詳細] セクションでメモを追加することもできます。

財務サマリでベネフィットを表示できるユーザは、[ベネフィットの詳細] セクションでメモを表示することもできます。財務サマリでベネフィットを変更できるユーザは、[ベネフィットの詳細] セクションでメモを追加することもできます。



キャンセルまたはクローズ状態のライフサイクルエンティティについては、財務サマリでメモを追加することはできません。

詳細については、「[ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限](#)」(78 ページ)および『セキュリティ モデルのガイドとリファレンス』を参照してください。

メモを表示または追加するには、次の手順を実行してください。

1. [メモ] ボタンをクリックします。



ボタンのラベルは、状況に合わせて変わります。メモが存在しない場合、ボタンは[メモの追加]になります。メモが存在する場合、ボタンにはメモの数が表示されます。

[メモ] ダイアログボックスが開きます。

2. メモを表示するには、[既存のメモ] セクションで、既存のメモを検索します。
3. メモを追加するには、[メモ] フィールドに内容を入力してください。

[保存] をクリックすると、内容が保存された後、別のメモを入力できます。[完了] をクリックすると、内容が保存された後、[メモ] ダイアログボックスは閉じます。[キャンセル] をクリックすると、内容を保存しないでダイアログボックスを閉じます。

提案のコピー (財務サマリを含む)

[**コピーの作成**] ボタンを使って提案をコピーすると、コピーの財務サマリには次の内容が含まれます。

- 予測コストと予測ベネフィット (ただし、スタッフィングプロファイルから計算された予測コスト明細は含まれません)
- [名前] フィールドと [説明] フィールド
- アクセス制御リスト ([アクセスの設定] ページのデータ)
- 財務サマリの設定



財務サマリへのアクセス許可がない場合、財務サマリのデータはコピーされません。

次の財務サマリデータは、コピー対象には含まれません。

- 承認された予算
- スナップショット
- 実績コストと実績ベネフィット
- スタッフィングプロファイルから計算された予測コスト明細
- メモ

オリジナルの提案とコピーされた提案は、それぞれ別々に編集できます。1つまたは複数の提案の内容を変更して代替案とし、相互に比較することもできます。

ライフサイクルエンティティの財務サマリのスナップショット

財務サマリのスナップショットは、予測コスト、実績コスト、予測ベネフィット、実績ベネフィット、承認された予算をコピーしたものであり、いつでも作成できます。スナップショットの外観や機能は財務サマリと同じですが、次のような相違点があります。

- スナップショットのページには、次の形式のタイトルが付けられています。

スナップショット: <エンティティ名>: <スナップショット名>

- スナップショットには、財務サマリの [NPV] フィールド、[合計名目収益] フィールド、メモは含まれません。
- スナップショットの財務サマリデータは読み取り専用なので、編集や保存用のボタンはありません。

スナップショットの [名前] フィールドと [説明] フィールドは編集可能です。また、財務サマリのデータを、スナップショットの内容に戻すことはできません。

財務サマリのスナップショットには、財務サマリの表示オプションがすべて含まれます (「ライフサイクルエンティティの財務サマリのテーブルで使用できる機能」(49 ページ)を参照してください)。

2年前から5年先の範囲以外のデータが財務サマリに含まれている場合、スナップショットにも同じデータが含まれます。スナップショットは、財務サマリと同様に、Microsoft Excel にエクスポートできます (「ライフサイクルエンティティの財務サマリを Microsoft Excel にエクスポート」(68 ページ)を参照してください)。

スナップショットの作成

スナップショットを作成するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリで、[スナップショットの作成] をクリックします (40 ページの図 4-2 を参照してください)。
2. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (* 必須)	説明
* 名前	スナップショットの名前。デフォルトは、 スナップショット番号<X> です。<X> は、新規スナップショットに割り当てられる連番で、1 から始まります。
説明	スナップショットの説明。

3. [完了] をクリックします。

スナップショットが作成され、表示オプションを使用できるようになります。

スナップショットの表示

財務サマリから作成したスナップショットを一覧表示するには、次の手順を実行してください。

1. **[スナップショットの表示]** リンクをクリックします (40ページの図4-2を参照してください)。

上位エンティティの財務サマリのスナップショットが一覧表示されます。

Project 1001 のスナップショット

表示するスナップショットの選択					レコードの計画として設定	完了
レコードの計画	名前	日付	作成者	説明 (すべて展開する)	2個のスナップショットの 1 - 2 を表示 前へ 次へ	
<input type="checkbox"/>	スナップショット番号 2	2010/12/29	Admin User	Second snapshot of Project 1001		
<input checked="" type="checkbox"/>	スナップショット番号 1	2010/12/29	Admin User	First snapshot of Project 1001		

レコードの計画として指定

2個のスナップショットの 1 - 2 を表示 前へ 次へ

このリストには、次の列が含まれています。

列	説明
レコードの計画	[レコードの計画] スナップショットのインジケータと、レコードの計画の変更に使用するオプションが表示されます。詳細については、「スナップショットをレコードの計画として指定」(65ページ)を参照してください。
名前	スナップショットの名前。
日付	スナップショットが作成された日付。
作成者	スナップショットを作成したユーザ。
説明	スナップショットの説明で、作成時に入力します。この列は拡張できるので、長いテキストの指定も可能です。

リスト内のスナップショットでは、[レコードの計画] 列と [名前] 列の間に右矢印が表示されます。この右矢印をクリックすると、スナップショットの [名前] と [説明] を変更できます。

2. [名前] 列にあるスナップショット名をクリックすると、そのスナップショットが開きます。

スナップショットをレコードの計画として指定

財務サマリのスナップショットは、レコードの計画として指定することができます。

デフォルトでは、提案が承認されてプロジェクトになる時点で、財務サマリのスナップショットが自動作成され、そのプロジェクトのレコードの計画として指定されます。



レコードの計画を複数指定する場合には注意が必要です。レコードの計画を変更する場合には、現在のスナップショットは、提案が承認されてプロジェクトになった際のスナップショットであることなど、履歴がわかる内容を[説明]に入力してください。

レコードの計画のスナップショットを変更するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリの[サマリ]セクションで、[スナップショットの表示]をクリックします(40ページの図4-2を参照してください)。

スナップショットが一覧表示されます。

2. [レコードの計画]列で、レコードの計画として指定するスナップショットを選択します。

現在のレコードの計画以外のスナップショットを選択すると、[レコードの計画として設定]ボタンが表示されます。

3. [レコードの計画として設定]をクリックします。

4. [完了]をクリックします。

プロジェクトを直接作成する場合(つまり、提案の承認という手順を経ないで作成)、最初に作成したプロジェクトスナップショットがレコードの計画になりますが、他のスナップショットを作成した後で変更できます。

スナップショットの自動作成

次の場合、財務サマリのスナップショットは自動的に作成されます。

- デフォルトでは、提案が承認されてプロジェクトになる時点で、ワークフローステップにより、財務サマリのスナップショットが自動作成されます(そのプロジェクトのレコードの計画として指定されます)。提案には、[承認済み提案のスナップショット]フィールドが追加されます。このフィールドには、スナップショットへのリンクが指定されます。

- デフォルトでは、プロジェクトが完了して資産になる時点で、ワークフローステップにより、財務サマリのスナップショットが自動的に作成されます。
- PPM Centerをバージョン7.5から8.00にアップグレードした場合は、次の点に注意してください。
 - 上記のようにスナップショットを自動作成するように、提案とプロジェクトのワークフローを変更してください。詳細については、『HP Portfolio Management 設定ガイド』を参照してください。
 - バージョン7.5では、提案が承認された時点で新しいプロジェクトに予算が自動コピーされたり、プロジェクトが完了した時点で新しい資産に予算が自動コピーされましたが、バージョン8.00では、予算はスナップショットになります。
 - スクリプトを実行することによって、独立した（つまりエンティティに関連付けられていない）予算または財務ベネフィット（バージョン7.5）を、ライフサイクルエンティティの財務サマリのスナップショット（バージョン8.00）に変換できます。このスクリプトの詳細については、『Upgrade Guide』を参照してください。

スナップショットの比較

予測データのコスト明細を比較する場合、最大5つのスナップショット、または4つのスナップショットと現在の財務サマリを一度に比較できます。比較対象には、レコードの計画スナップショットも含めることができます。

スナップショットを比較するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリの上部にある「**スナップショットの比較**」をクリックします（40ページの図4-2を参照してください）。

「スナップショットの比較」ページが開きます。

スナップショットの比較: Project 1001

比較するスナップショット (5個以内) を選択してください。

比較日:

次の日まで

比較対象スナップショットの選択

比較対象スナップショットの選択						3個のスナップショットの 1-3 を表示	前へ	次へ
	現在/POR	名前	日付	作成者	説明 (すべて展開する)			
<input type="checkbox"/>	現在の財務サマリ	Project 1001	2010/12/21	Admin User				
<input type="checkbox"/>		スナップショット番号 2	2010/12/29	Admin User	Second snapshot of Project 1001			
<input type="checkbox"/>	レコードの計画	スナップショット番号 1	2010/12/29	Admin User	First snapshot of Project 1001			

3個のスナップショットの 1-3 を表示

- (オプション) [比較日] フィールドで、比較の対象となる日付の範囲を指定します。日付は、いずれか一方または両方のフィールドに指定できます。
- [比較対象スナップショットの選択] セクションには、比較対象となるスナップショットが一覧表示されます。

[現在/POR] 列には、次の内容が表示されます。

- レコードの計画スナップショット
- 現在の財務サマリ（作成したスナップショットの有無は関係ありません）選択すると、現在の財務サマリの予測および実績のコスト明細が表示されます。

[日付] 列にはスナップショットの作成日が表示されます。現在の財務サマリの場合は、親が作成された日付が表示されます。

[説明] 列の内容が途中で切れている場合は、[すべて展開する] リンクをクリックすると展開されます。

比較対象のチェックボックスを選択します。スナップショットは5つまで、またはスナップショット4つと現在の財務サマリを選択できます。

- [送信] をクリックします。

スナップショットの比較結果が表示されます。

スナップショットの比較: Project 1001

比較するスナップショット: Project 1001, スナップショット番号 1, スナップショット番号 2

資本系	Project 1001 (予測)	Project 1001 (実績)	スナップショット番号 1	スナップショット番号 2
人件費: 請求業者	¥ 60,000	¥ 27,000	¥ 60,000	¥ 60,000
人件費: 半指定	¥ 30,415,999.99	¥ 0	¥ 0	¥ 0
個人件費: ソフトウェア	¥ 110,000	¥ 107,000	¥ 0	¥ 0
運用				
個人件費: ハードウェア	¥ 26,000	¥ 31,000	¥ 26,000	¥ 26,000
個人件費: ソフトウェア	¥ 0	¥ 12,000	¥ 0	¥ 0
人件費: 従業員	¥ 124,000	¥ 125,000	¥ 124,000	¥ 124,000
人件費: 半指定	¥ 0	¥ 0	¥ 0	¥ 0
合計	¥ 36,737,599.99	¥ 392,600	¥ 212,600	¥ 212,600

[リソースの概要] [閉]

予測データは、コスト明細ごとに比較されます。現在の財務サマリを比較対象にした場合は、予測コストと実績コストが表示されます。

ライフサイクルエンティティの財務サマ리를 Microsoft Excelにエクスポート

財務サマリの上部にある「**Excelにエクスポート**」リンク (40ページの図4-2を参照) をクリックすると、ライフサイクルエンティティの財務サマリ全体を Microsoft Excel スプレッドシートにエクスポートできます。ただし、「**合計 (年別)**」セクションとメモは除外されます。



Microsoft Internet Explorer バージョン7を使用している場合は、インターネットオプションが正しく設定されていることを確認してください。詳細については、『スタートアップガイド』を参照してください。

スプレッドシートには、次のデータがエクスポートされます。財務サマリで選択した表示オプションに関係なく、ユーザのアクセス許可で表示可能なデータがエクスポートされます。

- 予測および実績データ。四半期別ではなく月別です。
- 明細行。コストおよびベネフィットのカテゴリ別に集計されます。
- 「**予測の実績の詳細**」セクションと「**ベネフィットの詳細**」セクションでテーブル表示されているデータベース内で、会計年にゼロ以外の数値があるデータ。財務サマリで表示されるのは2年前から5年先までのデータのみですが、スプレッドシートにはこれ以外のデータもエクスポートされます。したがって、何年かのデータをまとめて参照したい場合は、財務サマリを Microsoft Excel にエクスポートすると便利です。
- コスト明細のユーザデータとベネフィット明細のユーザデータ。財務サマリでは最大5列ですが、上限はありません。

Microsoft Excel スプレッドシートにエクスポートするすべての財務データでは、財務サマリで選択した通貨が使用されます。

Microsoft Excel スプレッドシートのファイル名はExportFSToExcel.xlsです。

財務サマリのスナップショットを Microsoft Excel にエクスポートすることもできます。スプレッドシートは、財務サマリを Microsoft Excel にエクスポートする場合と同じです。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの監査履歴の表示

財務サマリの監査履歴は、ライフサイクルエンティティの財務サマリに対する変更内容をトラッキングします。財務サマリの変更には、PPM CenterまたはWebサービスを使用します。

[財務サマリの監査履歴] ウィンドウを表示するには、財務サマリの上部にある[**財務サマリの監査履歴**]リンクをクリックします。監査履歴イベントが、日付が新しい順に一覧表示されます。

監査履歴の列名は、表 4-3を参照してください。

表 4-3. ライフサイクルエンティティの財務サマリの監査履歴で表示される列

列名	説明
日付	イベントの日付と時刻。
ユーザ	イベントを開始したユーザ。
タイプ	イベントの対象となった財務サマリ内のモジュール： <ul style="list-style-type: none">● 承認された予算● ベネフィット● 予測● レコードの計画● スナップショット
コンテキスト	監査エントリ。
イベント	監査履歴のイベントの内容。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの監査履歴を表示するために必要なアクセス権限

財務サマリの監査履歴では、財務サマリに関するアクセス権限とアクセス許可に基づいてエントリが表示されます。詳細については、表 4-4を参照してください。



アクセス権限(たとえば、レコードの計画のスナップショットを設定する権限など)を割り当てても、アクセス許可がなければ操作を実行できません。つまり、アクセス権限とアクセス許可の両方が必要になります。詳細については、「ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(78 ページ)を参照してください。

表 4-4. ライフサイクルエンティティの財務サマリの監査履歴を表示するために必要なアクセス権限

アクセス権限	説明
コストの表示/編集	予測データの更新に関する監査履歴エントリの表示
ベネフィットの表示/編集	ベネフィットに関する監査履歴エントリの表示
承認された予算の編集	承認された予算の更新に関する監査履歴エントリの表示
レコードの計画の設定	スナップショットの追加に関する監査履歴エントリの表示。[レコードの計画] アクセス許可として [財務サマリのスナップショットの設定] を持つユーザは、レコードの計画の更新に関するエントリも表示できます。

ライフサイクルエンティティの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定

ライフサイクルエンティティの財務サマリでは、コストの資産計上のトラッキングの設定や、予測コストや実績コストの自動計算(ロールアップ)の有効化と無効化を行います。具体的な計算方法については、「コストデータの計算と式」(147 ページ)および『HP Resource Management ユーザーガイド』を参照してください。

ここでは、財務サマリの設定について説明します。設定内容を表示または変更するには、財務サマリの上部にある「**財務サマリの設定**」をクリックしてください(40ページの図 4-2を参照)。財務サマリの設定変更には、財務サマリコストを編集する権限が必要です。



ここでは、ライフサイクルエンティティの財務サマリで、タイムシート、プロジェクト、作業計画に入力されたデータに基づいて、人件費と非人件費の実績値を自動計算する設定について説明します。計算を行う頻度は、コストロールアップサービスの設定に基づきます。詳細については、『Installation and Administration Guide』を参照してください。



提案、プロジェクト、資産で資産計上されたコストをトラッキングするには、`server.conf` 設定ファイルの `COST_CAPITALIZATION_ENABLED` パラメータを `true` に設定する必要があります。このパラメータは、インストール時に管理者が設定します。PPM Center の使用開始後は変更しないでください。

次に、財務サマリで行う提案、プロジェクト、資産の設定について説明します。

提案がプロジェクトになり、さらに資産になる過程では、財務サマリで行うそれぞれの設定内容に基づいて、資産計上や自動計算が行われます。

以下の説明では、オプションにスタッフィングプロファイルが使用されます。スタッフィングプロファイルの詳細については『HP Resource Management ユーザーガイド』および『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。

財務サマリでの提案の設定

財務サマリで [財務サマリの設定] をクリックすると、[財務サマリの設定] ページが開きます (図 4-4 を参照)。

図 4-4. [財務サマリの設定] ページで提案を設定

財務サマリの設定

- 提案は、資本コストを記録するプロジェクト用です。
- スタッフィングプロファイルから予測人件費を計算します。
- 提案リクエストと照らし合わせて記録された時間から、実際の人件費を計算します。

保存 キャンセル

財務サマリで提案の設定を行うには、次の手順を実行してください。

1. PPM Centerにログオンします。
2. 提案を開きます。
3. 提案の [**ビジネスケースの詳細**] セクションで、 [**財務サマリ**] フィールドにあるリンクをクリックすると、提案の財務サマリが開きます。
4. 財務サマリで、 [**財務サマリの設定**] をクリックします。
5. 必要に応じて、財務サマリの設定を指定します。

財務サマリでは、次に示すように提案の設定を行います。

- **[提案は、資本コストを記録するプロジェクト用です]:** このオプションでは、提案のプロジェクトで、資産計上したコストのトラッキングを行うかどうかを指定します。このオプションを選択しない場合、提案の財務サマリにコスト明細を追加する際、 [**費用タイプ**] ([**運用**] または [**資本金**]) を指定できなくなります。つまり、コストはすべて運用費として処理されます。
- **[スタッフィングプロファイルから予測人件費を計算します]:** このオプションは、財務サマリ上で、予測人件費 (提案されたプロジェクト) をスタッフィングプロファイルから計算 (ロールアップ) するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、予測データ明細 (読み取り専用) が財務サマリに自動的に追加され、スタッフィングプロファイルの見積もりデータが反映されます。提案されたプロジェクトの予測人件費が運用コストと資本コストのどちらになるかは、スタッフィングプロファイルのポジション (保証済み割り当てを含む) と、上記で説明した [**提案は、資本コストを記録するプロジェクト用です**] オプションに基づいて決まります。
- **[提案リクエストと照らし合わせて記録された時間から、実際の人件費を計算します]:** このオプションは、財務サマリ上で、タイムシート上の時間と提案リクエストに基づいて実績人件費を計算 (ロールアップ) するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、財務サマリは次のように処理されます。
 - コスト明細 (読み取り専用) が財務サマリに自動的に追加され、タイムシートの実績人件費が反映されます。

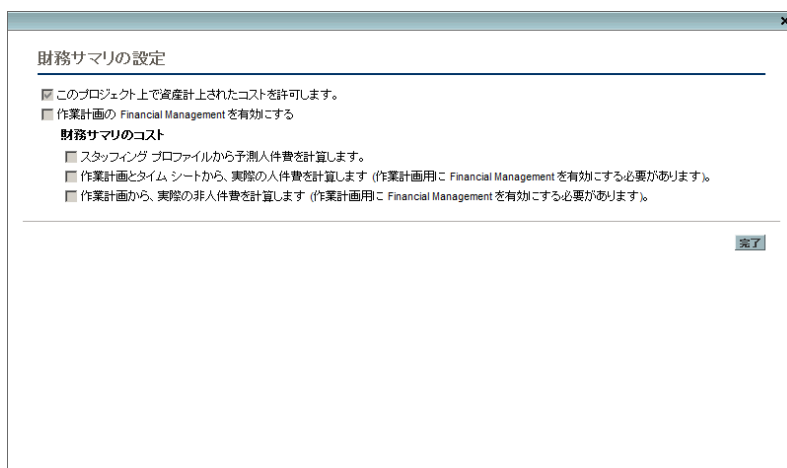
- タイムシートでのカテゴリに関係なく、実績人件費はすべて資本コストではなく運用コストとしてロールアップされます。
- 財務サマリでの実績人件費のカテゴリは、リソースの[コストカテゴリ]に基づきます。[コストカテゴリ]が指定されていない場合、コスト明細の実績人件費には[未指定]と表示されます。

財務サマリでのプロジェクトの設定

プロジェクトについて、読み取り専用の[財務サマリの設定]を表示するには、次の手順を実行してください。

1. PPM Centerにログオンします。
2. プロジェクトを開きます。
3. [プロジェクトの詳細] タブで、[財務サマリ] フィールドのリンクをクリックすると、プロジェクトの財務サマリが開きます。
4. 財務サマリで、[財務サマリの設定] をクリックします。

読み取り専用の[財務サマリの設定] ページが開きます。



プロジェクトの財務サマリ設定を指定するには、次の手順を実行してください。

1. PPM Centerにログオンします。
2. プロジェクトを開きます。

3. **[プロジェクト設定]** をクリックします。
4. **[プロジェクトの設定]** ページで、**[設定するポリシーの選択:]** の下の **[コストと工数]** ポリシーを開きます。
5. **[Financial Management]** セクションの **[作業計画の Financial Management を有効にする]** チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. **[コストと工数]** ポリシーの **[Financial Management]** セクションで、次に示すように財務サマリを設定します (**[Financial Management]** セクションには、財務サマリ設定に関連しないオプションもあります。これは、計画および実績の person 費をプロジェクト作業計画にロールアップする方法に関する設定であり、詳細は「**[プロジェクト設定]** での **プロジェクトコスト計算の設定**」(151 ページ)を参照してください)。

財務サマリでは、次に示すようにプロジェクトの設定を行います。

- **[このプロジェクト上で資産計上されたコストを許可します]:** このオプションは、資産計上されたコストをプロジェクトでトラッキングするかどうかを指定します。このオプションを選択しない場合、プロジェクトの財務サマリにコスト明細を追加する際、**[費用タイプ]** (**[運用]** または **[資本金]**) を指定できなくなります。つまり、コストはすべて運用費として処理されます。
- **[作業計画の Financial Management を有効にする]:** このオプションでは、プロジェクト作業計画のコスト計算に HP Financial Management を使用する設定を行い、**[コストと工数]** ポリシーのオプションを有効または無効にします (ただし、**[スタッフィングプロファイルから予測人件費を計算します]** は除きます。このオプションは常に設定可能です)。
- **[スタッフィングプロファイルから予測人件費を計算します]:** このオプションは、財務サマリ上で、予測人件費をスタッフィングプロファイルから計算 (ロールアップ) するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、予測データ明細 (読み取り専用) が財務サマリに自動的に追加され、スタッフィングプロファイルの見積もりデータ (資本コストと運用コストの分割比など) が反映されます。

計画人件費は、スタッフィングプロファイル内の場所の予測データに適用されるコストレートルールに基づいて計算されます。

▶ 提案が承認されてプロジェクトになると、ワークフロー内のコマンドによって提案のスタッフリングプロファイルのステータスが[承認済み]となり、そのスタッフリングプロファイルのコピーがプロジェクトのスタッフリングプロファイルになります。

スタッフリングプロファイルのステータスが[承認済み]、[ベースライン]、[キャンセル済み]の場合、スタッフリングプロファイルからコストはロールアップされません。

- [作業計画とタイムシートから、実際の人件費を計算します (作業計画用にFinancial Managementを有効にする必要があります)。] このオプションは、プロジェクト作業計画でHP Financial Managementが有効になっている場合に使用できます。このオプションでは、プロジェクトの作業計画とタイムシートに記録された時間から実績人件費を計算 (ロールアップ) するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、財務サマリは次のように処理されます。

- コスト明細 (読み取り専用) が財務サマリに自動的に追加され、作業計画とタイムシートの実績人件費が反映されます。
- 実績人件費を資産計上するかどうかの区分はタスクアクティビティで設定され、この設定は財務サマリに保存されます。
- 財務サマリでの実績人件費のカテゴリは、リソースの[コストカテゴリ]に基づきます。[コストカテゴリ]が指定されていない場合、コスト明細の実績人件費には[未指定]と表示されます。

▶ 作業計画の実績値は、プロジェクトの財務サマリにただちに反映されない場合があります。コストのロールアップは、HP Financial Managementがシステム全体を対象に定期的に行います。詳細については、付録 A 「コストの計算間隔の設定」(181 ページ) を参照してください。

- [作業計画から、実際の非人件費を計算します (作業計画用にFinancial Managementを有効にする必要があります)。] このオプションは、プロジェクト作業計画でHP Financial Managementが有効になっている場合に使用できます。このオプションでは、財務サマリの実績非人件費をプロジェクトの作業計画から計算 (ロールアップ) するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、財務サマリは次のように処理されます。
- コスト明細 (読み取り専用) が財務サマリに自動的に追加され、作業計画の実績非人件費が反映されます。

- 実績非人件費を資産計上するかどうかの区分はタスクアクティビティで設定され、この設定は財務サマリに保存されます。
- 実績非人件費は、[タスクの詳細] ウィンドウの [コスト] タブにある [非人件費カテゴリ] に基づいて区分されます。このフィールドが指定されていない場合、コスト明細の実績非人件費には [未指定] と表示されます。

作業計画の実績値は、プロジェクトの財務サマリにただちに反映されない場合があります。コストのロールアップは、HP Financial Management がシステム全体を対象に定期的に実行します。詳細については、付録 A 「コストの計算間隔の設定」(181 ページ) を参照してください。

財務サマリでの資産の設定

資産の財務サマリで [財務サマリの設定] をクリックすると、[財務サマリの設定] ページが開きます (図 4-5 を参照)。

図 4-5. [財務サマリの設定] ページで資産を設定

財務サマリの設定

- 資産は、資本的非人件費を記録します。
- スタッフインタ プロファイルから予測人件費を計算します (すべての人件費は運用コストに設定されます。)
- 資産と照らし合わせて記録された時間から、実際の人件費を計算します (すべての人件費は運用コストに設定されます。)

保存 キャンセル

財務サマリで資産の設定を行うには、次の手順を実行してください。

1. PPM Center にログオンします。
2. 資産を開きます。
3. 資産の [ビジネスケースの詳細] セクションで、[財務サマリ] フィールドにあるリンクをクリックすると、資産の財務サマリが開きます。

4. 財務サマリで、**[財務サマリの設定]** をクリックします。
5. 必要に応じて、財務サマリの設定を指定します。

財務サマリでは、次に示すように資産の設定を行います。

- **[資産は、資本的非人件費を記録します]**: このオプションは、資産計上された非人件費を資産で記録するかどうかを指定します。このオプションを選択しない場合、資産の財務サマリに非人件費の明細を追加する際、**[費用タイプ]** (「**運用**」または「**資本金**」) を指定できなくなります。つまり、コストはすべて運用費として処理されます。
- **[スタッフィングプロファイルから予測人件費を計算します (すべての人件費は運用コストに設定されます)]**: このオプションは、財務サマリ上で、資産に関連付けられたスタッフィングプロファイルから予測人件費を計算 (ロールアップ) するかどうかを指定します (プロジェクトが資産になっても、プロジェクトのスタッフィングプロファイルは資産にコピーまたは共有されることはありません。資産でスタッフィングプロファイルが必要な場合は、新規作成してください)。このオプションを選択すると、予測データ明細 (読み取り専用) が財務サマリに自動的に追加され、スタッフィングプロファイルの見積もりデータ (保証済み割り当て) が反映されます。予測人件費はすべて運用コストとなり、資産計上されません。
- **[資産と照らし合わせて記録された時間から、実際の人件費を計算します (すべての人件費は運用コストに設定されます)]**: このオプションは、財務サマリ上で、タイムシートに記録された時間と資産に基づいて実績人件費を計算 (ロールアップ) するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、財務サマリは次のように処理されます。
 - コスト明細 (読み取り専用) が財務サマリに自動的に追加され、タイムシートの実績人件費が反映されます。
 - タイムシートでのカテゴリに関係なく、実績人件費はすべて資本コストではなく運用コストとしてロールアップされます。
 - 財務サマリでの実績人件費のカテゴリは、リソースの **[コストカテゴリ]** に基づきます。**[コストカテゴリ]** が指定されていない場合、コスト明細の実績人件費には **[未指定]** と表示されます。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限

ライフサイクルエンティティ (提案、プロジェクト、資産) の財務サマリでは、コスト、ベネフィット、承認済み予算の表示と編集、レコードの計画として使用する財務サマリのスナップショットの指定などの機能へのアクセスは、アクセス許可 (「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」 (134 ページ) を参照) とアクセス権限 (財務サマリの [アクセスの設定]) で制御します。ここでは、[アクセスの設定] ページについて説明します。このページは、アクセス制御リストとも呼ばれます。

[アクセスの設定] ページの内容を変更するには、[コストセキュリティの編集] アクセス許可と [セキュリティの編集] アクセス権限が必要です。

アクセス許可は、アクセス権限よりも優先されます。アクセス権限 (たとえば、レコードの計画のスナップショットを設定する権限など) を割り当てても、アクセス許可がなければ操作を実行できません。

ここでは、ライフサイクルエンティティに関するアクセス権限について説明します。アクセス権限を変更するには、財務サマリの上部にある [アクセスの設定] をクリックしてください (40 ページの図 4-2 を参照)。

財務サマリで [アクセスの設定] をクリックすると、[財務サマリのアクセスの設定] ページが開き、アクセス権限が列ごとに表示されます。図 4-6 は、画面のサンプルです。

図 4-6. [財務サマリのアクセスの設定] ページの例

財務サマリのアクセスの設定: Project 1002

HP Project and Portfolio Management Center の財務サマリを表示するためのアクセス権を持つユーザは、以下のとおりです。各ユーザに対して、追加の編集アクセス権限を付与します。

アクセスの表示							
参加者	コストの表示	コストの編集	ベネフィットの表示	ベネフィットの編集	承認された予算の編集	レコードの計画の設定	セキュリティの編集
プロジェクト マネージャ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ベネフィット マネージャ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コストの参加者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ユーザの追加

セキュリティグループの追加

保存 完了 キャンセル

アクセス権限は、アクセス許可 (「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」 (134 ページ) を参照) との組み合わせに基づいて、ユーザとセキュリティグループに許可する機能 (表 4-5 を参照) を指定します。

ユーザを追加するには、[ユーザの追加]をクリックして、割り当てるアクセス権限を指定します。セキュリティグループを追加するには、[セキュリティグループの追加]をクリックして、割り当てるアクセス権限を指定します。ユーザまたはセキュリティグループを削除する場合は、名前の左にある削除アイコンをクリックします。

ライフサイクルエンティティの財務サマリの操作には、ライフサイクルエンティティにアクセス権限が必要です。提案の財務サマリにアクセスできても、その提案がプロジェクトになった後、プロジェクトの財務サマリにアクセスできるとは限りません。また、プロジェクトの財務サマリにアクセスできても、そのプロジェクトが資産になった後、資産の財務サマリにアクセスできるとは限りません。

表 4-5. [アクセスの設定] でライフサイクルエンティティに設定できる
アクセス権限 (1/3 ページ)

アクセス権限	説明
コストの表示	<p>(読み取り専用) 財務サマリでの予測コストと実績コスト、メモ、スナップショットのコストの表示を許可します。</p> <p>[財務サマリのコストの表示] または [財務サマリのコストの編集] のアクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストの表示] または [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可がある場合には、このアクセス権限は不要です。</p>
コストの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリの予測コストと実績コストを編集 (コスト明細の追加、更新、削除)。 ● 財務サマリのスナップショットを作成および表示。 ● 財務サマリの [サマリ] セクションにある [名前] フィールドと [説明] フィールドを編集。 ● 財務サマリの設定を編集。 ● [予測の実績の詳細] セクションにメモを追加。 <p>[財務サマリのコストの編集] のアクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>

表 4-5. [アクセスの設定] でライフサイクルエンティティに設定できる
アクセス権限 (2/3 ページ)

アクセス権限	説明
ベネフィットの表示	<p>財務サマリでの財務ベネフィットの表示と、メモとスナップショットの表示を許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [財務ベネフィットの表示] アクセス許可または [財務ベネフィットの編集] アクセス許可。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」アクセス権限を参照)。 <p>注: [全財務ベネフィットの表示] アクセス許可または [全財務ベネフィットの編集] アクセス許可がある場合には、このアクセス権限は不要です。</p>
ベネフィットの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリのベネフィットを編集 (ベネフィット明細の追加、更新、削除)。 ● 財務サマリのスナップショットを作成および表示。 ● [ベネフィットの詳細] セクションにメモを追加。 <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [財務ベネフィットの編集] アクセス許可。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」アクセス権限を参照)。 ● 財務サマリのベネフィットの表示に必要なアクセス権限 (この表の「ベネフィットの表示」アクセス権限を参照)。 <p>注: [全財務ベネフィットの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>
承認された予算の編集	<p>財務サマリの承認された予算へのエントリ追加を許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [承認された予算の編集] アクセス許可。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」アクセス権限を参照)。 <p>注: [全財務サマリの承認済み予算の編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>

表 4-5. [アクセスの設定] でライフサイクルエンティティに設定できる
アクセス権限 (3/3 ページ)

アクセス権限	説明
レコードの計画の設定	<p>財務サマリのスナップショット一覧で、レコードの計画としてスナップショットを指定することを許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [財務サマリのスナップショットをレコードの計画として設定] アクセス許可。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」アクセス権限を参照)。
セキュリティの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [アクセスの設定] ページで、ユーザとセキュリティグループを追加および削除。 ● ユーザとセキュリティグループの財務サマリのアクセス権限を変更。 <p>[コストセキュリティの編集] アクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストセキュリティの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>

[アクセスの設定] ページを開くと、プロジェクトマネージャ、ベネフィットマネージャ、コストの参加者について、アクセス権限が列ごとに表示されません。前提として必要なアクセス許可がある場合に、ここに挙げたアクセス権限で、次の操作が許可されます。

- プロジェクトマネージャは、次の操作を実行できます。
 - 予測コストと実績コストの表示と編集
 - スナップショットの表示と作成
 - 他のユーザのアクセス権限の編集

- ベネフィットマネージャは、次の操作を実行できます。
 - 予測コストと実績コストの表示
 - 予測ベネフィットの表示と編集
 - スナップショットの表示と作成
 - 他のユーザのアクセス権限の編集
 - コストの参加者は、次の操作を実行できます。
 - 予測コストと実績コストの表示
 - スナップショットの [**予測の実績の詳細**] セクション (コスト) の表示
- コストの参加者の指定には、プロジェクトの [**プロジェクトセキュリティ**] ポリシーにある [**財務サマリと作業計画コストを表示できる人員**] フィールドで選択したオプションを使用します。

プログラムの財務サマリ

プログラムの財務サマリを表示するには、プログラムの [**プログラムの設定**] ページにある [**このプログラムの Financial Management を有効にする**] チェックボックスを選択する必要があります。



PPM Server をバージョン 8.00 からアップグレードした場合、プログラムのロールアップと財務サマリ (編集可能) は、1つの財務サマリに自動的に集計されます。

プログラムの財務サマリには、次のような機能があります。

- プログラムの提案、プロジェクト、資産で資産計上が設定されている場合、資産計上された費用と運用費を別々に表示します。
- プログラムの提案、プロジェクト、資産のいずれでも資産計上が設定されていない場合、人件費と非人件費を別々に表示します。
- 設定可能な会計期間を使用します。会計年は任意の日付から開始できます。グレゴリオ暦での12カ月とし、小売業で使用される標準または非標準のカレンダーを使用できます。表示されるのは、管理者が作成した会計期

間のみです。会計期間の詳細については、『Generating Fiscal Periods』を参照してください。

- 承認された予算、予測コストと実績コスト、予測ベネフィットと実績ベネフィットを表示します。この値は[財務サマリ]ページで直接編集することはできません。編集は、適切な権限を持つユーザが財務サマリから別のページにアクセスして行います。
- 通貨金額の表示と保存には、基本通貨のみが使用されます。
- 通貨金額の入力形式は、server.conf 設定ファイルで設定できます。詳細については、「[財務サマリと財務データテーブルでの金額入力の設定](#)」(132 ページ)を参照してください。

プログラムの財務サマリにある[予測の実績の詳細]セクションと[ベネフィットの詳細]セクションでは、次の2つのタイプのデータが表示されます。

- **ロールアップデータ**：すべてのプログラムには**ロールアップデータ**があります。これは、プログラムに含まれる提案、プロジェクト、資産のデータの合計(ロールアップ)であり、変更できません。ロールアップデータの明細行は薄い灰色で表示され、セルは編集できません。

プログラムのコストとヘルスは、プログラムに含まれる提案、プロジェクト、資産の金額に基づいて計算されます。この計算では、財務サマリにコスト明細がある場合(値がゼロの場合を含む)、財務サマリのコストが使用されます。また、財務サマリにコスト明細がない場合は、作業計画のコストが使用されます。

財務サマリのロールアップデータは、直接編集できません。

ただし、プログラム内のプロジェクトが開始される前にキャンセルされ、そのプロジェクトの予測データをロールアップデータから除外したい場合には、プログラムからプロジェクトを削除してください。

進行中のプロジェクトがクローズまたはキャンセルされ、それ以降の予測データをロールアップデータから除外したい場合には、そのプロジェクトの財務サマリに含まれる月の予測データを削除してください。

- **編集可能なデータ**：すべてのプログラムには、**編集可能なデータ**を入力できます(オプション)。この値は、自由に編集できます。通常の場合、このデータは、プログラムの財務サマリに、コスト明細またはベネフィット明細として手動で追加されます。このコスト明細は色付きではありませんが、セルを選択して編集できます。

プログラムの財務サマリには、次で説明するように、ボタン、Microsoft Excel へのエクスポートを行うリンク、各種フィールドを含む[サマリ]セクション、コストおよびベネフィットデータを示すグラフとテーブルなどがあります。

プログラムの財務サマリの上部にあるボタンとリンク

ライフサイクルエンティティの財務サマリの上部には、次に示すボタンとリンクがあります。

- **[財務サマリの設定]** ボタン: このボタンをクリックすると、[財務サマリの設定] ウィンドウが開きます。このウィンドウのフィールドでは、財務サマリで使用する資本コストデータ (編集可能) のトラッキングを有効または無効にできます。詳細については、「[プログラムの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定](#)」(106 ページ)を参照してください。
- **[アクセスの設定]** ボタン: このボタンを使用できるのは、他のユーザが使用する財務サマリのビュー設定や項目の編集を行う権限があるユーザのみです。アクセス権限の詳細については、「[プログラムの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限](#)」(108 ページ)を参照してください。
- **[スナップショットの比較]** ボタン: スナップショットの詳細については、「[プログラムの財務サマリのスナップショット](#)」(100 ページ)を参照してください。
- **[Excelにエクスポート]** リンクは、財務サマリをMicrosoft Excel スプレッドシートにエクスポートします。詳細については、「[プログラムの財務サマリをMicrosoft Excelにエクスポート](#)」(104 ページ)を参照してください。

プログラムの財務サマリの [サマリ] セクション

プログラムの財務サマリの [サマリ] セクションでは、表 4-6 で示すフィールドが表示されます。

表 4-6. プログラムの財務サマリの [サマリ] セクションにあるフィールド
(1/3 ページ)

フィールド (*必須)	説明
*名前	財務サマリの名前。
説明	財務サマリの説明。
NPV ^a	<p>プログラムの全期間での正味現在価値。NPVは、プログラムコンテンツのNPVと、プログラムに手動で追加したデータ (追加した場合) のNPVの合計です。</p> $NPV = \sum NPV(\text{rollup}) + NPV(\text{editable})$ <p>以下に各項目を説明します。</p> <p>NPV: 正味現在価値。</p> <p>NPV(ロールアップ): プログラムコンテンツの正味現在価値。プログラムに含まれる各ライフサイクルエンティティのNPVを示します。各ライフサイクルエンティティのNPVの計算方法は、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。</p> <p>NPV(編集可能): 手動で追加したデータ (追加した場合) に基づくプログラムの正味現在価値。ここで使用される名目収益は、ライフサイクルエンティティではなくプログラムに手動で追加したコストとベネフィットのみを元に計算されます。NPV(編集可能)の計算方法は、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。この計算で使用する割引率は、プログラムの [財務サマリの設定] ページで設定されます。</p>

表 4-6. プログラムの財務サマリの [サマリ] セクションにあるフィールド
(2/3 ページ)

フィールド (* 必須)	説明
合計名目収益 ^a	<p>プログラムの全期間での合計名目収益。合計名目収益 (TNR) とは、プログラムコンテンツの合計ベネフィットから、プログラムコンテンツの合計コストを差し引いた金額です。</p> $TNR = \sum \text{Benefit} - \sum \text{Cost}$ <p>以下に各項目を説明します。</p> <p>TNR: 合計名目収益。</p> <p>Benefit: プログラムコンテンツの合計ベネフィット。プログラムに含まれる各ライフサイクルエンティティに関するすべてのロールアップベネフィットと編集可能なベネフィットの合計額です。</p> <p>Cost: プログラムコンテンツの合計コスト。プログラムに含まれる各ライフサイクルエンティティに関するロールアップコストと編集可能なコストの合計額です。</p>
合計の承認された予算 ^b	<p>プログラムの全期間において、プログラムに割り当てられた承認済みの資金 (ロールアップと編集可能データの両方を含む)。</p>
[承認済み予算明細の表示] リンク	<p>クリックすると、[予算の詳細] ページが開きます。このページでは、承認済み予算の合計額に含まれる個々の予算明細 (ロールアップと編集可能データの両方) が一覧表示されます。</p> <p>[予算の詳細] ページでは、合計の承認済み予算のフィルタ条件として、[会計年] フィールドで現在の会計年、前の年、次の年、すべての年を選択することにより、既存の承認済み予算の表示を絞り込むことができます。予算明細には、名前、日付、金額、会計年、作成者、説明が表示されます。</p> <p>[予算の詳細] ページで [予算の更新] をクリックすると、現在の会計年、前の年、次の年の承認済み予算に予算明細 (正または負の値) を追加できます。ロールアップデータから作成された予算明細は、編集または削除できません。明細の追加については、「承認された予算に明細を追加」(94 ページ) を参照してください。</p>

表 4-6. プログラムの財務サマリの [サマリ] セクションにあるフィールド
(3/3 ページ)

フィールド (*必須)	説明
割引率	プログラムに適用する割引率 (適用する場合)。この割引率は、NPV(ロールアップ)ではなく、NPV(編集可能)の計算で使用します。
表示通貨	次の通貨を切り替えて、金額を表示できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● プログラムコンテンツ (提案、プロジェクト、資産) の通貨 ● システムのデフォルト通貨 すべてのコンテンツで共通の通貨を使用する場合のみ、[表示通貨] フィールドが表示されます。 通貨の詳細については、第 3 章「財務為替レートと通貨の管理」(27 ページ)を参照してください。
[スナップショット] フィールド、[スナップショットの作成] ボタン	財務サマリのスナップショットを作成します。詳細については、「プログラムの財務サマリのスナップショット」(100 ページ)を参照してください。
[スナップショット] フィールド、[スナップショットの表示] リンク	財務サマリのスナップショットを一覧表示します。
合計予測コスト ^a	プログラムの全期間での、予測コストの合計額。
合計予測ベネフィット ^a	プログラムの全期間での、予測 (計画) ベネフィットの合計額。
作成日時	財務サマリを作成した日付。
作成者	財務サマリを作成したユーザ。
合計実績コスト ^a	プログラムの全期間での、実績コストの合計額。
合計実績ベネフィット ^a	プログラムの全期間での、実績ベネフィットの合計額。

a. このメトリクスは、財務サマリ内のすべてのデータが対象になります。期間は、現在を基準に2年前から5年先までを指定できます。

b. [合計の承認された予算] には、財務サマリ内で承認された予算データがすべて含まれます。データは、データが存在する会計年ごとに表示できます。

プログラムの財務サマリの [合計 (年別)] セクション

プログラムの財務サマリの [合計 (年別)] セクションでは、選択した会計年について、表 4-7で示す項目をグラフで表示します。

表 4-7. 財務サマリのグラフ項目

グラフ項目/色	説明
灰色	その年の承認済み予算のうち、使用可能な金額を示します。承認済み予算から、実績コストまたは予測コスト (実績コストが指定されていない場合) を差し引いた額を月別に表示します。
赤の縦ライン	承認済み予算が完全になくなった時点を示します。
オレンジ色のライン	予測コスト。
黄色の領域 (グラフ縦方向)	今月。
緑色の棒グラフ	実績コスト。
青色の棒グラフ	財務サマリの [レコードの計画] スナップショットの値 (スナップショットを作成した場合)。この値と予測明細の差異は、[レコードの計画] スナップショット作成後の予測データの変動分を示します。

グラフの下には、[予測コスト]、[実績コスト]、[承認された予算]、[予測ベネフィット]、[実績ベネフィット] の各フィールドがあり、選択した会計年のそれぞれの合計額が表示されます。

デフォルトでは現在の会計年が表示されますが、[会計年] フィールドのドロップダウンリストで2年前から5年先までの年を選択できます。[ビュー] フィールドを使用することで、月ごとまたは四半期ごとの表示が可能です。

プログラムの財務サマリの [予測の実績の詳細] セクション (コストデータ)

[**予測の実績の詳細**] セクションでは、プログラムの予測コストと実績コストがテーブル形式で表示されます。データは、2年前から5年先の期間を対象に月ごとまたは四半期ごとで表示されます。[実績] は、同じ期間中に実際に発生したコストを示します。



財務サマリでは、表示期間以外のコストを表示することもできます。すべての財務サマリデータを表示するには、財務サマリを Microsoft Excel スプレッドシートにエクスポートします。詳細については、「**ライフサイクルエンティティの財務サマリを Microsoft Excel にエクスポート**」(68 ページ)を参照してください。

コストは、PPM Server の設定に基づいて、資本コストと運用コストに分類できます。さらにデフォルトで、コスト明細を次のフィールドで指定できます。

- [タイプ] (「**人件費**」または「**非人件費**」)
- [カテゴリ]:
 - 「**請負業者**」または「**従業員**」([タイプ]が「**人件費**」に設定されている場合)
 - 「**ハードウェア**」、「**ソフトウェア**」、「**トレーニング**」([タイプ]が「**非人件費**」に設定されている場合)



これ以外のコストカテゴリを追加するには、PPM Workbench で [CST - 予算人件費カテゴリ] の検証または [CST - 予算非人件費カテゴリ] の検証を変更します。詳細については、『**コマンド、トークン、妥当性検証のガイドとリファレンス**』を参照してください。

追加したコストのタイプや、[ビュー] フィールドで選択したオプション(「プログラムの財務サマリのテーブルで使用できる機能」(92 ページ)を参照)によっては、[予測の実績の詳細] セクションのテーブルに1つまたは2つのサブテーブルが表示されます。

- プログラムやプログラムコンテンツで資産計上コストと運用コストを別々にトラッキングしている場合、サブテーブルが1つまたは2つ追加され、使用されている[費用タイプ]がヘッダーとして表示されます。
 - [資本金合計] または [運用費の合計] (合計のみを表示する場合)。
 - [資本金] または [運用] (明細を表示する場合)。さらに、次の行が表示されます。
 - 各コスト明細に対するカテゴリの行とタイプの行
 - [資本金合計] または [運用費の合計] の行
- 資本コストと運用コストを別々にトラッキングしない場合、1つまたは2つのサブテーブルが表示されます。サブテーブルのヘッダーには、使用している[タイプ]ごとに次の項目が表示されます。
 - [非人件費の合計] または [人件費の合計] (合計のみを表示する場合)
 - [非人件費] または [人件費] (明細を表示する場合)。さらに、次の行が表示されます。
 - 各コスト明細に対するカテゴリの [カテゴリ] 行
 - [非人件費の合計] または [人件費の合計] の行

いずれの場合も、サブテーブルの最後には[月合計] または [四半期合計] というヘッダーで合計額が表示されます(ヘッダーは、データ表示の区切りが月または四半期のいずれかによって異なります)。

予測データの自動計算の設定方法については、「プログラムの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定」(106 ページ)を参照してください。自動計算を行うと、財務サマリの [予測の実績の詳細] セクションに、予測コストまたは実績コストの明細(行)が追加されます。この行は編集できません。

[予測の実績の詳細] セクションには、予測または実績データをまだ入力していない場合は [予測と実績の追加] ボタン、入力済みの場合は [予測と実績の編集] ボタンが表示されます。詳細については、「予測コストおよび実績コストの明細の追加、削除、編集」(95 ページ)を参照してください。

プログラムの財務サマリの [ベネフィットの詳細] セクション

[**ベネフィットの詳細**] セクションでは、プログラムの予測ベネフィットと実績ベネフィットがテーブル形式で表示されます。2年前から5年先の期間のデータが月別または四半期別で表示されます。[実績] は、同じ期間中に実際に発生したベネフィットを示します。



財務サマリでは、表示期間以外のベネフィットを表示することもできます。すべての財務サマリデータを表示するには、財務サマリをMicrosoft Excelスプレッドシートにエクスポートします。詳細については、「[ライフサイクルエンティティの財務サマリを Microsoft Excelにエクスポート](#)」(68 ページ)を参照してください。

ベネフィットには明細データがあり、次のフィールドで指定できます(デフォルト)。

- [タイプ] (「**節減**」、「**収入**」、「**回避**」)
- [カテゴリ]:
 - 「**ハードウェア**」、「**人件費**」、「**メンテナンス**」([タイプ] が「**節減**」に設定されている場合)
 - 「**製品**」または「**サービス**」([タイプ] が「**収入**」に設定されている場合)
 - 「**コンプライアンス**」または「**リーガル**」([タイプ] が「**回避**」に設定されている場合)



ベネフィットのカテゴリを追加するには、PPM Workbenchの[財務ベネフィットの明細カテゴリリスト]の検証、[財務ベネフィットの収入カテゴリリスト]の検証、[財務ベネフィットの回避カテゴリリスト]の検証を変更します。詳細については、『[コマンド、トークン、妥当性検証のガイドとリファレンス](#)』を参照してください。

追加したベネフィットのタイプや、[ビュー] フィールドで選択したオプション(「[プログラムの財務サマリのテーブルで使用できる機能](#)」(92 ページ)を参照)によっては、[ベネフィットの詳細] セクションのテーブルに最大3つのサブテーブルが表示されます。サブテーブルのヘッダーには、次に示すように、使用している[タイプ]が表示されます。

- [収入の合計]、[節減合計]、[回避の合計] (合計のみを表示する場合)。
- [収入]、[節減]、[回避] (明細を表示する場合)。さらに、次の行が表示されます。
 - ベネフィットの各明細を示す[カテゴリ]行
 - [収入の合計]、[節減合計]、[回避の合計]の行

サブテーブルの最後には、[月合計]または[四半期合計]というヘッダーで合計額が表示されます(ヘッダーは、データ表示の区切りが月または四半期のいずれかによって異なります)。

ベネフィットの自動計算を設定する方法については、「プログラムの財務サマリの資産計上とロールアップの設定」(106 ページ)を参照してください。自動計算を行うと、財務サマリの [ベネフィットの詳細] セクションに、ベネフィットの明細(行)が追加されます。この行は編集できません。

[ベネフィットの詳細] セクションには、ベネフィットがまだ入力されていない場合は [ベネフィットの追加] ボタン、入力済みの場合は [ベネフィットの編集] ボタンが表示されます。詳細については、「財務ベネフィットの明細の追加、削除、編集」(98 ページ)を参照してください。

プログラムの財務サマリのテーブルで使用できる機能

プログラムの財務サマリにある [予測の実績の詳細] セクションと [ベネフィットの詳細] セクションで表示されるテーブルでは、次のような機能を使用できます。

- 水平スクロールバーを使用して期間全体を表示できます。また必要に応じて、コストやベネフィットのカテゴリリスト内にある正式名称をスクロールバーを使用して表示できます。各テーブルで、左側にあるカテゴリと右側にある月ごとまたは四半期ごとのデータを区切る分割ラインの位置を調整できます。この機能は、[予測と実績の編集] ページと [ベネフィットの編集] ページにも適用されます。
- [計画のみ] をクリックすると計画(予測)値のみが表示され、[計画と実績] をクリックすると計画と実績の両方の値が表示されます。この機能は、[予測と実績の編集] ページと [ベネフィットの編集] ページにも適用されます。
- [月] をクリックすると月別の合計額が表示され、[四半期] をクリックすると四半期別の合計額が表示されます。この機能は、[予測と実績の編集] ページと [ベネフィットの編集] ページにも適用されます。
- [合計のみ] をクリックすると合計のみ、[<x> 詳細の明細] (<x> はシステムによって決まる 1~100 の数値) をクリックすると明細(および合計)が表示されます。



テーブルの明細が100行を超える場合は、合計のみを表示できます。

プログラムの財務サマリの表示

プログラムの財務サマリを開いて表示するには、次の手順を実行してください。

1. PPM Centerにログオンします。
2. プログラムを検索して開きます。
3. プログラムの[プログラムコスト]セクションにある[財務サマリ]フィールドで、財務サマリの名前のリンクをクリックします([プログラム設定]で[このプログラムのFinancial Managementを有効にする]チェックボックスを選択すると、[プログラムコスト]セクションが表示されます)。

[財務サマリ] ページが開きます。

プログラムの財務サマリの編集



財務サマリ内のセクションを表示または編集できるかどうかは、ユーザに割り当てられている一般的なアクセス許可と、財務サマリに設定されているアクセス権限によって決まります。詳細については、「プログラムの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(108 ページ)および「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ)を参照してください。

ユーザにアクセス許可がある場合、以下で説明する手順に従って、[財務サマリ] ページで承認済み予算、予測コストおよび実績コスト、予測ベネフィットおよび実績ベネフィットを編集できます。また、承認された予算については、明細を追加することはできますが、既存の明細の変更または削除はできません。



ドルなどの通貨で金額を入力する際の形式は、server.conf 設定ファイルのパラメータで指定します(「財務サマリと財務データテーブルでの金額入力の設定」(132 ページ)を参照)。

承認された予算に明細を追加

[承認された予算の編集] または [全財務サマリの承認済み予算の編集] のアクセス許可 (「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ) を参照) と、[承認された予算の編集] アクセス権限 (「プログラムの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(108 ページ) を参照) を持つユーザは、プログラムの承認済み予算に明細を追加できます。ただし、既存の明細の編集はできません。

承認された予算に明細を追加するには、次の手順を実行してください。

1. [財務サマリ] ページで、[承認済み予算明細の表示] リンクをクリックします。
[予算の詳細] ページが開きます。現在の会計年の予算が一覧表示されます。
2. [会計年] フィールドで、[すべての表示] を選択するか、ドロップダウンリストから会計年を選択します。
選択内容に基づいて、[予算の詳細] ページがリフレッシュされます。
3. [予算の更新] をクリックします。
[予算の更新] ウィンドウが開きます。
4. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (*必須)	説明
*名前	承認済み予算の明細の名前。既存の明細と同じ名前、または別の名前を指定できます。いずれの場合も、明細は新しいエントリ (行) として入力されます。
*会計年	予算明細の追加先となる会計年 (現在の会計年、昨年、来年)。
*金額	選択した会計年の承認済み予算に加算、または承認済み予算から減算する金額。負の値を入力すると、減算されます。
説明	承認済み予算に新しく追加する明細の説明 (オプション)。

5. **[完了]** をクリックします。

これで、承認済み予算に明細が追加されました。**[会計年 <会計年> の合計の承認された予算]** フィールド (**[会計年]** が **[すべての表示]** に設定されている場合は **[合計の承認された予算]**) の値が更新されます。

6. [予算の詳細] ページにある **[完了]** をクリックします。

予測コストおよび実績コストの明細の追加、削除、編集

[財務サマリのコストの編集] または [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可 (「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ) を参照) と [コストの編集] アクセス権限 (「プログラムの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(108 ページ) を参照) を持つユーザは、予測コストと実績コストの明細の追加と削除、カテゴリなどのデータの編集を実行できます。

予測コストおよび実績コストの明細を編集または追加するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリの **[予測の実績の詳細]** セクションにコスト明細がない場合、コスト明細を追加するには **[予測と実績の追加]** をクリックします。明細がある場合は **[予測と実績の編集]** をクリックします。

[予測と実績の編集] ページが開きます。

2. デフォルトでは現在の会計年が表示されますが、**[会計年]** フィールドのドロップダウンリストで2年前から5年先までの年を選択できます。

必要に応じて、[ビュー] オプション、水平スクロールバー、分割ラインを使用できます。詳細については、「プログラムの財務サマリのテーブルで使用できる機能」(92 ページ) を参照してください。

コスト明細がすでに追加されている場合は、以下に注意してください。

- 財務サマリのプログラムまたはプログラムコンテンツで資産計上されたコストと運用コストを別々にトラッキングしている場合 (「プログラムの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定」(106 ページ) を参照)、テーブルには1つまたは2つのサブテーブル (編集可能) が表示されます。このサブテーブルでは、ヘッダーに各**費用タイプ** (**[資本金]** または **[運用]**)、コスト明細行に**カテゴリ**と**タイプ**が表示されます。

- 資産計上されたコストと運用コストを別々にトラッキングしていない場合、テーブルには1つまたは2つのサブテーブル (編集可能) が表示されます。このサブテーブルのヘッダーには [タイプ] ([非人件費] または [人件費])、コスト明細行には [カテゴリ] が表示されます。
- サブテーブルのデータは合計され、読み取り専用のサブテーブルの [合計] というヘッダーに合計額が表示されます。



財務サマリの [予測の実績の詳細] セクションにある [前年からコピー] をクリックすると、現在表示している会計年の前年の予測データがコピーされます。実績データはコピーされないため、財務サマリで表示されている実績データは上書されません。



財務サマリで表示できるコスト明細は、300行までです。

3. コスト明細を追加するには、次の手順を実行してください。

- a. [コスト明細の追加] をクリックします。

[コスト明細の追加] ページが開きます。

- b. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (* 必須)	説明
*タイプ	「人件費」または「非人件費」。
*カテゴリ	「請負業者」または「従業員」([タイプ] が「人件費」に設定されている場合)。 「ハードウェア」、「ソフトウェア」、「トレーニング」([タイプ] が「非人件費」に設定されている場合)。
費用タイプ	「運用」または「資本金」。このフィールドが表示されるのは、財務サマリの上位エンティティで資産計上した費用をトラッキングしている場合のみです。詳細については、「プログラムの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定」(106 ページ)を参照してください。



これ以外のコストカテゴリを追加するには、PPM Workbenchで [CST - 予算人件費カテゴリ] の検証または [CST - 予算非人件費カテゴリ] の検証を変更します。詳細については、『コマンド、トークン、妥当性検証のガイドとリファレンス』を参照してください。

- c. **[追加]** をクリックすると、明細を追加した後 **[コスト明細の追加]** ページが閉じます。**[他の項目を追加]** をクリックすると、明細を追加した後 **[コスト明細の追加]** ページは開いたままになります。
4. 明細行を削除するには、削除する明細の左の**削除**アイコンをクリックします。いずれの会計年についても、実績額がゼロでない行には**削除**アイコンは表示されず、削除できません。
5. コスト明細に関連するフィールド (**96 ページの手順3** で説明したフィールド) を編集するには、次の手順を実行してください。
 - a. 編集する明細の左にある右矢印をクリックします。
[コスト明細の編集] ウィンドウが開きます。
 - b. フィールドの内容を適宜変更し、**[OK]** をクリックします。
6. **[予測と実績の編集]** ページでは、テーブルのセルをクリックすると、予測コストと実績コストのデータを編集できます。次の点に注意してください。
 - 金額は、正または負の数値で入力できます。たとえば、会計システムのデータと一致させるために、実績コストとして負の値を入力することができます。
 - 四半期ごとで表示している場合、金額は四半期内の各月へ均等に配分されます(**[月]** オプションと **[四半期]** オプションを切り替えただけでは、変更されたデータは保存されません)。
 - 計画と実績の両方ではなく、計画データのみを表示している場合は、同じ行内にある隣の連続セルにデータをコピーできます。コピー元のセルをクリックし、コピー先範囲の端のセルをクリックしてから、**[SHIFT]** キーを押しながら**クリック**します。
7. **[保存]** をクリックすると、変更内容が保存されて **[予測と実績の編集]** ページは開いたままになります。**[完了]** をクリックすると、変更内容が保存されて **[財務サマリ]** ページに戻ります。

財務ベネフィットの明細の追加、削除、編集

[財務ベネフィットの編集] または [すべての財務ベネフィットの編集] のアクセス許可 (「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ) を参照) と [ベネフィットの編集] アクセス権限 (「プログラムの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(108 ページ) を参照) を持つユーザは、予測ベネフィットと実績ベネフィットの明細の追加と削除、カテゴリなどのデータの編集を実行できます。

予測ベネフィットおよび実績ベネフィットの明細を編集または追加するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリの [ベネフィットの詳細] セクションにベネフィット明細がない場合、コスト明細を追加するには [ベネフィットの追加] をクリックします。明細がある場合は [ベネフィットの編集] をクリックします。

[ベネフィットの編集] ページが開きます。

2. デフォルトでは現在の会計年が表示されますが、[会計年] フィールドのドロップダウンリストで2年前から5年先までの年を選択できます。

ベネフィット明細がすでに追加されている場合は、以下に注意してください。

- 追加されているベネフィットのタイプによって、[ベネフィットの編集] ページのテーブルにはサブテーブル (編集可能) が1つまたは2つ表示されます。このサブテーブルのヘッダーには、使用されているベネフィットのタイプ ([収入]、[節減]、[回避])、明細行にはカテゴリが表示されます。すでに入力されている値は、99 ページの手順4 から 100 ページの手順6 の手順で編集できます。
- [収入]、[節減]、[回避] の各サブテーブルに含まれるデータは合計され、別のサブテーブル (読み取り専用) の [合計] というヘッダーに合計額が表示されます。



財務サマリの [ベネフィットの詳細] セクションにある [前年からコピー] をクリックすると、現在表示している会計年の前年の予測データがコピーされます。実績データはコピーされないため、財務サマリで表示されている実績データは上書きされません。



財務サマリで表示できるベネフィット明細は、300行までです。

3. ベネフィット明細を追加するには、次の手順を実行してください。

a. [ベネフィット明細の追加] をクリックします。

[ベネフィット明細の追加] ページが開きます。

b. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (* 必須)	説明
*タイプ	「節減」、「収入」、「回避」のいずれか。
*カテゴリ	「ハードウェア」、「人件費」、「メンテナンス」、「ソフトウェア」 ([タイプ] が「節減」に設定されている場合)。 「製品」または「サービス」 ([タイプ] が「収入」に設定されている場合)。 「コンプライアンス」または「リーガル」 ([タイプ] が「回避」に設定されている場合)。

▶ ベネフィットのカテゴリを追加するには、PPM Workbenchの [財務ベネフィットの明細カテゴリリスト] の検証、 [財務ベネフィットの収入カテゴリリスト] の検証、 [財務ベネフィットの回避カテゴリリスト] の検証を変更します。詳細については、『コマンド、トークン、妥当性検証のガイドとリファレンス』を参照してください。

c. [追加] をクリックすると、明細の追加後に [ベネフィット明細の追加] ページが閉じます。 [他の項目を追加] をクリックすると、明細の追加後に [ベネフィット明細の追加] ページは開いたままになります。

4. 明細行を削除するには、対象となる明細の左にある削除アイコンをクリックします。いずれの会計年についても、実績額がゼロでない行には削除アイコンは表示されず、削除できません。

5. ベネフィット明細に関連するフィールド (99ページの手順3を参照) を編集するには、次の手順を実行してください。

a. 編集する明細の左にある右矢印をクリックします。

[ベネフィット明細の編集] ウィンドウが開きます。

b. フィールドの内容を適宜変更し、 [OK] をクリックします。

6. [ベネフィットの編集] ページでは、テーブルのセルをクリックすると、予測ベネフィットと実績ベネフィットのデータを編集できます。次の点に注意してください。
- 金額は、正または負の数値で入力できます。たとえば、会計システムのデータと一致させるために、実績コストとして負の値を入力することができます。
 - 四半期別で表示している場合、金額は四半期内の各月へ均等に配分されます([月] オプションと [四半期] オプションを切り替えただけでは、変更されたデータは保存されません)。
 - 計画と実績の両方ではなく、計画データのみを表示している場合は、同じ行内にある隣の連続セルにデータをコピーできます。コピー元のセルをクリックし、コピー先範囲の端のセルをクリックしてから、[SHIFT] キーを押しながら**クリック**します。
7. [保存] をクリックすると、変更内容が保存されて [ベネフィットの編集] ページは開いたままになります。[完了] をクリックすると、変更内容が保存されて [財務サマリ] ページに戻ります。

メモの表示と追加

プログラムの財務サマリを表示する権限があるユーザは、メモの表示も可能です。プログラムの財務サマリを変更する権限があるユーザは、メモの変更も可能です。詳細については、『セキュリティ モデルのガイドとリファレンス』を参照してください。

メモを表示および追加する方法については、「[メモの表示と追加](#)」(61 ページ)を参照してください。

プログラムの財務サマリのスナップショット

財務サマリのスナップショットは、予測コスト、実績コスト、予測ベネフィット、実績ベネフィット、承認された予算をコピーしたものであり、いつでも作成できます。スナップショットの外観や機能は財務サマリと同じですが、次のような相違点があります。

- スナップショットのページには、次の形式のタイトルが付けられています。
スナップショット:<プログラム名>:<スナップショット名>
- スナップショットの財務サマリデータは読み取り専用なので、編集や保存用のボタンはありません。
- スナップショットには、メモは含まれません。

スナップショットの **[名前]** フィールドと **[説明]** フィールドは編集可能です。また、財務サマリのデータを、スナップショットの内容に戻すことはできません。

財務サマリのスナップショットには、財務サマリの表示オプションがすべて含まれます(「プログラムの財務サマリのテーブルで使用できる機能」(92 ページ)を参照してください)。

2年前から5年先の範囲以外のデータが財務サマリに含まれている場合、スナップショットにも同じデータが含まれます。スナップショットは、財務サマリと同様にMicrosoft Excelにエクスポートできます(「プログラムの財務サマリをMicrosoft Excelにエクスポート」(104 ページ)を参照してください)。

スナップショットの作成

スナップショットを作成するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリで、**[スナップショットの作成]** をクリックします。
2. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (*必須)	説明
*名前	スナップショットの名前。デフォルトは、 スナップショット番号<X> です。<X>は、新規スナップショットに割り当てられる連番で、1から始まります。
説明	スナップショットの説明。

3. **[完了]** をクリックします。

スナップショットが作成され、表示オプションを使用できるようになります。

スナップショットの表示

財務サマリから作成したスナップショットを一覧表示するには、次の手順を実行してください。

1. **[スナップショットの表示]** リンクをクリックします。

プログラムの財務サマリのスナップショットが一覧表示されます。

このリストには、次の列が含まれています。

列	説明
レコードの計画	[レコードの計画] スナップショットのインジケータと、レコードの計画の変更に表示されるオプションが表示されます。詳細については、「 スナップショットをレコードの計画として指定 」(102 ページ)を参照してください。
名前	スナップショットの名前。
日付	スナップショットが作成された日付。
作成者	スナップショットを作成したユーザ。
説明	スナップショットの説明で、作成時に入力します。この列は拡張できるので、長いテキストの指定も可能です。

リスト内のスナップショットでは、[レコードの計画] 列と [名前] 列の間に右矢印が表示されます。この右矢印をクリックすると、スナップショットの [名前] と [説明] を変更できます。

2. [名前] 列にあるスナップショット名をクリックすると、そのスナップショットが開きます。

スナップショットをレコードの計画として指定

財務サマリのスナップショットは、レコードの計画として指定することができます。



レコードの計画を複数指定する場合には注意が必要です。レコードの計画を変更する場合は、現在のスナップショットの [説明] を更新するなど、履歴情報がわかるように説明を入力してください。

レコードの計画のスナップショットを変更するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリの [サマリ] セクションで、[スナップショットの表示] をクリックします。

スナップショットが一覧表示されます。

2. [レコードの計画] 列で、レコードの計画として指定するスナップショットを選択します。

現在のレコードの計画以外のスナップショットを選択すると、[レコードの計画として設定] ボタンが表示されます。

3. **[レコードの計画として設定]** をクリックします。

4. **[完了]** をクリックします。

プログラムで最初に作成したスナップショットがレコードの計画になります。が、他のスナップショットを作成した後、変更が可能です。

スナップショットの比較

予測データのコスト明細を比較する場合、最大5つのスナップショット、または4つのスナップショットと現在の財務サマリを一度に比較できます。比較対象には、レコードの計画スナップショットも含めることができます。

スナップショットを比較するには、次の手順を実行してください。

1. 財務サマリの上部にある **[スナップショットの比較]** をクリックします。

[スナップショットの比較] ページが開きます。

2. (オプション) **[比較日]** フィールドで、比較の対象となる日付の範囲を指定します。日付は、いずれか一方または両方のフィールドに指定できます。

3. **[比較対象スナップショットの選択]** セクションには、比較対象となるスナップショットが一覧表示されます。

[**現在/POR**] 列には、次の内容が表示されます。

- レコードの計画スナップショット
- 現在の財務サマリ (作成したスナップショットの有無は関係ありません) 選択すると、現在の財務サマリの予測および実績のコスト明細が表示されます。

[**日付**] 列には、スナップショットを作成した日付が表示されます。

[**説明**] 列の内容が途中で切れている場合は、**[すべて展開する]** リンクをクリックすると展開されます。

比較対象のチェックボックスを選択します。スナップショットは5つまで、またはスナップショット4つと現在の財務サマリを選択できます。

4. **[送信]** をクリックします。

スナップショットの比較結果が表示されます。

予測データは、コスト明細ごとに比較されます。現在の財務サマリを比較対象にした場合は、予測コストと実績コストが表示されます。

プログラムの財務サマリを Microsoft Excel にエクスポート

財務サマリの上部にある **[Excel にエクスポート]** リンクをクリックすると、プログラムの財務サマリ全体を Microsoft Excel スプレッドシートにエクスポートできます。ただし、**[合計 (年別)]** セクションとメモは除外されます。



Microsoft Internet Explorer バージョン7を使用している場合は、インターネットオプションが正しく設定されていることを確認してください。詳細については、『スタートアップガイド』を参照してください。

スプレッドシートには、次のデータがエクスポートされます。財務サマリで選択した表示オプションに関係なく、ユーザのアクセス許可で表示可能なデータがエクスポートされます。

- 予測および実績データ。四半期別ではなく月別です。
- 明細行。コストおよびベネフィットのカテゴリ別に集計されます。
- **[予測の実績の詳細]** セクションと **[ベネフィットの詳細]** セクションでテーブル表示されているデータベース内で、会計年にゼロ以外の数値があるデータ。財務サマリで表示されるのは2年前から5年先までのデータのみですが、スプレッドシートにはこれ以外のデータもエクスポートされます。したがって、何年かのデータをまとめて参照したい場合は、財務サマリを Microsoft Excel にエクスポートすると便利です。
- コスト明細のユーザデータとベネフィット明細のユーザデータ。財務サマリでは最大5列ですが、上限はありません。

Microsoft Excel スプレッドシートにエクスポートするすべての財務データでは、財務サマリで選択した通貨が使用されます。

Microsoft Excel スプレッドシートのファイル名は `ExportFSToExcel.xls` です。

財務サマリの **スナップショット** を Microsoft Excel にエクスポートすることもできます。スプレッドシートは、財務サマリを Microsoft Excel にエクスポートする場合と同じです。

プログラムの財務サマリの監査履歴の表示

プログラムの財務サマリの監査履歴では、プログラムの財務サマリに対する変更内容をトラッキングします。財務サマリの変更には、PPM CenterまたはWebサービスを使用します。

[財務サマリの監査履歴] ウィンドウを表示するには、財務サマリの上部にある[**財務サマリの監査履歴**]リンクをクリックします。監査履歴イベントが、日付が新しい順に一覧表示されます。

監査履歴の列名は、表 4-3を参照してください。

表 4-8. プログラムの財務サマリの監査履歴で表示される列

列名	説明
日付	イベントの日付と時刻。
ユーザ	イベントを開始したユーザ。
タイプ	イベントの対象となった財務サマリ内のモジュール： <ul style="list-style-type: none">● 承認された予算● ベネフィット● 予測● レコードの計画● スナップショット
コンテキスト	監査エントリ。
イベント	監査履歴のイベントの内容。

プログラムの財務サマリの監査履歴を表示するために必要なアクセス権限

財務サマリの監査履歴では、財務サマリに関するアクセス権限とアクセス許可に基づいてエントリが表示されます。詳細については、表 4-4を参照してください。



アクセス権限(たとえば、レコードの計画のスナップショットを設定する権限など)を割り当てても、アクセス許可がなければ操作を実行できません。つまり、アクセス権限とアクセス許可の両方が必要になります。詳細については、「**ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限**」(78 ページ)を参照してください。

表 4-9. プログラムの財務サマリの監査履歴を表示するために必要なアクセス権限

アクセス権限	説明
コストの表示/編集	予測データの更新に関する監査履歴エントリの表示
ベネフィットの表示/編集	ベネフィットに関する監査履歴エントリの表示
承認された予算の編集	承認された予算の更新に関する監査履歴エントリの表示
レコードの計画の設定	スナップショットの追加に関する監査履歴エントリの表示。[レコードの計画] アクセス許可として [財務サマリのスナップショットの設定] を持つユーザは、レコードの計画の更新に関するエントリも表示できます。

プログラムの財務サマリでの資産計上とロールアップの設定

プログラムの財務サマリでは、コストの資産計上のトラッキングの設定や、予測コスト、実績コスト、財務ベネフィットの自動計算 (ロールアップ) の有効化と無効化を行います。具体的な計算方法については、「[コストデータの計算と式](#)」(147 ページ) および『[HP Resource Management ユーザーガイド](#)』を参照してください。

プログラムの財務サマリでの資産計上コストのトラッキング

資産計上されたコストのトラッキングは、ロールアップデータと編集可能データについて有効または無効に設定できます。ロールアップデータのトラッキングを有効または無効にするには、`server.conf` パラメータを設定します。編集可能データのトラッキングを有効または無効にするには、財務サマリの設定を行います。

- 資産計上されたコストのトラッキングをロールアップデータで有効にするには、次の手順を実行してください。

`server.conf` 設定ファイルで `COST_CAPITALIZATION_ENABLED` パラメータを `true` に設定します。このパラメータは、インストール時に管理者が設定します。PPM Center の使用開始後は変更しないでください。

このパラメータを有効または無効にしても、編集可能なデータに関する財務サマリの設定には影響しません。プログラムの財務サマリのロールアップデータでは、資産計上されたコストのトラッキングはデフォルトで無効になっています。

- 編集可能データについて、資産計上されたコストのトラッキングを有効にするには、プログラムの財務サマリで設定を行います。

財務サマリで **[財務サマリの設定]** をクリックし、**[財務サマリは、資本コストを記録します]** チェックボックスを選択または解除してから、**[保存]** をクリックします。

このフィールドを有効または無効にしても、`COST_CAPITALIZATION_ENABLED` パラメータの設定に影響しません。編集可能データでは、資産計上されたコストのトラッキングはデフォルトで無効になっています。

プログラムの財務サマリでの自動計算の設定

計算を行う頻度は、財務サマリのロールアップサービスの設定に基づきます。詳細については、付録 A 「コストの計算間隔の設定」(181 ページ) および『Installation and Administration Guide』を参照してください。

プログラムの財務サマリで使用する割引率の設定

プログラムの割引率は、プログラムの NPV (正味現在価値) の計算で使用します。NPV の計算で割引率を使用する方法については、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。

プログラムに適用する割引率を設定するには、次の手順を実行してください。

1. プログラムの財務サマリで、**[財務サマリの設定]** をクリックします。
2. **[財務サマリの設定]** ページで、割引率をパーセンテージ単位、小数点以下2桁まで指定します。
3. **[保存]** をクリックします。

プログラムの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限

プログラムの財務サマリの一部を表示するには、プログラム全体に対するアクセス権限が必要です。この権限は、プログラムの [アクセスの設定] ページで指定されます。

コスト、ベネフィット、承認済み予算の表示と編集、レコードの計画として使用する財務サマリのスナップショットの指定などの機能へのアクセスは、アクセス許可 (「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ)を参照) とアクセス権限 (プログラムの財務サマリの [アクセスの設定]) で制御されます。ここでは、プログラムの財務サマリの [アクセスの設定] ページについて説明します。このページは、アクセス制御リストとも呼ばれます。

[アクセスの設定] ページの内容を変更するには、[コストセキュリティの編集] アクセス許可と [セキュリティの編集] アクセス権限が必要です。

アクセス許可は、アクセス権限よりも優先されます。アクセス権限 (たとえば、レコードの計画のスナップショットを設定する権限など) を割り当てても、アクセス許可がなければ操作を実行できません。

ここでは、プログラムに関するアクセス権限について説明します。アクセス権限を変更するには、財務サマリの上部にある **[アクセスの設定]** をクリックしてください。

財務サマリで **[アクセスの設定]** をクリックすると、[財務サマリのアクセスの設定] ページが開き、アクセス権限が列ごとに表示されます。

プログラムの財務サマリの [アクセスの設定] ページを開くと、プロジェクトマネージャのアクセス権限が列ごとに表示されます (アクセス権限は編集できません)。プロジェクトマネージャには、基本となるアクセス許可と割り当てられたアクセス権限に基づいて、次の操作が許可されます。

- 予測コストと実績コストの表示と編集
- 予測ベネフィットの表示と編集
- 承認された予算の編集
- レコードの計画のスナップショットの設定
- 他のユーザのアクセス権限の編集

アクセス権限は、アクセス許可（「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ)を参照）との組み合わせに基づいて、ユーザとセキュリティグループに許可する機能（表 4-10を参照）を指定します。

ユーザを追加するには、[ユーザの追加] をクリックして、割り当てるアクセス権限を指定します。セキュリティグループを追加するには、[セキュリティグループの追加] をクリックして、割り当てるアクセス権限を指定します。ユーザまたはセキュリティグループを削除する場合は、名前の左にある削除アイコンをクリックします。

表 4-10. [アクセスの設定] でプログラムに設定できるアクセス権限 (1/3 ページ)

アクセス権限	説明
コストの表示	<p>(読み取り専用) 財務サマリでの予測コストと実績コスト、スナップショットのコストの表示を許可します。</p> <p>[財務サマリのコストの表示] または [財務サマリのコストの編集] のアクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストの表示] または [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可がある場合には、このアクセス権限は不要です。</p>
コストの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリの予測コストと実績コストを編集（コスト明細の追加、更新、削除）。 ● 財務サマリのスナップショットを作成および表示。 ● 財務サマリの [サマリ] セクションにある [名前] フィールドと [説明] フィールドを編集。 ● 財務サマリの設定を編集。 <p>[財務サマリのコストの編集] のアクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>

表 4-10. [アクセスの設定] でプログラムに設定できるアクセス権限 (2/3 ページ)

アクセス権限	説明
ベネフィットの表示	<p>財務サマリでの財務ベネフィットの表示と、スナップショットの表示を許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [財務ベネフィットの表示] アクセス許可または [財務ベネフィットの編集] アクセス許可。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」アクセス権限を参照)。 <p>注: [全財務ベネフィットの表示] アクセス許可または [全財務ベネフィットの編集] アクセス許可がある場合には、このアクセス権限は不要です。</p>
ベネフィットの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリのベネフィットを編集 (ベネフィット明細の追加、更新、削除)。 ● 財務サマリのスナップショットを作成および表示。 <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [財務ベネフィットの編集] アクセス許可。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」アクセス権限を参照)。 ● 財務サマリのベネフィットの表示に必要なアクセス権限 (この表の「ベネフィットの表示」アクセス権限を参照)。 <p>注: [全財務ベネフィットの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>
承認された予算の編集	<p>財務サマリの承認された予算へのエントリ追加を許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [承認された予算の編集] アクセス許可。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」アクセス権限を参照)。

表 4-10. [アクセスの設定] でプログラムに設定できるアクセス権限 (3/3 ページ)

アクセス権限	説明
レコードの計画の設定	<p>財務サマリのスナップショット一覧で、レコードの計画としてスナップショットを指定することを許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [財務サマリのスナップショットをレコードの計画として設定] アクセス許可。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」 アクセス権限を参照)。
セキュリティの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [アクセスの設定] ページで、ユーザとセキュリティグループを追加および削除。 ● ユーザとセキュリティグループの財務サマリのアクセス権限を変更。 <p>[コストセキュリティの編集] アクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストセキュリティの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>

組織単位の財務サマリ

各組織単位には、財務サマリが存在します。財務サマリには、以下で説明するようにボタン、各種フィールドを含む[サマリ]セクション、承認された予算データを示すテーブルが表示されます。

図 4-7は、組織単位の財務サマリの例です。

図 4-7. 組織単位の財務サマリの例

The screenshot shows a web interface for '財務サマリ:IT North America: IT North America'. At the top, there is a breadcrumb '財務サマリの監査履歴' and a title bar with '財務サマリ:IT North America: IT North America'. Below the title bar is a navigation bar with buttons for 'アクセスの設定', '保存', '完了', and 'キャンセル'. The main content area is titled 'サマリ' and includes a 'メモの追加' link. There are input fields for '名前:' (IT North America) and '説明:', along with '表示通貨: 日本円', '作成日時: 2010/12/29', and '作成者: Admin User'. A summary bar shows '承認された予算' and '合計の承認された予算 ¥0'. Below this is a table with columns for '名前', '日付', '金額 (x ¥1,000)', '会計年', '作成者', and '説明 (すべて展開する)'. The table content indicates '現在、承認された予算はありません。'. At the bottom, there are '保存', '完了', and 'キャンセル' buttons.

組織単位の財務サマリの上部と下部

組織単位の財務サマリには、上部に[アクセスの設定]ボタンがあります。このボタンを使用できるのは、他のユーザが使用する財務サマリのビュー設定や項目の編集を行う権限があるユーザのみです。アクセス権限の詳細については、「組織単位の財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(118ページ)を参照してください。

組織単位の財務サマリの [サマリ] セクション

組織単位の財務サマリの [サマリ] セクションでは、表 4-11 で示すフィールドが表示されます。

表 4-11. 組織単位の財務サマリの [サマリ] セクションにあるフィールド

フィールド (*必須)	説明
*名前	財務サマリの名前。
説明	財務サマリの説明。
表示通貨	次の通貨を切り替えて、金額を表示できます。 <ul style="list-style-type: none">● 上位エンティティの通貨 (デフォルトオプション)● システムのデフォルト通貨 上記2つの通貨が異なる場合に、[表示通貨] フィールドが表示されます。 通貨の詳細については、第3章「財務為替レートと通貨の管理」(27 ページ)を参照してください。
作成者	財務サマリを作成したユーザ。
作成日時	財務サマリを作成した日付。

組織単位の財務サマリの [承認された予算] セクション

承認された予算とは、会計年度の割り当て予算として承認が得られた金額です。組織単位の財務サマリにある [承認された予算] セクションには、表 4-12 で示すように、承認済み予算の詳細な内容が表示されます。

表 4-12. 組織単位の財務サマリの [承認された予算] セクションにあるフィールド

フィールド (*必須)	説明
合計の承認された予算 ^a	選択した [会計年] の全期間に対して割り当てられている承認済み予算の合計。
[予算の更新] ボタン	選択した [会計年] の予算にエントリを追加します (正または負の金額)。既存の明細は編集できません。詳細については、「組織単位の承認済み予算に明細を追加」(116 ページ) を参照してください。
会計年	ドロップダウンリストに会計年が表示されるので、承認済み予算データを表示する年を選択できます。[すべての表示] を選択すると、[合計の承認された予算] にはすべての会計年の合計金額が表示され、予算テーブルにはすべての会計年のエントリが一覧表示されます。

a. [合計の承認された予算] には、財務サマリ内で承認された予算データがすべて含まれます。データは、データが存在する会計年ごとに表示できます。

選択した会計年またはすべての会計年の承認済み予算に含まれるエントリが一覧表示されます。この一覧の表示列を、表 4-13 で示します。

PPM Center ソフトウェアをバージョン 7.5 からアップグレードした場合、バージョン 7.5 で組織単位の予算として計画した値は、バージョン 8.00 では、組織単位の財務サマリの承認済み予算の計画値へとアップグレードされます。データのアップグレードの詳細については、『Upgrade Guide』を参照してください。

表 4-13. 組織単位の財務サマリの承認された予算で表示される列

列	説明
名前	承認済み予算の明細の名前
日付	承認済み予算の明細を追加した日付
金額	承認済み予算の明細の金額
会計年	承認済み予算の明細の会計年
作成者	承認済み予算の明細を作成したユーザ
説明	承認済み予算の明細について、ユーザが入力した説明

いずれの会計年度についても、既存の予算明細の編集や削除はできません。明細の追加については、「[組織単位の承認済み予算に明細を追加](#)」(116 ページ)を参照してください。

組織単位の財務サマリの表示

組織単位の財務サマリを表示するには、次の手順を実行してください。

1. 次の手順で、組織単位を検索して開きます。
 - a. 標準インタフェースで、**[検索]** > **[管理]** > **[組織単位]** をクリックします。
[組織単位の変更] ページが開きます。
 - b. 検索条件を指定して、**[検索]** をクリックします。
条件を満たした組織単位が一覧表示されます。
 - c. 組織単位の名前をクリックします。
組織単位の表示ページが開きます。
2. **[財務サマリ]** フィールドで、財務サマリの名前を示すリンクをクリックします。
[財務サマリ] ページが開きます。
3. **[承認された予算]** セクションにある **[会計年]** フィールドで、**[すべての表示]** を選択するか、ドロップダウンリストから会計年を選択します。
選択内容に基づいて、[財務サマリ] ページがリフレッシュされます。

組織単位の承認済み予算に明細を追加



ドルなどの通貨で金額を入力する際の形式は、`server.conf` 設定ファイルのパラメータで指定します（「財務サマリと財務データテーブルでの金額入力の設定」(132 ページ)を参照）。

[承認された予算の編集] または [全財務サマリの承認済み予算の編集] のアクセス許可と、[承認された予算の編集] アクセス権限（「組織単位の財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(118 ページ)を参照）を持つユーザは、承認済み予算に明細を追加できます。ただし、既存の明細の編集はできません。

承認された予算に明細を追加するには、次の手順を実行してください。

1. 組織単位の財務サマリを開きます（「組織単位の財務サマリの表示」を参照）。
2. [承認された予算] セクションで、[予算の更新] をクリックします。

3. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (*必須)	説明
*名前	承認済み予算の明細の名前。既存の明細と同じ名前、または別の名前を指定できます。いずれの場合も、明細は新しいエントリ (行) として入力されます。
*会計年	予算明細の追加先となる会計年 (現在の会計年、昨年、来年)。
*金額	選択した会計年の承認済み予算に加算、または承認済み予算から減算する金額。負の値を入力すると、減算されます。
説明	承認済み予算に新しく追加する明細の説明 (オプション)。

4. [完了] をクリックします。

これで、承認済み予算に明細が追加されました。[会計年 <会計年> の合計の承認された予算] フィールド ([会計年] が [すべての表示] に設定されている場合は [合計の承認された予算]) の値が更新されます。

5. [財務サマリ] ページで、[保存] をクリックすると変更内容が保存され、[完了] をクリックすると変更内容を保存した後財務サマリが閉じます。

メモの表示と追加

組織単位の財務サマリを表示する権限を持つユーザは、メモの表示も可能です。組織単位の財務サマリにある承認された予算を変更する権限を持つユーザは、メモの変更も可能です。詳細については、『セキュリティ モデルのガイドとリファレンス』を参照してください。

メモを表示および追加する方法については、「メモの表示と追加」(61 ページ) を参照してください。

組織単位の財務サマリの監査履歴の表示

財務サマリの監査履歴では、組織単位の財務サマリに対する変更内容をトラッキングします。財務サマリの変更には、PPM Center または Web サービスを使用します。

[財務サマリの監査履歴] ウィンドウを表示するには、財務サマリの上部にある [財務サマリの監査履歴] リンクをクリックします。監査履歴イベントが、日付が新しい順に一覧表示されます。

監査履歴の列名は、表 4-3 を参照してください。

表 4-14. 組織単位の財務サマリの監査履歴で表示される列

列名	説明
日付	イベントの日付と時刻。
ユーザ	イベントを開始したユーザ。
タイプ	イベントの対象となった財務サマリ内のモジュール： <ul style="list-style-type: none">● 承認された予算
コンテキスト	監査エントリ。
イベント	監査履歴のイベントの内容。

組織単位の財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限

組織単位について、承認された予算の表示と編集を行う権限は、アクセス許可 (「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ) を参照) とアクセス権限 (財務サマリの [アクセスの設定] ページ) で制御されます。ここでは、[アクセスの設定] ページについて説明します。

[アクセスの設定] ページの内容を変更するには、[コストセキュリティの編集] アクセス許可と [セキュリティの編集] アクセス権限が必要です。

アクセス許可は、アクセス権限よりも優先されます。アクセス権限(たとえば、承認された予算にエントリを追加する権限など)を割り当てても、アクセス許可がなければ操作を実行できません。

ここでは、組織単位に関するアクセス権限について説明します。アクセス権限を変更するには、財務サマリの上部にある **[アクセスの設定]** をクリックしてください(112ページの図4-7を参照)。**[財務サマリのアクセス権限の設定]** ページが開き、アクセス権限が列に表示されます。詳細については、図4-8を参照してください。

図 4-8. 組織単位の **[財務サマリのアクセスの設定]** ページの例

財務サマリのアクセスの設定: IT North America			
HP Project and Portfolio Management Center の 財務サマリ を表示するためのアクセス権を持つユーザは、以下のとおりです。各ユーザに対して、追加の編集アクセス権限を付与します。			
アクセスの表示			
参加者	承認された予算の表示	承認された予算の編集	セキュリティの編集
組織マネージャ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ユーザの追加

セキュリティグループの追加

保存 完了 キャンセル

アクセス権限は、アクセス許可(「**財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可**」(134 ページ)を参照)との組み合わせに基づいて、ユーザとセキュリティグループに許可する機能(表4-15を参照)を指定します。

ユーザを追加するには、**[ユーザの追加]** をクリックして、割り当てるアクセス権限を指定します。セキュリティグループを追加するには、**[セキュリティグループの追加]** をクリックして、割り当てるアクセス権限を指定します。ユーザまたはセキュリティグループを削除する場合は、名前の左にある **削除** アイコンをクリックします。

表 4-15. [アクセスの設定] で組織単位に設定できるアクセス権限

アクセス権限	説明
承認された予算の表示	<p>(読み取り専用) 財務サマリで、承認された予算と監査履歴のエントリを表示することを許可します。</p> <p>[財務サマリのコストの表示] または [財務サマリのコストの編集] のアクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストの表示] または [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可がある場合には、このアクセス権限は不要です。</p>
承認された予算の編集	<p>財務サマリで、承認された予算へのエントリの追加と、監査履歴エントリの表示を許可します。</p> <p>[承認された予算の編集] および [財務サマリのコストの表示] のアクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストの表示] および [全財務サマリの承認済み予算の編集] のアクセス許可がある場合には、このアクセス権限は不要です。</p>
セキュリティの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [アクセスの設定] ページで、ユーザとセキュリティグループを追加および削除。 ● ユーザとセキュリティグループの財務サマリのアクセス権限を変更。 <p>[コストセキュリティの編集] アクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストセキュリティの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>

[アクセスの設定] ページを開くと、組織マネージャのアクセス権限が列ごとに表示されます。組織マネージャには、基本となるアクセス許可と割り当てられたアクセス権限に基づいて、次の操作が許可されます。

- 承認された予算の表示と編集。
- 他のユーザのアクセス権限の編集。

リクエストでの財務データテーブル

適切なリクエストタイプが設定されたリクエストでは、財務データテーブルを設定できます。リクエストタイプの例として、ライフサイクルエンティティのリクエストタイプ(「PFM - 提案」、「PFM - プロジェクト」、「PFM - 資産」の各リクエストタイプ)があります。

財務データテーブルは、リクエスト関連の財務情報や財務サマリから除外したい財務情報(ライフサイクルエンティティの場合)の集計やトラッキングに使用します。

財務データテーブルには、次のような機能があります。

- 間接的なコストおよびベネフィットのトラッキング
- 新しいリクエストに対して複数の予測データを作成
- 財務サマリにはないコスト係数に基づいてコストを分類

リクエストの財務データテーブルに含まれるデータタイプは、ライフサイクルエンティティの財務サマリのデータタイプのサブセットです。詳細については、後で説明します。

デフォルトでは、PPM Centerのリクエストタイプには財務データテーブル用のフィールドがありません。財務データテーブルを作成するには、リクエストタイプにフィールドを追加する必要があります。リクエストに必要なデータフィールドは、[サマリ]セクションや[詳細]セクションなど、任意の場所に作成できます。また、「代替データ」や「間接コスト」など、任意の名前を付けることができます。詳細については、『HP Demand Management 設定ガイド』を参照してください。



リクエストで使用する財務データテーブルのフィールドを作成するには、[属性]タブで、[検証]を「CST - 財務データテーブル」、[検証の検索]を「CST - 財務データの検索」に設定します。

財務データテーブルでは、財務サマリと同じ会計年が使用されます。表示されるのは、管理者が作成した会計期間のみです。会計期間の詳細については、『Generating Fiscal Periods』を参照してください。

会計期間を使用するフィールドに財務データテーブルを作成する方法については、「財務データテーブルの作成と編集」(125 ページ)を参照してください。

図 4-9は、リクエストの財務データテーブルの例です。この財務データテーブルの名前は「Alternative A」です。この値は、財務データテーブルの名前としてリクエストでユーザが指定します(リクエストのフィールドの名前は、管理者が設定します)。この例では、テーブルにデータは入力されていません。

図 4-9. 財務データテーブルの例

財務データ: Alternative A

アクセスの設定 Excelにエクスポート 保存 完了 キャンセル

サマリ

名前: Alternative A	ステータス: アプリケーション データの入力	作成日時: 2011/01/05
説明:	表示通貨: 日本円	作成者: Admin User
	合計予測コスト: ¥ 0	合計実績コスト: ¥ 0
	合計予測ベネフィット: ¥ 0	合計実績ベネフィット: ¥ 0

予測の実績の詳細
予測データがありません 予測と実績の追加 メモの追加

ベネフィットの詳細
ベネフィット データがありません ベネフィット の追加 メモの追加

保存 完了 キャンセル

財務データテーブルには、ボタン、フィールド、リンク、テーブルが表示されます。詳細については、以下で説明します。

財務データテーブルの上部にあるボタンとリンク

財務データテーブルの上部には、次のボタンとリンクがあります。

- **[アクセスの設定]** ボタン: このボタンを使用できるのは、他のユーザが使用する財務データテーブルのビュー設定や各項目の編集を行う権限があるユーザのみです。アクセス権限の詳細については、「[財務データテーブルの表示および編集に必要なアクセス権限](#)」(130 ページ)を参照してください。
- **[Excelにエクスポート]** リンクは、財務データテーブルをMicrosoft Excel スプレッドシートにエクスポートします。詳細については、「[財務データテーブルを Microsoft Excel にエクスポート](#)」(129 ページ)を参照してください。

財務データテーブルの [サマリ] セクション

リクエストの財務データテーブルの [サマリ] セクションでは、表 4-16 で示すフィールドが表示されます。

表 4-16. リクエストの財務データテーブルの [サマリ] セクションに含まれるフィールド

フィールド (*必須)	説明
*名前	財務データテーブルの名前。
説明	財務データテーブルの説明。
ステータス	財務データテーブルの上位リクエストのステータス。上位リクエストをクローズまたはキャンセルすると、財務データテーブルは読み取り専用になります。
表示通貨	<p>次の通貨を切り替えて、金額を表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 財務データテーブルの作成時に選択された地域の通貨 (デフォルトオプション)。 システムのデフォルト通貨 <p>上記2つの通貨が異なる場合に、[表示通貨] フィールドが表示されます。</p> <p>通貨の詳細については、第3章「財務為替レートと通貨の管理」(27 ページ)を参照してください。</p>
作成者	財務データテーブルを作成したユーザ。
合計予測コスト ^a	全期間での予測コストの合計。
合計予測ベネフィット (計画) ^a	全期間での予測ベネフィット (計画) の合計。
作成日時	財務データテーブルを作成した日付。
合計実績コスト ^a	全期間での実績コストの合計。
合計実績ベネフィット (実績) ^a	全期間での実績ベネフィットの合計。

a. このメトリクスは、すべての財務データが対象になります。期間は、現在を基準に2年前から5年先まで拡張できます。

財務データテーブルの [予測の実績の詳細] セクション (コストデータ)

[**予測の実績の詳細**] セクションでは、予測コストと実績コストがテーブル形式で表示されます。データは、2年前から5年先の期間を対象に月別または四半期別で表示されます。[実績] は、同じ期間中に実際に発生したコストを示します。



財務データテーブルでは、表示期間以外のコストを表示することもできます。財務データテーブルに含まれるすべてのデータを表示するには、Microsoft Excel スプレッドシートに財務データテーブルをエクスポートしてください。詳細については、「[財務データテーブルを Microsoft Excel にエクスポート](#)」(129 ページ)を参照してください。

[**予測の実績の詳細**] セクション内のテーブルは、財務サマリ内のテーブルと同じ方法で表示および編集できます。詳細については、「[ライフサイクルエンティティの財務サマリの \[予測の実績の詳細\]](#)」(46 ページ)および「[ライフサイクルエンティティの財務サマリのテーブルで使用できる機能](#)」(49 ページ)を参照してください。

財務データテーブルの [ベネフィットの詳細] セクション

[**ベネフィットの詳細**] セクションでは、予測ベネフィットと実績ベネフィットがテーブル形式で表示されます。データは、2年前から5年先の期間を対象に月別または四半期別で表示されます。[実績] は、同じ期間中に実際に発生したベネフィットを示します。



財務データテーブルでは、表示期間以外のベネフィットを表示することもできます。財務データテーブルに含まれるすべてのデータを表示するには、Microsoft Excel スプレッドシートに財務データテーブルをエクスポートしてください。詳細については、「[財務データテーブルを Microsoft Excel にエクスポート](#)」(129 ページ)を参照してください。

[**ベネフィットの詳細**] セクション内のテーブルは、財務サマリ内のテーブルと同じ方法で表示および編集できます。詳細については、「[ライフサイクルエンティティの財務サマリの \[ベネフィットの詳細\] セクション](#)」(48 ページ)および「[ライフサイクルエンティティの財務サマリのテーブルで使用できる機能](#)」(49 ページ)を参照してください。

財務データテーブルの作成と編集

財務データテーブルの設定が完了したら、新規または既存のリクエストに追加できます。財務データテーブルを指定できるリクエストフィールドに財務データテーブルがない場合、[作成] ボタンの横に **(財務データなし)** というテキストが表示されます。

財務データテーブルを作成するには、次の手順を実行してください。

1. リクエストで、財務データフィールド (フィールドには任意の名前を割り当てることができます) の横にある [作成] をクリックします。

[財務データの作成] ウィンドウが開きます。

2. 次の表で示す内容をフィールドに入力します。

フィールド (*必須)	説明
*名前	財務データテーブルの名前。
説明	財務データテーブルの説明。
*地域	財務データテーブルで使用する地域。
[資本コストをトラックします。] チェックボックス	選択すると、財務データテーブルでは、資本コストと運用コストが区別して処理されます。

3. [作成] をクリックします。

財務データテーブルを作成すると、リクエストの送信が保留されます。またリクエストでは、**(財務データなし)**ではなく、財務データテーブルの名前の後に**(保留中の保存)**というテキストが表示されます。

このフィールドの[作成] ボタンは[変更] ボタンに変わります。リクエストを送信して財務データテーブルを作成する前に、[手順2](#)で作成したフィールドを変更できます。

4. [送信] をクリックすると、リクエストが保存されます。

財務データテーブルを含むリクエストが作成されます。

財務データテーブルでは、[名前] フィールドと[説明] フィールド、[予測の実績の詳細] セクションと[ベネフィットの詳細] セクションのデータを、ライフサイクルエンティティの財務サマリと同様の方法で編集できます。ただし、承認された予算に関連するデータは、財務データテーブルに適用されません。詳しい編集方法については、「[ライフサイクルエンティティの財務サマリの編集](#)」(52 ページ)を参照してください。



ドルなどの通貨で金額を入力する際の形式は、`server.conf` 設定ファイルのパラメータで指定します (「[財務サマリと財務データテーブルでの金額入力の設定](#)」(132 ページ)を参照)。

財務データテーブルを含むリクエストまたは提案をコピー

財務データテーブルを含むリクエストをコピーするには、リクエストの[**コピーの作成**] ボタンをクリックする方法と、`ksc_copy_request` コマンドをワークフローで指定する方法があります。いずれの場合も、次の内容が新しいリクエストにコピーされます。

- リクエストの全財務データテーブル
- アクセス制御リスト ([財務データへのアクセス権限の設定] ページのデータ) 詳細については、「[財務データテーブルの表示および編集に必要なアクセス権限](#)」(130 ページ)を参照してください。
- 財務データテーブルに含まれる予測コストと予測ベネフィット

財務データテーブルに含まれる実績コスト、実績ベネフィット、メモは、新規リクエストにはコピーされません。

オリジナルのリクエストとコピーされたリクエストは、それぞれ別々に編集できます。

[**コピーの作成**] ボタンで提案をコピーした場合、提案の財務データテーブルでも同じ操作を実行できます。1つまたは複数の提案に含まれる財務データテーブルを変更して代替案とし、相互に比較することもできます。

ライフサイクルエンティティの遷移に伴う財務データテーブル

ここでは、提案、プロジェクト、資産というライフサイクルエンティティの遷移に伴う財務データテーブルの操作について説明します。

1つの提案から1つまたは複数のプロジェクトが作成された場合の財務データテーブル

提案がプロジェクトになると、デフォルトでは、財務データテーブルが提案からプロジェクトにコピーされます。コピー対象には、予測データと実績データの両方が含まれます。プロジェクトの財務データテーブルは編集可能ですが、提案の財務データテーブルは読み取り専用になります。



財務データテーブルをコピーするには、財務データテーブルのフィールドについて、提案のリクエストタイプとプロジェクトのリクエストタイプで同じトークンを設定する必要があります。

ワークローでは、さまざまなワークフローステップにおいて、1つの提案から複数のプロジェクトを作成する設定が可能です。これにより、たとえば、提案の承認後、複数の独立したプロジェクトをビジネスユニットごとに実施することができます。この場合、プロジェクトの財務サマリと財務データテーブルは、次のように処理されます。

- 最初に作成されたプロジェクト：
 - 提案の財務サマリが、プロジェクトの財務サマリとして使用されます（財務サマリは、プロジェクトにコピーされません）。
 - 提案の財務データテーブル全体が、同じトークンを持つ対象にコピーされます。
- 最初のプロジェクトの後に作成されたプロジェクト：
 - 財務サマリは作成されますが、データは含まれません。
 - 財務データテーブルのフィールドは、提案と同じ内容がプロジェクトにも作成されます。ただし、財務データテーブルが提案からプロジェクトのフィールドにコピーされることはありません。

プロジェクトから作成された資産の財務データテーブル

プロジェクトから資産が作成されると、プロジェクトから資産に財務データテーブルがコピーされます。コピー対象には、予測データと実績データの両方が含まれます。資産の財務データテーブルは編集可能ですが、プロジェクトの財務データテーブルは読み取り専用になります。



財務データテーブルをコピーするには、財務データテーブルのフィールドについて、プロジェクトのリクエストタイプと資産のリクエストタイプで同じトークンを設定する必要があります。

財務データテーブルを Microsoft Excelにエクスポート

財務データテーブルの一番上にある **[Excelにエクスポート]** リンクをクリックすると、財務データテーブルが Microsoft Excel スプレッドシートにエクスポートされます (122 ページの [図4-9](#) を参照)。メモはエクスポートされません。



Microsoft Internet Explorer バージョン7を使用している場合は、インターネットオプションが正しく設定されていることを確認してください。詳細については、『スタートアップガイド』を参照してください。

スプレッドシートには、次のデータがエクスポートされます。財務データテーブルで選択した表示オプションに関係なく、ユーザのアクセス許可で表示可能なデータがエクスポートされます。

- 予測および実績データ。四半期別ではなく月別です。
- 明細行。コストおよびベネフィットのカテゴリ別に集計されます。
- **[予測の実績の詳細]** セクションと **[ベネフィットの詳細]** セクションでのテーブル表示に使用するデータベース内で、全会計年にあるゼロ以外の数値。財務サマリで表示されるのは2年前から5年先までのデータのみですが、スプレッドシートにはこれ以外のデータもエクスポートされます。したがって、何年かのデータをまとめて参照したい場合は、財務サマリを Microsoft Excel にエクスポートすると便利です。

Microsoft Excel スプレッドシートにエクスポートするすべての財務データでは、財務データテーブルで選択した通貨が使用されます。

Microsoft Excel スプレッドシートのファイル名は `ExportFSToExcel.xls` です。

財務データテーブルの表示および編集に必要なアクセス権限

財務データテーブルの表示および編集機能へのアクセスは、アクセス許可（「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ)を参照）とアクセス権限（[財務データのアクセスの設定] ページ）で制御されます。ここでは、[財務データのアクセスの設定] ページについて説明します。

財務データテーブルを作成および編集するには、[財務サマリのコストの編集] または [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可、およびリクエストタイプの財務データテーブルフィールドでフィールドレベルのセキュリティが必要です。

財務データテーブルの作成者には、[財務データのアクセスの設定] ページ上にあるすべてのアクセス権限が自動的に割り当てられます。

[財務データのアクセスの設定] ページの内容を変更するには、[コストの編集] アクセス許可と [セキュリティの編集] アクセス権限が必要です。

アクセス許可は、アクセス権限よりも優先されます。アクセス権限があっても、アクセス許可がなければ操作を実行できません。

リクエストの財務データテーブルの一番上にある [アクセスの設定] をクリックすると (122 ページの図 4-9 を参照)、[財務データのアクセスの設定] ページが開き、アクセス権限が列に表示されます。図 4-10 は、画面のサンプルです。

図 4-10. [財務データのアクセスの設定] ページの例

財務データのアクセスの設定: Alternative A

HP Project and Portfolio Management Center の財務データを表示するためのアクセス権を持つユーザは、以下のとおりです。各ユーザに対して、追加の編集アクセス権限を付与します。

アクセスの表示					
参加者	コストの表示	コストの編集	ベネフィットの表示	ベネフィットの編集	セキュリティの編集
<input checked="" type="checkbox"/> Admin User	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

ユーザの追加

セキュリティグループの追加

保存 完了 キャンセル

アクセス権限は、アクセス許可（「財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可」(134 ページ)を参照）との組み合わせに基づいて、ユーザとセキュリティグループに許可する機能（表 4-17 を参照）を指定します。

ユーザを追加するには、[ユーザの追加]をクリックして、割り当てるアクセス権限を指定します。セキュリティグループを追加するには、[セキュリティグループの追加]をクリックして、割り当てるアクセス権限を指定します。ユーザまたはセキュリティグループを削除する場合は、名前の左にある**削除**アイコンをクリックします。

表 4-17. [アクセスの設定] ページで財務データテーブルに設定できるアクセス権限 (1/2 ページ)

アクセス権限	説明
コストの表示	<p>(読み取り専用) 財務データテーブルの予測コストと実績コストの表示を許可します。</p> <p>[財務サマリのコストの表示] または [財務サマリのコストの編集] のアクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストの表示] または [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可がある場合には、このアクセス権限は不要です。</p>
コストの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務データテーブルの予測コストと実績コストを編集 (コスト明細の追加、更新、削除)。 ● 財務データテーブルの [サマリ] セクションにある [名前] フィールドと [説明] フィールドを編集。 <p>[財務サマリのコストの編集] のアクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>
ベネフィットの表示	<p>財務データテーブルの財務ベネフィットの表示を許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [財務ベネフィットの表示] アクセス許可または [財務ベネフィットの編集] アクセス許可。 ● 財務データテーブルのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」アクセス権限を参照)。 <p>注: [全財務ベネフィットの表示] アクセス許可または [全財務ベネフィットの編集] アクセス許可がある場合には、このアクセス権限は不要です。</p>

表 4-17. [アクセスの設定] ページで財務データテーブルに設定できる
アクセス権限 (2/2 ページ)

アクセス権限	説明
ベネフィット の編集	<p>財務データテーブルのベネフィットの編集 (ベネフィット明細の追加、更新、削除) を許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [財務ベネフィットの編集] アクセス許可。 ● 財務データテーブルのコスト表示に必要な権限 (この表の「コストの表示」アクセス権限を参照)。 <p>注: [全財務ベネフィットの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>
セキュリティ の編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [アクセスの設定] ページで、ユーザとセキュリティグループを追加および削除。 ● ユーザとセキュリティグループの財務データテーブルのアクセス権限を変更。 <p>[コストセキュリティの編集] アクセス許可も必要です。</p> <p>注: [全財務サマリのコストセキュリティの編集] のアクセス許可がある場合は、このアクセス権限は不要です。</p>

財務サマリと財務データテーブルでの金額入力の設定

予測および実績のコストおよびベネフィット、承認された予算を財務サマリで入力する場合や、予測および実績のコストおよびベネフィットを財務データテーブルで入力する場合、ユーザは特定の形式で金額を入力します。server.conf 設定ファイルの BUDGET_IN_WHOLE_DOLLARS パラメータと BUDGET_IN_THOUSAND_SHOW_DECIMAL パラメータの設定に基づいて、整数値 (デフォルト)、千単位の整数値、千単位の整数値と小数桁、で入力できます。詳細については、表 4-18 を参照してください。



server.conf 設定ファイル内のパラメータ名は「DOLLARS」となっていますが、すべての通貨に適用されます。

表 4-18. 財務サマリでの server.conf パラメータに基づいた金額の入力

金額入力形式	説明	BUDGET_IN_WHOLE_DOLLARSの値	BUDGET_IN_THOUSAND_SHOW_DECIMALの値
整数	<p>デフォルト設定です。金額は、カンマなしの整数値で表示されます。たとえば、123456 と入力すると、123,456 を表します。</p> <p>BUDGET_IN_THOUSAND_SHOW_DECIMAL パラメータは無視されます。</p> <p>小数点以下を入力した場合、値はそのまま保存はされますが、四捨五入した整数値が表示されます。たとえば、123456.5 と入力すると、保存される値は123456.5 ですが、表示は123457 となります。</p>	TRUE	適用されません
千単位	<p>金額は、千単位の整数値で表示されます。たとえば、123 と入力すると、123,000 を表します。</p> <p>小数点以下を入力した場合、値はそのまま保存されますが、四捨五入した整数値が表示されます。たとえば、123.5 と入力すると、123,500 を表します。保存される値は123.5、表示される値は124 となります。</p>	FALSE	FALSE
千単位、小数点以下あり	<p>金額は、整数と小数部で表示されます。たとえば、123.456 と入力すると、123,456 を表します。</p> <p>入力された値がそのまま保存および表示されます。</p>	FALSE	TRUE

財務サマリと財務データテーブルのアクセス許可

表 4-19は、次に示すFinancial Managementのカテゴリに含まれるアクセス許可のまとめです。

- 財務サマリおよび財務データテーブルのコストセキュリティ
- 財務サマリおよび財務データテーブルの予測コストと実績コスト
- 財務サマリおよび財務データテーブルの予測ベネフィットと実績ベネフィット
- 財務サマリの承認された予算
- レコードの計画として使用するスナップショットの設定

アクセス許可は、アクセス権限と組み合わせることにより、表 4-19で示す操作をユーザに許可します。アクセス権限については、以下を参照してください。

- 「ライフサイクルエンティティの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(78 ページ)
- 「プログラムの財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(108 ページ)
- 「組織単位の財務サマリの表示および編集に必要なアクセス権限」(118 ページ)
- 「財務データテーブルの表示および編集に必要なアクセス権限」(130 ページ)

表 4-19. Financial Managementの財務サマリのアクセス許可 (1/4 ページ)

アクセス許可	説明
承認された予算に対するアクセス許可	
承認された予算の編集	<p>財務サマリの承認済み予算を編集することを許可します。 次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリの [アクセスの設定] ページにある [承認された予算の編集] アクセス権限。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「財務サマリのコストの表示」アクセス許可を参照)。
全財務サマリの承認済み予算の編集	<p>システム内にあるすべての財務サマリの承認済み予算を編集することを許可します。 このアクセス許可は、[全財務サマリのコストの表示] または [全財務サマリのコストの編集] のアクセス権限と組み合わせる必要があります。</p>
コストに対するアクセス許可	
コストセキュリティの編集	<p>財務サマリまたはリクエストの財務データテーブルの [アクセスの設定] ページで、ユーザやセキュリティグループの追加および削除、アクセス権限の変更を許可します (プロジェクトの場合、[プロジェクト設定] の [プロジェクトセキュリティ] ポリシーで、コストの参加者を選択する許可が与えられます)。 次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリまたは財務データテーブルの [アクセスの設定] ページにある [セキュリティの編集] アクセス権限。 ● 財務サマリのコスト表示または財務データテーブルのコスト表示に必要な権限 (この表の「財務サマリのコストの表示」アクセス許可を参照)。
全財務サマリのコストセキュリティの編集	<p>システム内にあるすべての財務サマリおよび財務データテーブルのコストセキュリティを編集することを許可します。</p>

表 4-19. Financial Managementの財務サマリのアクセス許可 (2/4 ページ)

アクセス許可	説明
全財務サマリのコストの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システム内にあるすべての財務サマリの予測コストと実績コストを編集 (コスト明細の追加、更新、削除)。 ● システム内にあるすべての財務サマリのスナップショットを作成および表示。 ● システム内にあるすべての財務サマリのついて、[サマリ] セクションにある [名前] フィールドと [説明] フィールドを編集。 ● システム内にあるすべての財務サマリの財務サマリ設定を編集。 ● システム内にあるすべてのリクエストの全財務データテーブルでの予測コストと実績コストを編集 (コスト明細の追加、更新、削除)。 ● システム内にあるすべてのリクエストの全財務データテーブルについて、[サマリ] セクションにある [名前] フィールドと [説明] フィールドを編集。
財務サマリのコストの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリの予測コストと実績コストを編集 (コスト明細の追加、更新、削除)。 ● 財務サマリのスナップショットを作成および表示。 ● 財務サマリの [サマリ] セクションにある [名前] フィールドと [説明] フィールドを編集。 ● 財務サマリの設定を編集。 ● リクエストの財務データテーブルでの予測コストと実績コストを編集 (コスト明細の追加、更新、削除)。 ● リクエストの財務データテーブルの [サマリ] セクションにある [名前] フィールドと [説明] フィールドを編集。 <p>財務サマリまたは財務データテーブルの [アクセスの設定] ページにある [コストの編集] アクセス権限も必要です。</p>
全財務サマリのコストの表示	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システム内にあるすべての財務サマリについて、予測コストと実績コスト、承認された予算、スナップショットの予測コストを表示。 ● システム内にあるすべてのリクエストの全財務データテーブルで予測コストと実績コストを表示。

表 4-19. Financial Managementの財務サマリのアクセス許可 (3/4 ページ)

アクセス許可	説明
財務サマリのコストの表示	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリで、予測コストと実績コスト、承認された予算、スナップショットの予測コストを表示。 ● リクエストの財務データテーブルの予測コストと実績コストを表示。 <p>財務サマリまたは財務データテーブルの [アクセスの設定] ページにある [コストの表示] アクセス権限も必要です。</p> <p>注: 財務サマリの親となる上位ライフサイクルエンティティのコストの参加者には、[コストの表示] アクセス権限が自動的に付与されます。</p>
財務ベネフィットに対するアクセス許可	
すべての財務ベネフィットの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システム内にあるすべての財務サマリでベネフィットを編集 (ベネフィット明細の追加、更新、削除)。 ● システム内にあるすべての財務サマリのスナップショットを作成および表示。 ● システム内にあるすべてのリクエストの全財務データテーブルで財務ベネフィットを編集。 <p>財務サマリのコストまたは財務データテーブルのコストを表示する権限も必要です (この表の「財務サマリのコストの表示」アクセス許可を参照)。</p>
財務ベネフィットの編集	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリのベネフィットを編集 (ベネフィット明細の追加、更新、削除)。 ● リクエストの財務データテーブルでベネフィットを編集。 <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリまたは財務データテーブルの [アクセスの設定] ページにある [ベネフィットの編集] アクセス権限。 ● 財務サマリのコスト表示または財務データテーブルのコスト表示に必要な権限 (この表の「財務サマリのコストの表示」アクセス許可を参照)。

表 4-19. Financial Managementの財務サマリのアクセス許可 (4/4 ページ)

アクセス許可	説明
すべての財務 ベネフィットの表示	<p>次の操作を許可します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システム内にあるすべての財務サマリで財務ベネフィットを表示。 ● システム内にあるすべてのリクエストの全財務データテーブルで財務ベネフィットを表示。 <p>財務サマリのコストまたは財務データテーブルのコストを表示する権限も必要です (この表の「財務サマリのコストの表示」アクセス許可を参照)。</p>
財務ベネフィットの 表示	<p>財務サマリまたはリクエストの財務データテーブルで財務ベネフィットを表示することを許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリまたは財務データテーブルの [アクセスの設定] ページにある [ベネフィットの編集] アクセス権限。 ● 財務サマリのコスト表示または財務データテーブルのコスト表示に必要な権限 (この表の「財務サマリのコストの表示」アクセス許可を参照)。
レコードの計画としてスナップショットを設定するためのアクセス許可	
財務サマリのスナップ ショットをレコードの 計画として設定	<p>財務サマリのスナップショット一覧で、レコードの計画としてスナップショットを指定することを許可します。</p> <p>次の許可または権限も必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 財務サマリの [アクセスの設定] ページにある [レコード計画の設定] アクセス権限。 ● 財務サマリのコスト表示に必要な権限 (この表の「財務サマリのコストの表示」アクセス許可を参照)。
全財務サマリの レコードの計画の設定	<p>システム内にある任意の財務サマリについて、スナップショット一覧にあるスナップショットをレコードの計画として指定することを許可します。</p>

財務サマリの比較

[財務比較] ポートレットでは、1つまたは複数のライフサイクルエンティティに関する予測またはレコードの計画 (POR) と、同じまたは異なるライフサイクルエンティティの予測または実績とを比較します。



使用される現地通貨が財務データごとに異なるため、[財務比較] ポートレットでは、財務データは常に基本通貨で表示されます (プリファレンスで通貨を設定した場合も同様です)。

[財務比較] ポートレットの [プリファレンスの編集] ページでは、ポートレットによるフィルタ処理とデータ表示で使用するパラメータを選択できます。表 4-20 はパラメータの一覧です。

表 4-20. [財務比較] ポートレットのパラメータ (1/2 ページ)

フィールド名	説明
財務の比較元リクエスト	
1つまたは複数のリクエスト	複数の選択が可能なオートコンプリートフィールド。1つまたは複数のアクティブなライフサイクルエンティティを選択できます。
予測の使用	選択したアクティブなライフサイクルエンティティの予測データを比較します。
PORの使用	選択したアクティブなライフサイクルエンティティのPORを比較します。
財務の比較先リクエスト	
上で選択したリクエストの予測	[財務の比較元リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティのPORと、同じエンティティの予測データを比較します。
上で選択したリクエストの実績	[財務の比較元リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティの予測データまたはPORと、同じエンティティの実績データを比較します。
1つまたは複数のリクエスト	複数の選択が可能なオートコンプリートフィールド。ライフサイクルエンティティを1つまたは複数選択し、[財務の比較元リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティの財務データと比較します。

表 4-20. [財務比較] ポートレットのパラメータ (2/2 ページ)

フィールド名	説明
予測の使用	[財務の比較元リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティのPORと、[財務の比較先リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティの予測データを比較します。
実績の使用	[財務の比較元リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティの予測データまたはPORと、[財務の比較先リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティの実績データを比較します。
期間	
財務サマリの対象期間	ポートレットの表示範囲を、アクティブなライフサイクルエンティティで選択された財務サマリの期間に限定します。
次の日以降を表示 ____ 次の値まで: ____	表示期間を選択します。

予測と実績の比較

[財務比較] ポートレットは、ライフサイクルエンティティの予測データと実績データを比較します。

1つのライフサイクルエンティティの予測データと実績データをできます。サンプルを図 4-11 に示します。[財務比較] ポートレットの [プリファレンスの編集] ページで、[財務の比較元リクエスト] セクションにある [1つまたは複数のリクエスト] フィールドでライフサイクルエンティティを1つ選択し、[予測の使用] を選択します。[財務の比較先リクエスト] セクションで [上で選択したリクエストの実績] を選択します。

図 4-11. 1つのプロジェクトの予測と実績を比較

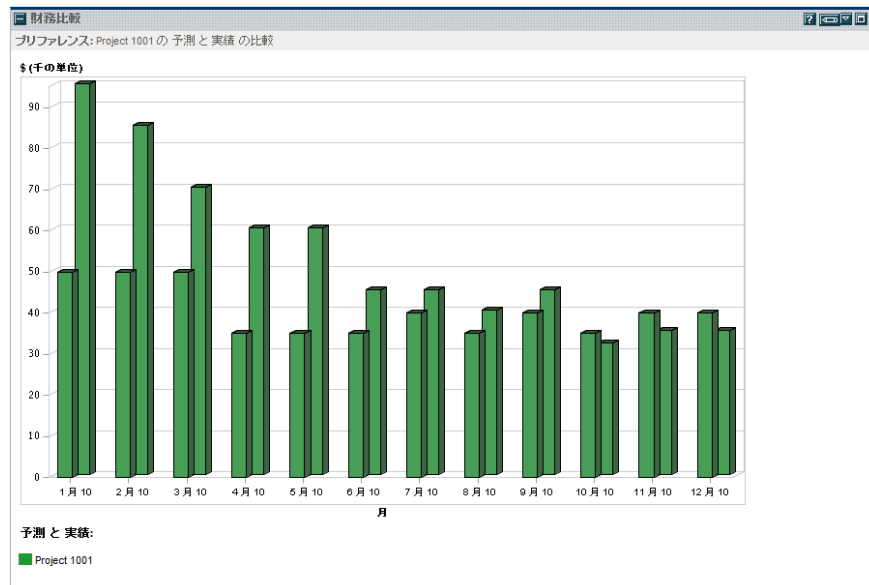
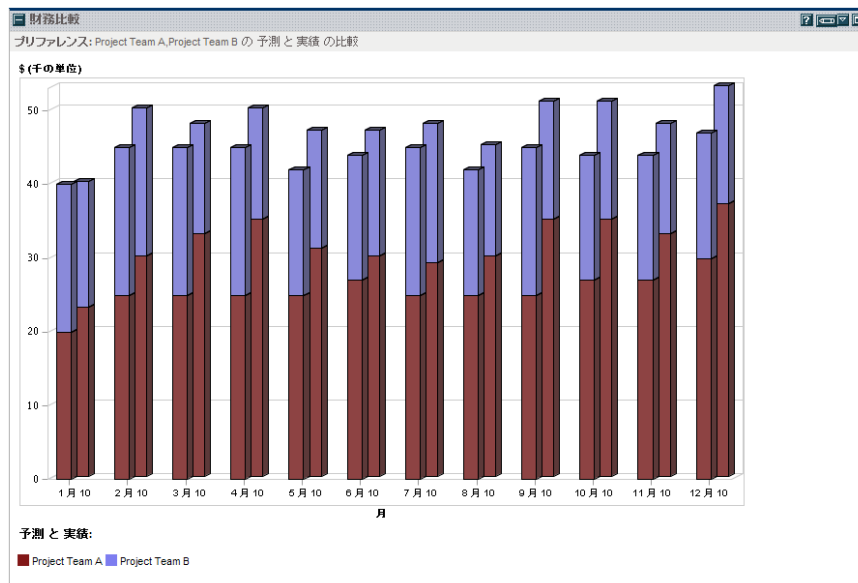


図 4-11 では、財務サマリの最初の時期では実績値が予測値を大幅に上回っていますが、後の時期になると、予測値と実績値の差が小さくなっていることがわかります。

このポートレットでは、複数のライフサイクルエンティティの予測データと実績データを比較することもできます。サンプルを [図 4-12](#) に示します。[財務比較] ポートレットの [プリファレンスの編集] ページで、[財務の比較元リクエスト] セクションにある [1つまたは複数のリクエスト] フィールドでライフサイクルエンティティを2つ選択し、[予測の使用] を選択します。[財務の比較先リクエスト] セクションで [上で選択したリクエストの実績] を選択します。

図 4-12. 複数のプロジェクトで予測と実績を比較



[図 4-12](#) を見ると、Team A の各種プロジェクトでは実績値が常に予測値を上回っていますが、Team B では常に予測値を下回っていることがわかります。

エンティティ間での予測の比較

[財務比較] ポートレットは、ライフサイクルエンティティの予測データを別のエンティティの予測データと比較することができます。サンプルを図 4-13 に示します。

[財務比較] ポートレットの [プリファレンスの編集] ページで、[財務の比較元リクエスト] セクションにある [1つまたは複数のリクエスト] フィールドでライフサイクルエンティティを1つ選択し、[予測の使用] を選択します。[財務の比較先リクエスト] セクションにある [1つまたは複数のリクエスト] フィールドで1つまたは複数のライフサイクルエンティティを選択し、[予測の使用] を選択します。

図 4-13. 複数のプロジェクトの予測を比較

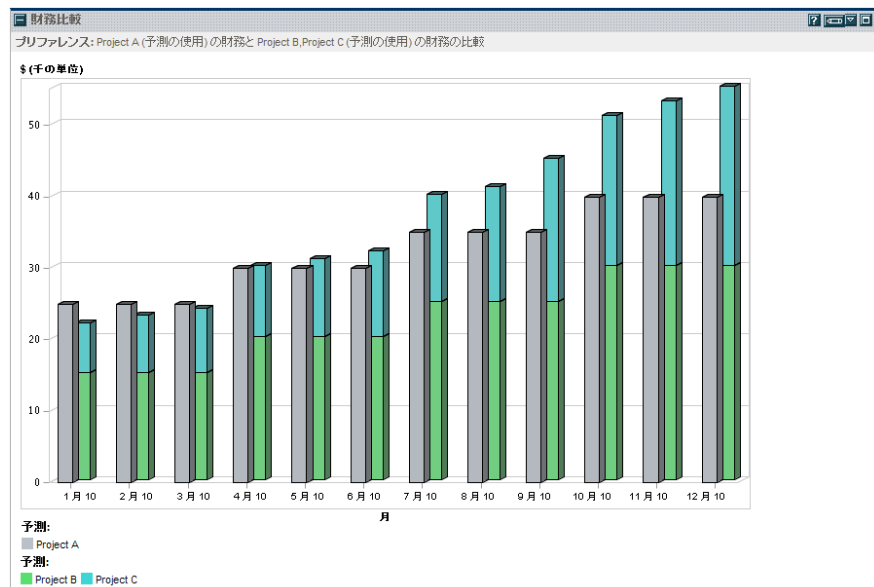


図 4-13 では、Project A の予測を、Project B および Project C の予測データの合計と比較しています。最初の時期、予測値にあまり差はありませんが、後になると、Project B と Project C の予測合計が、Project A を上回っていることがわかります。

財務サマリと財務データテーブルの比較

[財務サマリと財務データの比較] ポートレットは、1つまたは複数のライフサイクルエンティティと財務データテーブル間で、予測データまたは実績データを比較します。比較対象となるライフサイクルエンティティと財務データテーブルは、リクエストタイプが同じでなければなりません。



使用される現地通貨が財務データごとに異なるため、[財務サマリと財務データの比較] ポートレットでは、財務データは常に基本通貨で表示されます (プリファレンスで通貨を設定した場合も同様です)。

[財務サマリと財務データの比較] ポートレットの [プリファレンスの編集] ページでは、ポートレットのフィルタ処理とデータ表示で使用するパラメータを選択できます。表 4-21 はパラメータの一覧です。

表 4-21. [財務サマリと財務データの比較] ポートレットのパラメータ (1/2 ページ)

フィールド名	説明
* 次のリクエストタイプの財務を比較	オプションを1つ選択できるオートコンプリートフィールド。比較対象となるライフサイクルエンティティと財務データテーブルのリクエストタイプを選択します。比較対象となるライフサイクルエンティティと財務データテーブルは、リクエストタイプが同じでなければなりません。
財務の比較元リクエスト	
* 比較元リクエスト	複数の選択が可能なオートコンプリートフィールド。1つまたは複数のアクティブなライフサイクルエンティティを選択できます。選択したリクエストタイプのライフサイクルエンティティが一覧表示されます。
予測の使用	選択したアクティブなライフサイクルエンティティの予測データを比較します。
実績の使用	選択したアクティブなライフサイクルエンティティの実績データを比較します。

表 4-21. [財務サマリと財務データの比較] ポートレットのパラメータ (2/2 ページ)

フィールド名	説明
財務の比較先リクエスト	
*財務データテーブルの選択	複数の選択が可能なオートコンプリートフィールド。財務データテーブルを1つまたは複数選択します。これが、[財務の比較元リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティの財務データと比較されます。選択したリクエストタイプの財務データテーブルが一覧表示されます。
予測の使用	[財務の比較元リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティの予測または実績と、[財務の比較先リクエスト] セクションで選択した財務データテーブルの予測データを比較します。
実績の使用	[財務の比較元リクエスト] セクションで選択したアクティブなライフサイクルエンティティの予測または実績と、[財務の比較先リクエスト] セクションで選択した財務データテーブルの実績データを比較します。
期間	
財務サマリの対象期間	ポートレットの表示範囲を、アクティブなライフサイクルエンティティで選択された財務サマリの期間に限定します。
次の日以降を表示 ____ 次の値まで: ____	表示期間を選択します。

エンティティ間での予測の比較

[財務サマリと財務データの比較] ポートレットは、ライフサイクルエンティティの予測データと、財務データテーブルにある複数の予測データを比較します。サンプルを図 4-14に示します。

[財務サマリと財務データの比較] ポートレットの [プリファレンスの編集] ページで、[財務の比較元リクエスト] セクションにある [比較元リクエスト] フィールドでライフサイクルエンティティを1つ選択し、[予測の使用] を選択します。[財務の比較先リクエスト] セクションにある [財務データテーブルの選択] フィールドで1つまたは複数の財務データテーブルを選択し、[予測の使用] を選択します。

図 4-14. 予測の比較

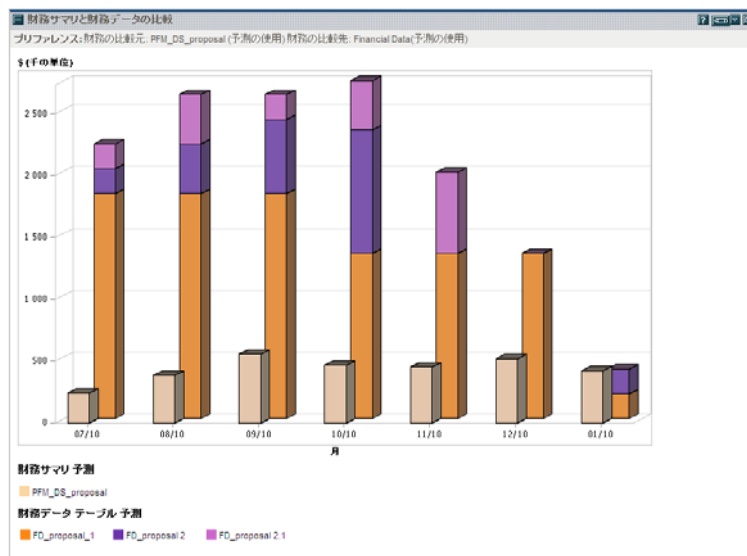


図 4-14 では、PFM_DS_proposal の予測データと、FD_proposal_1、FD_proposal 2、FD_proposal 2.1 の各予測データの合計を比較しています。

5 プロジェクトコストのトラッキングと分析

プロジェクトコストのトラッキングと分析の概要

計画に関連したコストデータをトラッキングする際、プロジェクトの実施中に発生したコストデータをさまざまな方法でキャプチャすることができます。このようにキャプチャしたコストデータは、財務サマリに記録されているデータと比較できます。

この章では、プロジェクトやプログラムで実際に発生したコストデータをキャプチャする方法と、その分析方法について説明します。

コストデータの計算と式

HP Financial Management では、プロジェクトの計画コストと実績コストの情報をキャプチャおよびトラッキングすることにより、プロジェクトのパフォーマンスを財務的な視点から把握することができます。プロジェクトやタスクでキャプチャできる基本的なコスト情報を表 5-1 にまとめます。

一部のコストデータは、プロジェクトのアクティブなベースライン作業計画から算出されます。ベースラインの詳細については、『HP Project Management ユーザーガイド』を参照してください。

表 5-1. コストデータの項目と計算式 (1/4 ページ)

項目	定義	式
計画人件費	作業項目 (通常はタスク) のコストであり、タスクでスケジュールされた工数にかかる金額の指標になります。この金額は、タスクごとに計算され、プロジェクトレベルでロールアップされます。	計画人件費=(スケジュールされた工数×タスクごとにコストルールで規定されたレート)の合計
計画非人件費	作業項目を完了するために必要になる非人件費。作業項目に費やされた工数の直接的な指標ではありません。この金額は、タスクごとに計算され、プロジェクトレベルでロールアップされます。	手入力
計画コスト	作業項目ごとの計画コストの合計です。	計画コスト=計画人件費+計画非人件費
ベースライン人件費	プロジェクト作業計画で使用するアクティブなベースラインにおける作業項目の人件費。	ベースライン人件費=ベースライン時点での計画人件費
ベースライン非人件費	プロジェクト作業計画で使用するアクティブなベースラインにおける作業項目の非人件費。	ベースライン非人件費=ベースライン時点での計画非人件費
ベースラインコスト	作業項目で使用するアクティブなベースラインで示される合計コスト。	ベースラインコスト=ベースライン人件費+ベースライン非人件費
実績人件費	作業項目で実施された作業のコスト。	実績人件費=(実績工数×作業項目ごとにコストルールで規定されたレート)の合計
実績非人件費	作業項目の実施上、発生した非人件費。	手入力

表 5-1. コストデータの項目と計算式 (2/4 ページ)

項目	定義	式
実績コスト	作業項目の実施上、発生したコストの合計	実績コスト=実績人件費 +実績非人件費
計画価値 (PV)	計画価値 (PV) は、server.conf ファイルの PV_USE_ACTIVE_BASELINE_DATES パラメータの設定によって、2通りの計算式で求めることができます。設定については、PPM Center システム管理者にお問い合わせください。	
	PV_USE_ACTIVE_BASELINE_DATES パラメータのデフォルト設定はfalseです。したがってデフォルトでは、ベースラインコストのうち、プロジェクトの開始日から現在の日付までの支出として計画された部分となります。	$PV = \text{ベースラインコスト} \times [(\text{現在の日付} - \text{開始日}) / (\text{終了日} - \text{開始日})]$
	PV_USE_ACTIVE_BASELINE_DATES パラメータをtrueに設定すると、計画価値は、スケジュールされた日付ではなく、プロジェクトのアクティブなベースラインの日付に基づいて計算されます。 注: PV_USE_ACTIVE_BASELINE_DATES をtrueに設定した後、プロジェクト計画価値更新サービスの初回実行時に、スケジュールされた日付とアクティブなベースラインの日付の両方が過去の日付になっているプロジェクトは、計算から除外されます。	$PV = \text{ベースラインコスト} \times [\text{MIN}(\text{現在の日付}, \text{ベースラインの終了日}) - \text{ベースラインの開始日}] / (\text{ベースラインの終了日} - \text{ベースラインの開始日})]$

表 5-1. コストデータの項目と計算式 (3/4 ページ)

項目	定義	式
アーン ドバ リユ ー (EV)	アーンドバリュー (EV) は、server.conf ファイルの EV_ALLOW_PRORATING パラメータの設定によって、2通りの計算式で求められます。設定については、PPM Center システム管理者にお問い合わせください。	
	EV_ALLOW_PRORATING server.conf パラメータのデフォルト値は true です。したがってデフォルトでは、アーンドバリュー (EV) は、プロジェクト全体のベースラインコストのうち、現在までに費やされた部分であり、これまでに実施された作業量に基づいて計算されます。	$EV = \text{ベースラインコスト} \times \text{達成率} (\%)$
	server.conf ファイルの EV_ALLOW_PRORATING パラメータが false に設定されている場合、タスクまたはプロジェクトが 100% 完了しないと EV の値は計算されません。つまり、タスクまたはプロジェクトが 100% 完了していない状態では、EV の値は 0 になります。タスクまたはプロジェクトが 100% 完了すると、EV の値は、タスクまたはプロジェクトのベースラインコストと等しくなります。	達成率 (%) が 100 未満の場合、 $EV = 0$ 達成率 (%) が 100 の場合、 $EV = \text{ベースラインコスト}$
コスト パ フ ォ ー マ ン ス 指 数 (CPI)	実績コストに対するアーンドバリュー (EV) の比率であり、コスト効率を示します。また、CPI は、プロジェクトの予測実際コストを計算し、コスト超過額を予測する際にも使用されます。	$CPI = EV / \text{実績コスト}$
スケ ジ ュ ー ル 実 績 指 数 (SPI)	計画価値 (PV) に対するアーンドバリュー (EV) の比率であり、スケジュール効率を示します。SPI は、作業計画または計画されたスケジュールの達成度を、コストに換算したものです。	$SPI = EV / PV$

表 5-1. コストデータの項目と計算式 (4/4 ページ)

項目	定義	式
コストの差異	プロジェクトまたはタスクについて、アーンドバリュー (EV) と実績コストの差を表します。完了した作業について、アーンドバリュー (EV) と実際に発生したコストを比較することにより、計画コストと実績コストを客観的に把握することができます。比較した結果は、コストの差異と呼ばれます。	$CV = EV - AC$
スケジュールの差異	プロジェクトまたはタスクについて、アーンドバリュー (EV) と計画価値 (PV) の差を表します。計画価値 (PV) とアーンドバリュー (EV) の比較によって、計画した作業の価値金額と、完了した作業の価値金額を比較できます。比較した結果は、スケジュールの差異と呼ばれます。	$SV = EV - PV$
予測実際コスト	作業項目の最新のベースラインが示す合計コストと、コストパフォーマンス指数 (CPI) の比率です。	予測実際コスト = ベースラインコスト / CPI

次の点に注意してください:



- すべてのコスト情報は、HP Project Managementによって自動計算されます。
- SPIの計算には、プロジェクトの予測ベースラインコストが使用され、実績コストは使用されません。

[プロジェクト設定]でのプロジェクトコスト計算の設定

プロジェクトのコストデータをトラッキングするには、HP Financial Managementに関連したプロジェクト設定を行う必要があります。



プロジェクト設定は、プロジェクトタイプから継承されるプロジェクトポリシーに基づきます。プロジェクトポリシーは固定的なものなので、プロジェクトの作成に使用したプロジェクトタイプによっては、編集できない内容も含まれています。

プロジェクトの設定を開くには、[プロジェクトの概要] ページで [**プロジェクト設定**] をクリックします。

[プロジェクト設定] ページが開き、プロジェクトのさまざまな項目を管理するポリシーが表示されます。たとえば [**コストと工数**] ポリシーでは、次の内容を設定できます。

- プロジェクト/タスクレベルでの人件費の計算方法
- ユーザによるデータ入力

[**コストと工数**] ポリシーでは、HP Time Management で工数をトラッキングする方法も定義します (HP Project Management と統合している場合)。詳細については、『HP Project Management ユーザーガイド』または『HP Time Management ユーザーガイド』を参照してください。



実績非人件費は、自動計算されませんが、いつでも手入力できます。

図 5-1 は、[**コストと工数**] ポリシーの [**Financial Management**] セクションの例です。

図 5-1. [**コストと工数**] ポリシーの [**Financial Management**] セクション

Financial Management
<input checked="" type="checkbox"/> このプロジェクト上で資産計上されたコストを許可します。
<input checked="" type="checkbox"/> 作業計画の Financial Management を有効にする
作業計画上の計画人件費は以下のようになります:
<input checked="" type="radio"/> スケジュールされた工数とレートに基づいて自動計算される
<input type="radio"/> タスクに手動で入力され、サマリ タスクにロール アップされる
作業計画上の実際の人件費は以下のようになります:
<input checked="" type="radio"/> 実績工数とレートに基づいて自動計算される
<input type="radio"/> タスクに手動で入力され、サマリ タスクにロール アップされる
財務サマリのコスト
<input type="checkbox"/> スタッフィング プロファイルから予測人件費を計算します。
<input type="checkbox"/> 作業計画とタイム シートから、実際の人件費を計算します (作業計画用に Financial Management を有効にする必要があります)。
<input type="checkbox"/> 作業計画から、実際の実績非人件費を計算します (作業計画用に Financial Management を有効にする必要があります)。

[**コストと工数**] ポリシーの [**Financial Management**] セクションで、[**作業計画の Financial Management を有効にする**] チェックボックスを選択すると、下位オプションを選択することによって、HP Financial Management をプロジェクトで使用できるようになります。

プロジェクトの財務サマリに関連するオプションを以下に示します。詳細については、「[財務サマリでのプロジェクトの設定](#)」(73 ページ)を参照してください。

- [**このプロジェクト上で資産計上されたコストを許可します**] (SOP 98-1 に基づいて資産計上したコストのトラッキングについては、[第 6 章「SOP 98-1 への準拠」](#) (167 ページ)を参照してください)。

- [作業計画のFinancial Managementを有効にする]
- [スタッフィングプロファイルから予測人件費を計算します]
- [作業計画とタイムシートから、実際の人件費を計算します (作業計画用にFinancial Managementを有効にする必要があります)。]
- [作業計画から、実際の人件費を計算します (作業計画用にFinancial Managementを有効にする必要があります)。]



作業計画の実績値は、プロジェクトの財務サマリにただちに反映されない場合があります。コストのロールアップは、HP Financial Managementがシステム全体を対象に定期的に行います。詳細については、付録 A 「コストの計算間隔の設定」(181 ページ)を参照してください。

[コストと工数] ポリシーの [Financial Management] セクションでは、[作業計画のFinancial Managementを有効にする] チェックボックスを選択した場合、財務サマリ設定に関連しないオプションも指定する必要があります。以下で説明するように、このオプションでは、作業計画に関する人件費の計画値および実績値について、自動計算や手入力の設定を行います。

- [作業計画上の計画人件費は以下のようになります]:
 - [スケジュールされた工数とレートを基に自動的に計算される]: タスクの計画人件費は、作業計画で入力されたスケジュール工数と人件費レートから自動計算されます。HP Project Managementでのコスト計算のサンプルは、「コストルールの例」(23 ページ)を参照してください。
 計画人件費を自動計算するには、[コストと工数] ポリシーの [リソース負荷の設定] セクション、[作業計画でのスケジュールされた工数] サブセクションにある [計画中はスケジュールされた工数を使用] オプションを選択します。
 - [タスクに手動で入力され、サマリタスクにロールアップされる]: タスクの計画人件費は、プロジェクトマネージャなど適切なアクセス許可を持った他のユーザが作業計画で入力します。

いずれのオプションを選択する場合でも、作業計画の計画人件費はタスクからサマリタスク、サマリタスクからプロジェクトへ自動的にロールアップされます。

- **〔作業計画上の実際の人件費は以下ようになります〕**

- **〔実績工数とレートを基に自動的に計算される〕**: タスクの実績人件費は、作業計画で入力された実績工数と人件費レートを元に自動計算されます。HP Project Managementでのコスト計算のサンプルは、「[コストルールの例](#)」(23 ページ)を参照してください。

実績人件費を自動計算するには、[コストと工数] ポリシーの [リソース負荷の設定] セクション、[作業計画での実績工数] サブセクションにある [リソースアサインごとに実績工数をトラッキングする] オプションを選択します。

タスクの実績人件費は、ユーザが記録したHP Time Managementのタイムシートからも自動計算されます。詳細については、「[実績人件費をタイムシートからロールアップ](#)」(156 ページ)を参照してください。

- **〔タスクに手動で入力され、サマリタスクにロールアップされる〕**: タスクの実績人件費は、プロジェクトマネージャなど適切なアクセス許可を持ったユーザが作業計画で入力します。詳細については、「[作業計画での実績人件費の手入力](#)」を参照してください。

いずれのオプションを選択する場合でも、作業計画の実績人件費はタスクからサマリタスク、サマリタスクからプロジェクトへ自動的にロールアップされます。

作業計画での実績人件費の手入力

タスクまたはサマリタスクで実績人件費を手入力するには、**[タスクに手動で入力され、サマリタスクにロールアップされる]** オプションを選択します。実績人件費は、**[タスクの詳細]** ページで入力できます。

タスクの実績人件費を入力するには、次の手順を実行してください。

1. プロジェクトを開きます。
2. **[プロジェクトの設定]** ページの **[コストと工数]** ポリシーで、タスクまたはプロジェクトの実績人件費の入力が許可されていることを確認します。HP Financial Management が有効であり、**[作業計画上の実際の人件費は以下のようになります:]** オプションが **[タスクに手動で入力され、サマリタスクにロールアップされる]** に設定されていることを確認してください。
3. **[完了]** をクリックします。**[プロジェクトの設定]** ページが閉じて、**[プロジェクトの概要]** ページに戻ります。
4. **[作業計画の編集]** をクリックします。
5. 変更するタスクを選択し、**[タスクの詳細]** アイコンをクリックします。
[タスクの詳細] ページが開きます。
6. **[コスト]** タブをクリックします。
7. タスクの明細に実績人件費を入力します。
8. 変更内容を保存します。
[保存] をクリックすると、タスクの変更内容が保存され、編集作業を続行できます。**[完了]** をクリックすると、タスクの変更内容が保存され、**[タスクの詳細]** ページは閉じます。
9. **[完了]** をクリックして、作業計画の変更内容を保存します。

実績人件費をタイムシートからロールアップ

HP Time Management がインストールされている場合、HP Project Management と統合し、タイムシートを使って工数のトラッキングを行い、さらに **[コストと工数]** ポリシーでの **Financial Management** 設定によって実績人件費をタイムシートからプロジェクト作業計画にロールアップすることができます。ロールアップされた数値は、さらにプロジェクト財務サマリにロールアップできます。

タイムシートから人件費をロールアップするには、**[コストと工数]** ポリシーで次のオプションを設定する必要があります。

- **[リソースアサインごとに実績工数をトラッキングする]** (**[リソース負荷の設定]** セクションの **[作業計画での実績工数]** サブセクション)
- **[Time Management を使用して、このプロジェクトに対して実績をトラッキングする]** (**[Time Management]** セクション)
- **[作業計画の Financial Management を有効にする]** (**[Financial Management]** セクション)

HP Time Management に関連する **[コストと工数]** ポリシーの設定については、『HP Project Management ユーザーガイド』または『HP Time Management ユーザーガイド』を参照してください。

財務サマリへのコストのロールアップ

計画と実績の人件費と非人件費は、以下で説明するデータソースからプロジェクト財務サマリにロールアップできます。ロールアップオプションの詳細については、「財務サマリでのプロジェクトの設定」(73 ページ)を参照してください。

計画人件費をスタッフィングプロファイルからロールアップ

スタッフィングプロファイルから計画人件費を自動計算するには、[プロジェクト設定] ページで、[コストと工数] ポリシーの [財務サマリのコスト] セクションにある [スタッフィングプロファイルから予測人件費を計算します] チェックボックスを選択します。自動計算を行うためには、このプロジェクトにスタッフィングプロファイルが存在する必要があります。詳細については、「財務サマリでのプロジェクトの設定」(73 ページ)を参照してください。

実績人件費と実績非人件費のロールアップ

すべてのタスクは、次のカテゴリごとにグループ化されています。

- 人件費または非人件費
- 資本または運用（資産計上トラッキングが有効になっている場合。「SOP 98-1 トラッキングの有効化」(168 ページ)を参照してください)

財務サマリのコスト明細も、上記のカテゴリに基づいてグループ化されます。[プロジェクト設定] ページにある [コストと工数] ポリシーの [財務サマリのコスト] セクションでは、次の処理を設定できます。

- 実績人件費を、作業計画とタイムシートから財務サマリにロールアップするかどうか
- 実績非人件費を作業計画からロールアップするかどうか

詳細については、「財務サマリでのプロジェクトの設定」(73 ページ)を参照してください。

プログラム財務サマリへのコストのロールアップ

[プログラム設定] ページ ([プログラムの概要] ページからアクセス) で **[このプログラムのFinancial Managementを有効にする]** オプションが選択されている場合、プログラム内にあるすべてのコンテンツ (提案、プロジェクト、資産) のコスト (およびベネフィット) データは、各財務サマリからプログラム財務サマリにロールアップされます。詳細については、「プログラムの財務サマリ」 (82 ページ) を参照してください。

プロジェクトコストの分析

HP Financial Management には、プロジェクトのコストデータを視覚的に把握できる便利なインタフェースがあります。ここでは、主な視覚化ツールを紹介します。

プロジェクトの累積コストメトリクス

プロジェクトの [累積コストメトリクスの分析] ページを表示するには、次のいずれかの手順を実行します。

- メニューバーで、**[開く]** > **[Financial Management]** > **[コストの分析]** > **[プロジェクトの累積コストメトリクス]** を選択し、フィルタ条件を指定してプロジェクトを選択します。
- プロジェクトが開いていてベースラインが設定されている場合、**[プロジェクトサマリ]** タブを選択し、**[EVサマリ]** セクションの **[分析]** をクリックします。

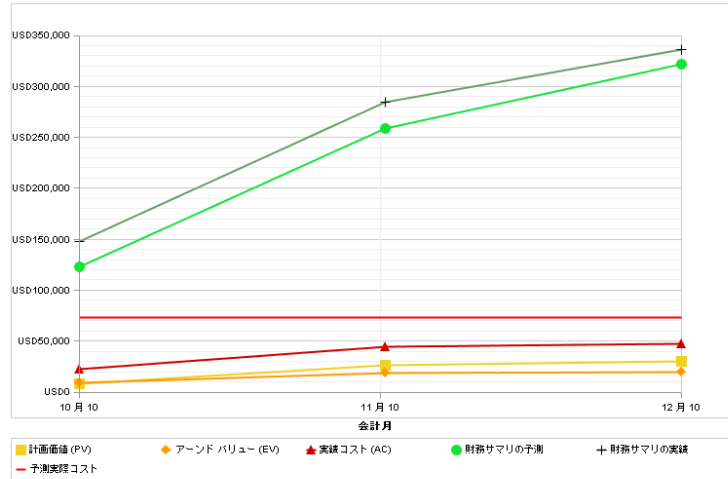
図 5-2. [累積コストメトリクスの分析] ページ

プロジェクトの累積コスト メトリクスの分析

現在の累積コストメトリクス グラフに現在適用されているフィルタ基準: プロジェクト名 - Project 1001, 期間 - 会計月, 開始日 - 2010/10/01, 終了日 - 2010/12/31

予測実際コスト: USD73,171

コスト



■ 計画価値 (PV) ◆ アーンド バリュ (EV) ▲ 実績コスト (AC) ● 財務サマリの予測 + 財務サマリの実績
— 予測実際コスト

	10月 10	11月 10	12月 10
計画価値	USD8,285	USD17,966	USD3,538
アーンド バリュ	USD9,228	USD9,097	USD1,178
実績コスト	USD21,997	USD22,168	USD3,439
人件費	USD10,000	USD10,000	USD0
非人件費	USD11,997	USD12,168	USD3,439
財務サマリの予測	USD123,000	USD136,000	USD63,000
人件費	USD63,000	USD68,000	USD53,000
非人件費	USD60,000	USD68,000	USD10,000
財務サマリの実績	USD147,886	USD136,724	USD51,161
人件費	USD76,500	USD57,500	USD38,000
非人件費	USD71,386	USD79,224	USD13,161

フィルタ基準

適用

プロジェクト:

サマリ タスク:

期間:

開始日:

終了日:

グラフに含める:

- 計画価値 (PV)
- アーンド バリュ (EV)
- 実績コスト (AC)
- 財務サマリの予測
- 財務サマリの実績

適用

[累積コストメトリクスの分析] ページでは、表 5-2に示すフィルタ条件を指定できます。

表 5-2. [累積コストメトリクスの分析] ページのパラメータ

フィールド名	説明
プロジェクト	分析対象となるプロジェクト。
サマリタスク	分析対象となるサマリタスク。
期間	グラフの時間軸が示す期間。指定できる値: 会計週、会計月、会計年
開始日	グラフ表示を開始する日付。
終了日	グラフ表示を終了する日付。
グラフで表示されるデータ:	
計画価値 (PV)	ベースラインコストを、プロジェクトの開始日と各データポイント間の期間ごとに表示します。
アーンドバリュー (EV)	プロジェクト全体のベースラインコストを、各データポイントで消費された金額を理論値で表示します。計算式については、 148 ページの表 5-1 を参照してください。
実績コスト (AC)	プロジェクトの合計コスト (実績人件費と実績非人件費の合計) を表示します。
財務サマリの予測	プロジェクトで予測される財務サマリの値を、データポイントごとに表示します。
財務サマリの実績	実績値が入力されている場合、各データポイントでの財務サマリの実績値を表示します。

[累積コストメトリクスの分析] ページでは、さまざまなコスト変数を使ってプロジェクトのパフォーマンスを時系列で評価できます。HP Project Management は、プロジェクトの [予測実際コスト] フィールドの値を、ベースラインコスト/CPIという式で計算します。計算結果は、グラフの上に表示されます。

[累積コストメトリクスの分析] ページで最新データを表示するには、保留中のコストアーンドバリュー更新サービスを有効にする必要があります。サービスを変更するには、[システム管理者: サービススケジュールの編集] というアクセス許可が必要です。

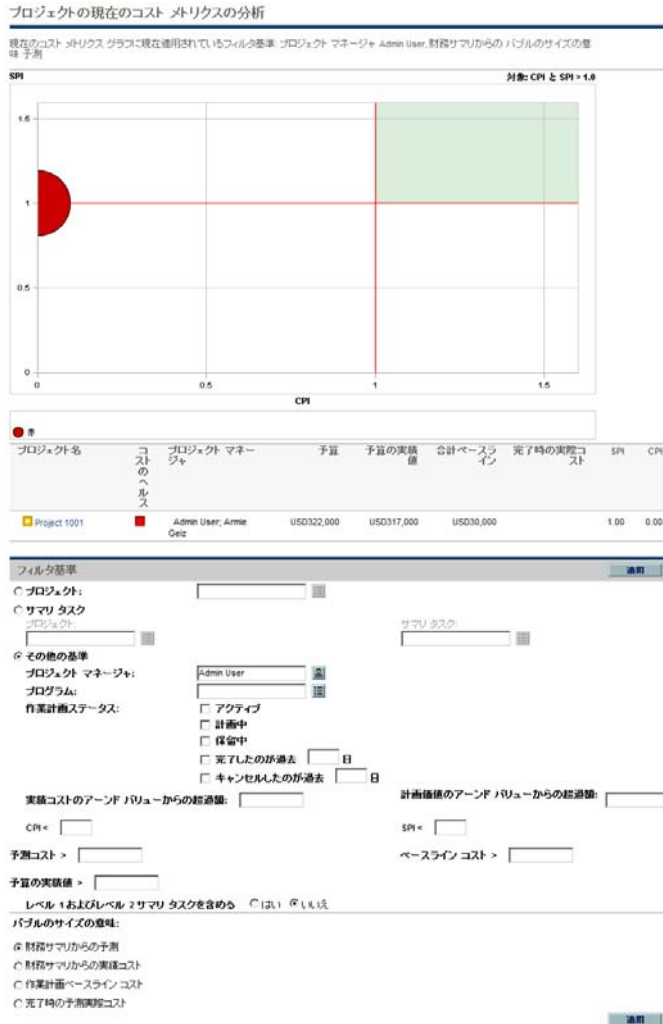
サービスを変更するには、次の手順を実行してください。

1. 標準インタフェースのメニューバーで、**[開く]** > **[管理]** > **[サービスのスケジュール]** を選択します。
2. 変更するサービスの行をクリックします。
3. **[ステータス]** (**[有効]** または **[無効]**)、**[スケジュールタイプ]**、**[スケジュール]** を必要に応じて変更します。**[スケジュールタイプ]** の詳細については、**オンラインヘルプ** を参照してください。
4. **[保存]** をクリックします。

プロジェクトの現在のコストメトリクス

[プロジェクトの現在のコストメトリクスの分析] ページを表示するには、メニューバーで [開く] > [Financial Management] > [コストの分析] > [プロジェクトの現在のコストメトリクス] を選択します。

図 5-3. [プロジェクトの現在のコストメトリクスの分析] ページ



[プロジェクトの現在のコストメトリクスの分析] ページでは、表 5-3 に示すフィルタ条件を指定できます。

表 5-3. [プロジェクトの現在のコストメトリクスの分析] ページのパラメータ
(1/2 ページ)

フィールド名	説明
プロジェクト	
プロジェクト	ページで表示するプロジェクト
サマリタスク	
プロジェクト	ページで表示するプロジェクト
サマリタスク	指定したプロジェクトに含まれるサマリタスク
その他の基準	
プロジェクトマネージャ	指定したプロジェクトマネージャのプロジェクトを表示
プログラム	指定したプロジェクトのプログラムを表示
作業計画ステータス	指定したステータスを持つ作業計画のプロジェクトを表示
実績コストのアーン ドバリューからの超過額	コスト差異が指定した金額を超えるプロジェクトを表示
計画価値のアーン ドバリューからの超過額	スケジュール差異が指定した金額を超えるプロジェクトを表示
CPI <	CPIが指定した値より小さいプロジェクトを表示
SPI <	SPIが指定した値より小さいプロジェクトを表示
予測コスト >	予測コストが指定した金額を超えるプロジェクトを表示
ベースラインコスト >	ベースラインコストが指定した金額を超えるプロジェクトを表示
予算の実績値 >	実績コスト (財務サマリの値) が指定した金額を超えるプロジェクトを表示
レベル1およびレベル2 サマリタスクを含める	作業計画の階層のレベル1またはレベル2のサマリタスクを含める

表 5-3. [プロジェクトの現在のコストメトリクス分析] ページのパラメータ
(2/2 ページ)

フィールド名	説明
バブルのサイズの意味	
財務サマリからの予測	財務サマリの予測の大きさに基づいて、プロジェクトを示すバブルの大きさを変えるオプション
財務サマリからの実績コスト	財務サマリの実績コスト (入力されている場合) の大きさに基づいて、プロジェクトを示すバブルの大きさを変えるオプション
作業計画ベースラインコスト	最後の作業計画のベースラインコストの大きさに基づいて、プロジェクトを示すバブルの大きさを変えるオプション
完了時の予測実際コスト	完了時の予測実際コスト (ベースラインコスト/CPI) の大きさに基づいて、プロジェクトを示すバブルの大きさを変えるオプション

[プロジェクトの現在のコストメトリクス分析] ページでは、1つまたは複数のプロジェクトのサイズとコストのヘルスを比較できます。

このページは、[プロジェクトの現在のコストメトリクス] ポートレットでも表示されます。

プロジェクトのアーンドバリュー分析の表示

[アーンドバリュー] の作業計画ビューでは、プロジェクト作業計画のアーンドバリュー (EV) 分析データが表示されます。表 5-4は、このタブにあるフィールドの説明です。



[アーンドバリュー] の作業計画ビューのフィールドは、すべて読み取り専用なので変更できません。

表 5-4. [アーンドバリュー] ビューのフィールド

フィールド名	説明
シーケンス	階層内でのタスクの番号。
コストのヘルス	コストサマリ条件の設定に基づくコストのヘルス。
名前	タスクの名前。
計画価値	ベースラインコスト (作業計画の最新のベースライン) の一部であり、プロジェクトまたはタスクで開始日とステータス日の間に予算化されたコスト。
アーンドバリュー	プロジェクトまたはタスク全体に設定されたベースラインコストの一部であり、作業の達成率に対するコスト。計算式については、 148 ページの表 5-1 を参照してください。
コストの差異	プロジェクトまたはタスクについて、アーンドバリュー (EV) と実績コストの差を表します。この値は、アーンドバリューから実績コストを差し引いて計算します ($CV = EV - AC$)。完了した作業について、アーンドバリュー (EV) と実際に発生したコストを比較することにより、計画コストと実績コストを客観的に把握できます。比較した結果は、コストの差異と呼ばれます。
スケジュールの差異	プロジェクトまたはタスクについて、アーンドバリュー (EV) と計画価値 (PV) の差を表します。この値は、アーンドバリューから計画価値を差し引いて計算します ($SV = EV - PV$)。計画価値 (PV) とアーンドバリュー (EV) の比較によって、計画した作業の価値金額と、完了した作業の価値金額を比較できます。比較した結果は、スケジュールの差異と呼ばれます。
CPI	コストパフォーマンス指数。実績コストに対するアーンドバリュー (EV) の比率であり、コスト効率を示します。この指数は、コスト超過の予測に使用します。値は、アーンドバリューを実績コストで除算して求めます ($CPI = EV / AC$)。
SPI	スケジュール業績指数。完了したアーンドバリュー (EV) の計画価値 (PV) に対する比率で、スケジュール効率を示します。計画したスケジュールが実際にどの程度完了したかを示します。この値は、アーンドバリューを計画価値で除算して求めます ($SPI = EV / PV$)。
実績コスト	所定の期間中、タスクまたはプロジェクトを完了するためにかかった合計コストです。

プログラムコストの分析

プログラムに関するコストデータをトラッキングすることができます。コストトラッキングを有効化する設定は、プログラムの新規作成時または既存のプログラムを変更する際に行います。コストトラッキングの有効化に関する詳細は、『HP Program Management ユーザーガイド』を参照してください。

プログラムのコストデータを分析するには、次の手順を実行してください。

- メニューバーで、**[開く]** > **[Financial Management]** > **[コストの分析]** > **[プロジェクトの現在のコストメトリクス]** を選択し、**[その他の基準]** でプログラムのフィルタオプションを選択します。
- **[プログラムの概要]** ページで **[EV分析]** タブをクリックします。

ここで表示される分析データは、プロジェクトのコストデータ分析の内容と同じです。コストの視覚化に関する詳細は、「[プロジェクトコストの分析](#)」(158 ページ)を参照してください。

さらに **[プログラムの概要]** ページの **[プログラムコスト]** セクションでは、プログラムの計画コストと実績コストが人件費と非人件費の内訳で表示され、**[コンテンツ]** セクションではプログラムに含まれる提案、プロジェクト、資産のコスト情報が表示されます。

[プログラムの概要] ページを開くには、プログラムを検索するか、HP Program Management のポートレットからドリルダウンしてください。

6 SOP 98-1 への準拠

SOP 98-1 の概要と HP Financial Management

SOP (Statement of Position) 98-1 は、米国の会計基準であり、社内利用目的のソフトウェア開発で発生する費用の資産計上を規定します。SOP 98-1 では特に、社内利用のソフトウェアを資産計上するための条件を規定しています。HP Financial Management では、次に示す機能を使って、プロジェクトの計画と実施を SOP 98-1 に基づく方法で最適化できるようにサポートします。

- プロジェクトとタスクの各フェーズで発生するコスト(費用)は、運用コストではなく、資産計上可能な資本コストとして処理します。プロジェクトテンプレートで計上方法の区別を指定することで、常に資産計上を行うプロジェクトを作成できます。
- 資本支出と運用費は、プロジェクト、プログラム、ポートフォリオの各レベルで参照でき、分析も可能です。



資産と運用の各カテゴリにコストデータを振り分けるためには、SOP 98-1 トラッキングを有効にする必要があります(「SOP 98-1 トラッキングの有効化」を参照してください)。

SOP 98-1 トラッキングの有効化

プロジェクトで資産計上する費用情報をトラッキングするには、SOP 98-1 トラッキングを有効にする必要があります。PPM Center システム管理レベルで有効化してから、次にプロジェクトで有効化してください。

SOP 98-1 トラッキングはプロジェクトの資産計上を目的とした機能ですが、PPM Center では、提案と資産でも資産計上を行うことができます。

システム管理レベルで SOP 98-1 トラッキングを有効化

PPM Center のインストールが完了したら、SOP 98-1 トラッキングを有効にするかどうかを検討してください。SOP 98-1 トラッキングを有効化するには、`server.conf` ファイルで `COST_CAPITALIZATION_ENABLED` パラメータを `true` に設定します。

通常、`server.conf` 設定ファイルにアクセスできるのは PPM Center システム管理者のみです。SOP 98-1 トラッキングの有効化については、システム管理者に問い合わせてください。

このパラメータは、インストール時に管理者が設定します。PPM Center の使用開始後は変更しないでください。

プロジェクトでの SOP 98-1 トラッキングの有効化

SOP 98-1 トラッキングをプロジェクトで有効化するには、[プロジェクト設定] ページの [コストと工数] を使用します。

プロジェクト設定は、プロジェクトタイプから継承されるプロジェクトポリシーに基づきます。プロジェクトポリシーは固定的なものなので、プロジェクトの作成に使用したプロジェクトタイプによっては、編集できない内容も含まれています。

SOP 98-1 (資産計上) トラッキングの表示と指定の手順や、プロジェクトの財務サマリの設定については、「財務サマリでのプロジェクトの設定」(73 ページ)を参照してください。

提案での資産計上のトラッキングについては、「財務サマリでの提案の設定」(71 ページ)を参照してください。

資産での資産計上のトラッキングについては、「財務サマリでの資産の設定」(76 ページ)を参照してください。

アクティビティを使用した資本コストのトラッキング

アクティビティは、設定エンティティの1つであり、資産計上対象のプロジェクトやタスクで使用します。プロジェクトやタスクは、資産計上の対象アクティビティに関連付けられると、資産計上対象として認識されます。このアクティビティは、SOP 98-1トラッキングが無効の場合でも使用できますが、資産計上対象としてマークすることはできません。また、プロジェクトやタスクをアクティビティに関連付けても資産計上データのトラッキングは行われません(リクエストとパッケージは資産計上できませんが、アクティビティと関連付けることは可能です)。

アクティビティの設定

アクティビティの作成と編集(管理)は、メニューバーから行います。

アクティビティのアクセス許可

表 6-1は、アクティビティの表示と設定に必要なアクセス許可の一覧です。いずれも、設定カテゴリに含まれます。

表 6-1. アクティビティの設定に必要なアクセス許可

アクセス許可	実行可能なアクション
アクティビティの表示	アクティビティを表示できますが、作成、編集、削除はできません。
すべてのアクティビティの編集	アクティビティを作成、編集、削除できます。

アクティビティの作成

SOP 98-1 で使用するアクティビティを作成するには、次の手順を実行してください。

1. 標準インタフェースのメニューバーで、**[作成]** > **[管理]** > **[アクティビティ]** を選択します。

[アクティビティの作成] ページが開きます。

アクティビティの作成

名前:

説明:

使用対象: リクエスト プロジェクト タスク 資産 パッケージ その他

SOP 98-1 カテゴリ:

資本化可能: はい いいえ

有効 注記: このアクティビティを無効にしても、現在このアクティビティを使用しているタイムシートとタスクは影響しません。ただし、新規タイムシートとタスクでこのアクティビティを使用することまでできなくなります。

今後の使用は無効

2. 各フィールドに、次の表で示す内容を入力します。

フィールド名	説明
名前	アクティビティの名前 (フィールドの選択肢として表示されます)。
説明	アクティビティの説明。
使用対象	アクティビティを関連付ける対象となるエンティティを指定します。 HP Time Management では、エンティティでアクティビティを有効化すると、そのエンティティのタイプ (作業項目) のタイムシート明細をアクティビティに基づいて分類できます。タイムシートと作業項目の詳細については、『HP Time Management ユーザーガイド』を参照してください。
SOP 98-1 カテゴリ	アクティビティの分類先となる SOP 98-1 カテゴリを指定します。このフィールドに入力できるのは、 [使用対象] でタスクまたはプロジェクトを選択し、システムレベルで SOP 98-1 トラッキングが有効になっている場合のみです。

フィールド名	説明
資本化可能	アクティビティの資産計上を指定するオプションです。このフィールドに入力できるのは、[使用対象] でタスクまたはプロジェクトを選択し、システムレベルでSOP 98-1トラッキングが有効になっている場合のみです。
有効	アクティビティを有効化するオプションです。無効にすると、このアクティビティはタスクで選択肢として表示されません。

SOP 98-1カテゴリーの選択と項目の資産計上を行うためには、SOP 98-1機能を有効にする必要があります。詳細については、「[SOP 98-1 トラッキングの有効化](#)」(168 ページ)を参照してください。

3. [作成] をクリックします。



アクティビティの定義言語がセッション言語に設定されます。アクティビティは、定義言語のみで変更可能です。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

既存のアクティビティの変更

既存のアクティビティを編集するには、次の手順を実行します。

1. 標準インタフェースのメニューバーで、[検索] > [管理] > [アクティビティ] を選択します。

[アクティビティの管理] ページが開き、[アクティビティの選択] に既存のアクティビティが一覧表示されます。

アクティビティの管理

Excelにエクスポート				
アクティビティの選択				
アクティビティ名	説明	資産計上されたコスト	有効	SOP 98-1カテゴリー
Misc - activity 1	For Misc work items only	いいえ	はい	
Misc - activity 2	For Misc work items only	いいえ	はい	
PPM LQA	test	いいえ	はい	
インストール	インストール	はい	はい	インストール
コーディング	コーディング	はい	はい	コーディング
テスト	テスト	はい	はい	テスト
デザイン	選択済みのオプションのデザイン	はい	はい	選択済みのオプションのデザイン
データ実装	データ実装	いいえ	はい	データ実装
トレーニング	トレーニング	いいえ	はい	トレーニング
メンテナンス	アプリケーションのメンテナンス	いいえ	はい	アプリケーションのメンテナンス
技術のアセスメント	必要な技術の有無を確認	いいえ	はい	必要な技術の有無を確認
指定	代替の指定	いいえ	はい	代替の指定
評価	代替の評価	いいえ	はい	代替の評価
選択	代替の最終選択	いいえ	はい	代替の最終選択

アクティビティの作成

2. [アクティビティ名] の列で、目的のアクティビティをクリックします。

[アクティビティの編集] ページが開き、作成時と同じフィールドが表示されます。

アクティビティの編集: データ変換

名前:

説明:

使用対象: リクエスト プロジェクト タスク 資産 パッケージ その他

SOP 98-1 カテゴリ:

資本化可能: はい いいえ

有効 注記: このアクティビティを無効にしても、現在このアクティビティを使用しているタイムシートとタスクには影響しません。ただし、新規タイムシートとタスクでこのアクティビティを使用することはできなくなります。

今後の使用は無効



アクティビティの定義言語とセッション言語が異なる場合、アクティビティの変更はできません。詳細については、ヘッダの [理由] をクリックして、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

3. フィールドの内容を適宜変更し、[保存] をクリックします。

アクティビティが保存されます。

アクティビティの無効化

アクティビティは削除できませんが、不要なものは無効にすることができます。アクティビティを無効にしても、そのアクティビティを現在使用しているタスクやタイムシートには影響しません。ただし、そのアクティビティを使ってタスクやタイムシートを新規作成することはできなくなります。

アクティビティを無効化するには、次の手順を実行してください。

1. 標準インタフェースのメニューバーで、[検索] > [管理] > [アクティビティ] を選択します。

[アクティビティの管理] ページが開き、[アクティビティの選択] に既存のアクティビティが一覧表示されます。

アクティビティの管理

Excelにエクスポート

アクティビティの選択				
アクティビティ名	説明	資産計上されたコスト	有効	SOP 98-1 カテゴリ
Misc - activity 1	For Misc work items only	はい	はい	
Misc - activity 2	For Misc work items only	はい	はい	
PPM LQA	test	はい	はい	
インストール	インストール	はい	はい	インストール
コーディング	コーディング	はい	はい	コーディング
テスト	テスト	はい	はい	テスト
デザイン	選択済みのオプションのデザイン	はい	はい	選択済みのオプションのデザイン
データ変換	データ変換	はい	はい	データ変換
トレーニング	トレーニング	はい	はい	トレーニング
メンテナンス	アプリケーションのメンテナンス	はい	はい	アプリケーションのメンテナンス
技術のアセスメント	必要な技術の有無を確認	はい	はい	必要な技術の有無を確認
指定	代替の指定	はい	はい	代替の指定
評価	代替の評価	はい	はい	代替の評価
選択	代替の最終選択	はい	はい	代替の最終選択

1 - 14 / 14 を表示

アクティビティの作成

- [アクティビティ名] の列で、目的のアクティビティをクリックします。

[アクティビティの編集] ページが開きます。

▶ アクティビティの定義言語とセッション言語が異なる場合、アクティビティの変更はできません。アクティビティを編集する詳しい方法については、ヘッダの[理由]をクリックし、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

- [今後の使用は無効] オプションを選択します。
- [保存] をクリックします。

このアクティビティは、これ以降使用できなくなります。

アクティビティとタスクの関連付け

アクティビティをタスクにアサインするには、[タスクの詳細] ページを使用します。このページは[作業計画の定義] ビューから開くことができます。

アクティビティとタスクを関連付けるには、次の手順を実行してください。

- プロジェクトを開きます。
- [作業計画の編集] をクリックします。

作業計画の[スケジュールビュー]が開きます。

3. タスクを選択し、[**タスクの詳細**] アイコンをクリックします。

[タスクの詳細] ページが開きます。

4. [タスクの詳細] ページで、[**アクティビティ**] を選択します。

5. [**保存**] をクリックします。



HP Time Managementを使用する場合、アクティビティが関連付けられたタスクをタイムシートに追加してタイムシートを保存すると、そのタスクのアクティビティは変更できなくなります。

アクティビティの継承

タスクとサマリタスクは、上位プロジェクトからアクティビティを継承することができます。これにより、プロジェクト内にあるタスクやサマリタスクごとにアクティビティを設定する必要がなくなります。アクティビティは、次の規則に従って継承されます。

- プロジェクトまたはサマリタスクにアクティビティ (親) を設定する場合、同じアクティビティが子に継承されます。子は、親のアクティビティをそのまま継承します。子を別の親に移動すると、この子は、移動先の親のアクティビティを継承します。
- 親とは異なるアクティビティを持つ子が見つかり、その時点で継承は停止し、子のアクティビティは保持されます。子を別の親にインデント、アウトデント、切り取り、貼り付けした場合でも、子のアクティビティは保持されたままになります。
- 親と子が同じアクティビティを持っている場合、親のアクティビティを変更すると、それに合わせて子のアクティビティも変更されます。
- 子のアクティビティを手動で空にした後、アクティビティを持つ親に移動すると、その親のアクティビティを継承します。

プロジェクトでの資本支出と運用費データの表示

プロジェクトの資本支出と運用費の内訳は、プロジェクトの財務サマリの PPM Dashboard、[プロジェクトの概要] ページの [EV サマリ]、各ポートレットとページ、レポートで参照できます。

タスクの資本支出と運用費の内訳は、[タスクの詳細] ページで参照できます。

コストデータは、次の内容を元に表示されます。

- プロジェクトの財務サマリ
- 作業計画から計算されたコストデータ

プロジェクトの [財務サマリ] セクションと [EVサマリ] セクション

プロジェクトの [プロジェクトの概要] ページにある [プロジェクトコスト] セクションには、プロジェクトの財務サマリを表示するボタンがあります。財務サマリでは、プロジェクトの財務サマリ設定に基づいて、資本と運用のカテゴリ別にコストデータが表示されます。それぞれのカテゴリには、さらに人件費と非人件費の内訳があります。また、財務サマリには、予測コストと実績コストが表示されます。

プロジェクト作業計画のベースラインが1つでも取得されていると、プロジェクトの [プロジェクトの概要] ページには [EV サマリ] が表示されます。[EV サマリ] セクションには、そのプロジェクトに関するアードバリュー分析データが表示されます。

[プロジェクトの概要] ページにアクセスするには、プロジェクトを検索するか、HP Project Management のポートレットからドリルダウンしてください。

[タスクの詳細] ページ

[タスクの詳細] ページの上部に、タスクの**アクティビティ**が表示されます (図 6-1を参照してください)。

図 6-1. [タスクの詳細] ページの上部

タスクの経過履歴の表示 すべてのタスク 前へ 次へ

タスクの詳細: 3 - task01 保存 完了 キャンセル

名前: task01

プロジェクトパス: Project 1001 > task01

ステータス: [完了] シーケンス番号: 3

説明: _____

達成率 (%): 100 アクティビティ: PPM LQA 優先度: 0

マイルストーンとしてタスクをマークする

これは主要マイルストーン

マイルストーンは自動的に完了する

タスクの削除

[タスクの詳細] ページの [コスト] タブには、タスクのコストデータと、**人件費**と**非人件費**の内訳が表示されます。

[タスクの詳細] ページを開くには、[マイタスク] ポートレットからアクセスする方法、タスクを検索する方法、プロジェクト作業計画でタスクを選択してから [タスクの詳細] アイコンをクリックする方法があります。

プログラムの資本支出と運用費データを表示

HP Program Management では、SOP 98-1 機能を使って、プログラムに関する資本支出と運用費の内訳を表示できます。表示には、PPM Dashboard の [プログラムコストサマリ] ポートレットを使用します。コストデータは、プログラムロールアップの財務サマリのデータです。

[プログラムコストサマリ] ポートレットは、コストデータを資本および運用カテゴリの内訳で表示します。それぞれのカテゴリには、さらに人件費と非人件費の内訳があります。ポートレットは、PPM Dashboard に追加することが可能です (『スタートアップガイド』ガイドを参照してください)。



このポートレットでデータ表示するには、HP Financial Management を有効にする必要があります。プロジェクトの財務サマリを使用しない場合は、プロジェクト作業計画のコスト情報が使用されます。

ポートフォリオの資本支出データを表示

HP Portfolio Managementでは、SOP 98-1機能を使用して資本リスク（進行中のすべてのプロジェクトの現時点までの資本支出の総額）を表示できます。データ表示にはHP Portfolio Managementのポートレットを使用します。このポートレットは、SOP 98-1トラッキングを有効にすると使用可能になります。このポートレットは、ポートフォリオの資本リスク情報を表示する機能として設計されています。

[トータルリスク] ポートレット

[トータルリスク] ポートレットは、ポートフォリオ内のすべてのプロジェクトの資本支出を、プロジェクトヘルス別に円グラフで表示します。

このポートレットでは、表 6-2に示すフィルタ条件を指定できます。

表 6-2. [トータルリスク] ポートレットのフィルタフィールド

フィールド名	説明
プロジェクト名	指定したプロジェクトが選択されます
プロジェクトマネージャ	指定したマネージャのプロジェクトが選択されます
ビジネス目標	指定したビジネス目標を持つプロジェクトが選択されます
プロジェクトステータス	指定したステータスのプロジェクトが選択されます
プロジェクトヘルス	指定したヘルス状態のプロジェクトが選択されます
開始日が次の日から	指定した日付より後に開始されるプロジェクトが選択されます
開始日が次の日まで	指定した日付より前に開始されるプロジェクトが選択されます
完了日が次の日から	指定した日付より後に完了するプロジェクトが選択されます
完了日が次の日まで	指定した日付より前に完了するプロジェクトが選択されます
最小計画資本	計画した資本支出が、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小帳簿価格	実際の資本支出が、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小計画コスト	計画したコストが、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小実績コスト	実際のコストが、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます

[減損リスク] ポートレット

[減損リスク] ポートレットは、[トータルリスク] ポートレットで表示される円グラフのスライスから、ドリルダウンすることによって表示される円グラフです。[減損リスク] ポートレットのスライスは、各プロジェクトの資本支出に対応し、[トータルリスク] ポートレットで選択したスライスの内訳を示します。

このポートレットでは、表 6-3 に示すフィルタ条件を指定できます。

表 6-3. [減損リスク] ポートレットのフィルタフィールド

フィールド名	説明
プロジェクト名	指定したプロジェクトが選択されます
プロジェクトマネージャ	指定したマネージャのプロジェクトが選択されます
ビジネス目標	指定したビジネス目標を持つプロジェクトが選択されます
プロジェクトステータス	指定したステータスのプロジェクトが選択されます
プロジェクトヘルス	指定したヘルス状態のプロジェクトが選択されます
開始日が次の日から	指定した日付より後に開始されるプロジェクトが選択されます
開始日が次の日まで	指定した日付より前に開始されるプロジェクトが選択されます
完了日が次の日から	指定した日付より後に完了するプロジェクトが選択されます
完了日が次の日まで	指定した日付より前に完了するプロジェクトが選択されます
最小計画資本	計画した資本支出が、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小帳簿価格	実際の資本支出が、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小計画コスト	計画したコストが、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小実績コスト	実際のコストが、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます

[資本化されたプロジェクトタイムライン] ポートレット

[資本化されたプロジェクトタイムライン] ポートレットは、ポートフォリオ内にある資産計上されたすべてのプロジェクトのタイムラインをガントチャートで表示します(デフォルト)。

このポートレットでは、表 6-4に示すフィルタ条件を指定できます。

表 6-4. [資本化されたプロジェクトタイムライン] ポートレットのフィルタフィールド

フィールド名	説明
プロジェクト名	指定したプロジェクトが選択されます
プロジェクトマネージャ	指定したマネージャのプロジェクトが選択されます
ビジネス目標	指定したビジネス目標を持つプロジェクトが選択されます
プロジェクトステータス	指定したステータスのプロジェクトが選択されます
プロジェクトヘルス	指定したヘルス状態のプロジェクトが選択されます
開始日が次の日から	指定した日付より後に開始されるプロジェクトが選択されます
開始日が次の日まで	指定した日付より前に開始されるプロジェクトが選択されます
完了日が次の日から	指定した日付より後に完了するプロジェクトが選択されます
完了日が次の日まで	指定した日付より前に完了するプロジェクトが選択されます
最小計画資本	計画した資本支出が、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小帳簿価格	実際の資本支出が、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小計画コスト	計画したコストが、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小実績コスト	実際のコストが、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます

[資本化されたプロジェクトの内訳] ポートレットの内訳

[資本化されたプロジェクトの内訳] ポートレットは、ポートフォリオ内にある資産計上されたすべてのプロジェクトの情報を表示します(デフォルト)。**[残存資本的支出]**列は、次の式で求められます。

$$\text{計画資本支出} - \text{帳簿価格} = \text{残存資本的支出}$$

このポートレットでは、表 6-5に示すフィルタ条件を指定できます。

表 6-5. [資本化されたプロジェクトの内訳] ポートレットのフィルタフィールド

フィールド名	説明
プロジェクト名	指定したプロジェクトが選択されます
プロジェクトマネージャ	指定したマネージャのプロジェクトが選択されます
ビジネス目標	指定したビジネス目標を持つプロジェクトが選択されます
プロジェクトステータス	指定したステータスのプロジェクトが選択されます
プロジェクトヘルス	指定したヘルス状態のプロジェクトが選択されます
開始日が次の日から	指定した日付より後に開始されるプロジェクトが選択されます
開始日が次の日まで	指定した日付より前に開始されるプロジェクトが選択されます
完了日が次の日から	指定した日付より後に完了するプロジェクトが選択されます
完了日が次の日まで	指定した日付より前に完了するプロジェクトが選択されます
最小計画資本	計画した資本支出が、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小帳簿価格	実際の資本支出が、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小計画コスト	計画したコストが、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます
最小実績コスト	実際のコストが、指定した最小額よりも大きいプロジェクトが選択されます

A コストの計算間隔の設定

コストの計算間隔の概要

次に示すコストデータのロールアップでは、システム全体のデータが定期的に再計算されます。

- 作業計画タスクの実績コストをサマリタスクにロールアップする処理は、コストロールアップサービスによって実行されます。
- 作業計画とタイムシートの実績コストをプロジェクトの財務サマリにロールアップする処理は、コストロールアップサービスによって実行されます。
- 提案および資産でタイムシートの実績データを財務サマリにロールアップする処理は、コストロールアップサービスによって実行されます。
- ライフサイクルエンティティの予測コスト、実績コスト、財務ベネフィットをプログラムの財務サマリにロールアップする処理は、財務サマリロールアップサービスによって実行されます。
- コストルールの変更は、為替レート更新サービスによって実行されます。
- 財務為替レートの変更は、コストレートルール更新サービスによって実行されます。

ロールアップ計算は定期的に行われるため、計算のタイミングによっては、依存関係のあるエンティティのコストデータに矛盾が発生することがあります。

上記のサービスの詳細については、「[コスト計算サービス](#)」を参照してください。

コスト計算サービス

定期的なロールアップ計算はシステム全体で実行され、PPM Server で実行される次のサービスによって制御されます。サービスの詳細を表 A-1 にまとめます。

表 A-1. 定期的なコスト計算を行うサービス (1/2 ページ)

サービス	説明	デフォルト値
コストレート ルール更新 サービス	コストルールの更新後にコストを再計算したかどうかを確認します。また、コストルールの更新の有無やコストの再計算をチェックする頻度を確認します。	ステータス: 有効 スケジュールタイプ: 単純 スケジュール: 時間ごと
コストロール アップサービス	コストの定期的なロールアップ計算が実行されたかどうかをチェックし、再計算の頻度を確認します。 デフォルトでは、3650日(10年)を超えるプロジェクトではコストのロールアップ計算は実行されません。このしきい値は、PROJ_COST_ROLL_UP_DURATION_IN_DAYSパラメータで設定します。	ステータス: 有効 スケジュールタイプ: 単純 スケジュール: 時間ごと

表 A-1. 定期的なコスト計算を行うサービス (2/2 ページ)

サービス	説明	デフォルト値
財務サマリの ロールアップ サービス	プログラムの予測コスト、実績コスト、財務ベネフィットを再計算したかどうかをチェックし、再計算の頻度を確認します。このサービスの実行対象は、Financial Managementが有効になっているプログラムと、処理対象としてマークしたプログラムのみです。プログラムコンテンツが変更された場合（ライフサイクルエンティティの予測コストおよび実績コストの変更、ライフサイクルエンティティの財務ベネフィットの変更、ライフサイクルエンティティの削除など）、そのプログラムは処理対象としてマークされます。	ステータス: 有効 スケジュールタイプ: 重負荷 スケジュール: 3時間ごと
為替レート更新 サービス	財務為替レートの更新後に再計算を行ったかどうかをチェックし、財務為替レートルールの更新の有無をチェックする頻度とコストを再計算する頻度を確認します。	ステータス: 有効 スケジュールタイプ: 単純 スケジュール: 2時間ごと

データの更新後、ロールアップサービスがまだ実行されていない場合、ロールアップデータが最新の状態ではないというメッセージと、ロールアップサービスの実行予定時刻が表示されます。

サービスを変更するには、[システム管理者: サービススケジュールの編集] というアクセス許可が必要です。

サービスを変更するには、次の手順を実行してください。

1. 標準インターフェースのメニューバーで、[開く] > [管理] > [サービスのスケジュール] を選択します。
2. 変更するサービスの行をクリックします。
3. [ステータス] ([有効] または [無効])、[スケジュールタイプ]、[スケジュール] を必要に応じて変更します。[スケジュールタイプ] の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
4. [保存] をクリックします。

索引

M

Microsoft Excel

- 財務データテーブルのエクスポート, **129**
- プログラムの財務サマ리를 エクスポート, **104**
- ライフサイクルエンティティの財務サマ리의 エクスポート, **68**

S

SOP 98-1, **167**

- アクティビティ, **169**
- アクティビティの継承, **174**
- アクティビティの設定, **169**
- アクティビティの割り当て, **173**
- 資産計上も参照
- 有効化, **168**

あ

アーンドバリューの計算式, **150**

アーンドバリュー分析 作業計画, **164**

アクセス許可

- アクティビティ, **169**
- コスト, **134**
- コストルール, **21**
- 財務サマリ, **134**
- 財務データテーブル, **134**
- 承認された予算, **134**

ベネフィット, **134**

アクセス権限

- 財務データテーブル, **130**
- 組織単位の財務サマリ, **118**
- プログラムの財務サマリ, **108**
- ライフサイクルエンティティの財務サマリ, **78**

アクセス制御リスト (ACL)

- アクセス権限を参照

アクティビティ, **169**

- SOP 98-1 向けに作成, **170**
- アクセス許可, **169**
- 継承, **174**
- 設定, **169**
- タスクとの関連付け, **173**
- プロジェクトとの関連付け, **173**
- 変更, **171**
- 無効化, **172**
- 有効化, **170**

う

運用費データ

- プログラム, **176**
- [プログラムコストサマリ] ポートレット, **176**
- プロジェクト, **175**

え

エクスポート

Microsoft Excel に財務データテーブルをエクスポート, **129**

プログラムの財務サマ리를 Microsoft Excel にエクスポート, **104**

ライフサイクルエンティティの財務サマ리를 Microsoft Excel にエクスポート, **68**

エラー

コスト係数, **26**

コストルール, **26**

エンティティ

関連付けられた地域, **31, 33**

適用可能なコスト係数, **24**

か

カレンダー

地域での指定, **32**

変更, **32**

為替レート

財務為替レートを参照

為替レート更新サービス, **181, 183**

監査履歴

組織単位の財務サマ리를表示, **118**

プログラムの財務サマ리를表示, **105**

ライフサイクルエンティティの財務サマ리를表示, **69**

管理

財務為替レート, **28**

地域, **31**

通貨, **28**

く

グラフ

プログラムの財務サマ리를, **88**

ライフサイクルエンティティの財務サマ리를, **45**

け

計画価値の計算式, **149**

計画コストの計算式, **148**

計画人件費の計算式, **148**

[減損リスク]ポートレット, **178**

こ

合計 (年別)

プログラムの財務サマ리를, **88**

ライフサイクルエンティティの財務サマ리를, **45**

コスト

資産計上を参照

設定、財務サマ리를へのコストのロールアップも参照

アクセス許可, **134**

コストデータも参照

財務データテーブル, **124**

設定

プロジェクト人件費の入力も参照

プログラムの財務サマ리를, **89**

編集, **95**

プログラムの分析, **166**

プロジェクトからプログラムへのロールアップ, **158**

プロジェクトの分析, **158**

ライフサイクルエンティティの財務サマ리를, **46**

編集, **54**

ロールアップサービス, **181, 182**

コスト係数, **15**

エラー, **26**

削除, **20**

冗長, **26**

設定, **20**

- 追加, [20](#)
- 適用可能なエンティティ, [24](#)
- 優先順位、設定, [20](#)
- コスト係数の優先順位、設定, [20](#)
- コストデータ, [147](#)
 - [プログラムコストサマリ] ポートレット, [176](#)
 - 計算, [147](#)
 - サービス, [182](#)
 - 計算間隔の設定, [181](#)
 - 現地通貨の表示, [31](#)
 - コストも参照
 - コストルール変更後の再計算, [22](#)
 - 財務為替レートの追加後の再計算, [31](#)式, [148](#)
 - ダッシュボードでの表示, [175](#)
 - ロールアップ間隔, [181](#)
- [コストと工数] ポリシー, [152](#)
- コストと工数ポリシー
 - Financial Management セクション, [152](#)
- コストの差異の計算式, [151](#)
- コストの資産計上
 - 資産計上、設定を参照
- コストのロールアップ
 - 設定、財務サマリへのコストのロールアップを参照
- コストパフォーマンス指数の計算式, [150](#)
- コストルール, [15](#)
 - アクセス許可, [21](#)
 - エラー, [26](#)
 - コスト係数の適用可能なエンティティ, [24](#)
 - コスト係数の優先順位, [20](#)
 - コストの再計算, [22](#)
 - 削除, [21](#)
 - 作成, [16](#)
 - セキュリティ, [21](#)
 - 設定, [15](#), [16](#)

- 変更, [17](#)
- 優先順位, [22](#)
- 例, [23](#)

- コストルールの優先順位, [22](#)
- コストレート, [15](#)
 - 設定, [17](#)
 - 変更, [17](#)
- コストレートルール更新サービス, [181](#), [182](#)
- コストロールアップサービス, [181](#), [182](#)
- コピー
 - 提案
 - 財務サマリを含む, [62](#)
 - 財務データテーブルを含む, [127](#)
 - リクエスト、財務データテーブルを含む, [127](#)

さ

- サービス
 - 為替レート更新サービス, [181](#), [183](#)
 - コスト計算, [182](#)
 - コストレートルール更新サービス, [181](#), [182](#)
 - コストロールアップサービス, [181](#), [182](#)
 - 財務サマリのロールアップサービス, [181](#), [183](#)
- 財務為替レート, [27](#)
 - 管理, [28](#)
 - コストの再計算, [31](#)
 - 追加, [29](#)
 - 編集, [30](#)
- 財務サマリ, [37](#)
 - アクセス許可, [134](#)
 - 資産
 - 財務サマリ、ライフサイクルエンティティも参照
 - コストの資産計上の設定, [76](#)
 - コストのロールアップの設定, [76](#)
 - 組織単位, [112](#)

- アクセス権限, **118**
- 監査履歴, **118**
- 承認された予算, **113**
- 承認された予算に明細を追加, **116**
- 表示, **115**
- 提案
 - 財務サマリ、ライフサイクルエンティティも参照
 - コストの資産計上の設定, **71**
 - コストのロールアップの設定, **71**
- プログラム, **82**
 - Microsoft Excel にエクスポート, **104**
 - アクセス権限, **108**
 - 監査履歴, **105**
 - グラフ, **88**
 - 合計(年別), **88**
 - コスト, **89**
 - コストの資産計上の設定, **106**
 - コストの編集, **95**
 - コストのロールアップの設定, **106**
 - 承認された予算に明細を追加, **94**
 - スナップショット
 - スナップショットを参照
 - 表示, **93**
 - ベネフィット, **91**
 - 編集, **93**
 - 割引率, **107**
- プロジェクト
 - 財務サマリ、ライフサイクルエンティティも参照
 - コストの資産計上の設定, **73**
 - コストのロールアップの設定, **73**
- プロジェクトからプログラムへのロールアップ, **158**
- ライフサイクルエンティティ, **39, 50**
 - Microsoft Excel にエクスポート, **68**
 - アクセス権限, **78**
 - グラフ, **45**
 - 合計(年別), **45**
 - コスト, **46**
 - コストの資産計上の設定, **70**
 - コストの編集, **54**
 - コストのロールアップの設定, **70**
 - 承認された予算に明細を追加, **52**
 - 承認済み予算, **44**
 - スナップショット
 - スナップショットを参照
 - 表示, **51**
 - ベネフィット, **48**
 - 編集, **52**
 - ロールアップサービス, **183**
- 財務サマリのロールアップサービス, **181, 183**
- 財務データテーブル, **121**
 - Microsoft Excel にエクスポート, **129**
 - アクセス許可, **134**
 - アクセス権限, **130**
 - コスト, **124**
 - 作成, **125**
 - ベネフィット, **124**
 - 編集, **125**
 - ライフサイクルエンティティを遷移させる操作, **127**
- 財務ベネフィット
 - ベネフィットを参照
- 作業計画
 - アーンドバリュー分析, **164**
 - アクティビティの継承, **174**
 - 現在のコストメトリクス, **162**
 - プロジェクトの実績人件費を財務サマリにロールアップ
 - 設定、財務サマリへのコストのロールアップを参照
 - プロジェクトの実績非人件費を財務サマリにロールアップ
 - 設定、財務サマリへのコストのロールアップを参照
 - 累積コストメトリクス, **158**
- 削除
 - コスト係数, **20**
 - コストルール, **21**

作成

- SOP 98-1 のアクティビティ, **170**
- コストルール, **16**
- 財務データテーブル, **125**
- 地域, **32**

財務サマリ

- ライフサイクルエンティティ
監査履歴, **69**

残存資本的支出の計算式, **180**

し

資産

- 財務サマリ
財務サマリ、資産を参照
設定
コストの資産計上, **76**
コストのロールアップ, **76**

資産計上, **167**

- SOP 98-1 も参照
- アクティビティでのトラッキング, **169**
- アクティビティの継承, **174**
- アクティビティの割り当て, **173**
- 設定, **70, 168**
 - アクティビティ, **169**
 - 資産, **76**
 - 提案, **71**
 - プログラム, **106**
 - プロジェクト, **73**
 - 有効化, **71, 106**

表示, **175**

- タスク, **176**
- プログラム, **176**
- プロジェクト, **175**
- ポートフォリオ, **177**
- プログラムの設定, **106**
- 有効化, **168**

実績

- コストを参照

実績コストの計算式, **149**

実績人件費の計算式, **148**

- [資本化されたプロジェクトタイムライン]
ポートレット, **179**

- [資本化されたプロジェクトの内訳] ポート
レット, **180**

資本支出データ

- [減損リスク] ポートレット, **178**
- [資本化されたプロジェクトの内訳] ポー
トレット, **180**
- [トータルリスク] ポートレット, **177**
- プログラム, **176**
- [プログラムコストサマリ] ポートレ
ット, **176**
- プロジェクト, **175**
- ポートフォリオ, **177**

資本リスク, **177**

承認された予算

- アクセス許可, **134**
- 組織単位の財務サマリ, **113**
 - 明細を追加, **116**
- プログラムの財務サマリ
明細を追加, **94**
- ライフサイクルエンティティの財務サマ
リ
明細を追加, **52**

承認済み予算

- ライフサイクルエンティティの財務サマ
リ, **44**

す

スケジュール実績指数の計算式, **150**

スケジュールの差異の計算式, **151**

スタッフィングプロファイル

- 計画人件費を財務サマリにロールアップ
設定、財務サマリへのコストのロール
アップを参照

スナップショット

- プログラムの財務サマリ, **100**

作成, **101**
比較, **103**
表示, **101**
レコードの計画、指定, **102**
ライフサイクルエンティティの財務サマリ, **62**
作成, **63**
自動, **65**
スナップショットの比較、レコードの計画スナップショット、現在の財務サマリ, **66**
レコードの計画、指定, **65**

せ

セキュリティ
財務サマリ
組織単位, **118**
プログラム, **108**
ライフサイクルエンティティ, **78**
財務データテーブル, **130**

セキュリティグループ
コストルール, **21**

設定

アクティビティ, **169**
コスト係数, **20**
コストルール, **15, 16**
コストレート, **17**
コストロールアップサービスでの計算頻度の設定, **71**
財務サマリ
通貨金額、入力, **132**
財務サマリのロールアップサービスの計算頻度を設定, **107**
財務サマリへのロールアップ, **70**
作業計画とタイムシートからプロジェクトの実績人件費を計算, **75**
資産の計画人件費をスタッフィングプロファイルから計算, **77**
資産の実績人件費をタイムシートから計算, **77**

タイムシートから実績人件費を計算, **72**

提案の計画人件費をスタッフィングプロファイルから計算, **72**

プロジェクトの計画人件費をスタッフィングプロファイルから計算, **74**

プロジェクトの実績非人件費を作業計画から計算, **75**

資産計上

資産計上、設定も参照

プログラムの財務サマリへのロールアップ, **106**

プロジェクトの人件費入力

作業計画でのスケジュール工数から計画人件費を計算, **153**

作業計画またはタイムシートの実績工数から計算される実績人件費, **154**

タスクでの計画人件費の手入力, **153**

タスクでの実績人件費の手入力, **154**

選択

ダッシュボードページの表示通貨, **35**
ポートレットでの表示通貨, **35**

そ

組織単位

財務サマリ
財務サマリ、組織単位を参照

た

タイムシート

実績人件費を財務サマリにロールアップ設定、財務サマリへのコストのロールアップを参照

タスク

アクティビティの継承, **174**

アクティビティの割り当て, **173**

ダッシュボード

コストデータの表示, **175**

ダッシュボードページ

通貨のパーソナル表示, **35**

ち

地域

- カレンダーの指定, **32**
- カレンダーの変更, **32**
- 管理, **31**
- 関連付けられたエンティティ, **31, 33**
- 現地通貨の指定, **32**
- 現地通貨の変更, **32**
- 作成, **32**
- 変更, **32**
- 無効化, **32**
- 有効化, **32**
- リソースの割り当て, **33**

つ

追加

- コスト係数, **20**
- 財務為替レート, **29**
- 通貨, **28**

通貨, **27**

- 管理, **28**
- 金額, 入力, **132**
- 形式, **36**
- ダッシュボードページでの表示, **35**
- 地域ごとの表示, **31**
- 地域での指定, **32**
- 地域での変更, **32**
- 追加, **28**
- 表示プリファレンス、設定, **35**
- ポートレットでの表示, **35**
- 問題の表示, **28**

て

提案

- コピー
 - 財務サマリを含む, **62**
 - 財務データテーブルを含む, **127**

財務サマリ

- 財務サマリ、提案を参照
- 設定
 - コストの資産計上, **71**
 - コストのロールアップ, **71**

と

- [トータルリスク] ポートレット, **177**
- トラブルシューティング
 - 通貨表示での問題, **28**

ひ

比較

- プログラムの財務サマリのスナップショット, **103**

表示

- 組織単位の財務サマリ, **115**
- 組織単位の財務サマリの監査履歴, **118**
- プログラムの財務サマリ, **93**
- プログラムの財務サマリの監査履歴, **105**
- プログラムの財務サマリのスナップショット, **101**
- ライフサイクルエンティティの財務サマリ, **51**
- ライフサイクルエンティティの財務サマリの監査履歴, **69**
- ライフサイクルエンティティの財務サマリのスナップショット, **64**

ふ

プログラム

- 運用費データの表示, **176**
- コスト分析, **166**
- 財務サマリ, **82**
- 財務サマリでのコストの編集, **95**
- 財務サマリでベネフィットを編集, **98**
- 財務サマリのアクセス権限, **108**
- 財務サマリのコスト, **89**
- 財務サマリのスナップショット, **100**

- 財務サマリのスナップショットの作成, **101**
- 財務サマリのスナップショットの表示, **101**
- 財務サマリの表示, **93**
- 財務サマリのベネフィット, **91**
- 財務サマリの編集, **93**
- 財務サマリのレコードの計画スナップショット, **102**
- 財務サマ리를 Microsoft Excel にエクスポート, **104**
- 資本支出データの表示, **176**
- 承認された予算に明細を追加, **94**
- スナップショットの比較, **103**
- 設定
 - コストの資産計上, **106**
 - コストのロールアップ, **106**
- プロジェクトからコストをロールアップ, **158**
- [プログラムコストサマリ] ポートレット, **176**
- プロジェクト
 - アクティビティの割り当て, **173**
 - 運用費データの表示, **175**
 - コスト分析, **158**
 - 財務サマリ
 - 財務サマリ、プロジェクトを参照
 - 資本支出データの表示, **175**
 - 人件費の入力
 - 設定
 - プロジェクト人件費の入力も参照
 - 設定
 - コストの資産計上, **73**
 - コストのロールアップ, **73**
 - タスクでのアクティビティの継承, **174**
 - プログラムへコストをロールアップ, **158**
- [プロジェクトの累積コストメトリクス] ページ, **158**
- [プロジェクトの現在のコストメトリクスの分析] ページ, **162**
- [プロジェクトの現在のコストメトリクス] ページ, **162**
- プロジェクトの人件費の入力
 - 設定
 - プロジェクト人件費の入力も参照
- 分析
 - アーンドバリュー, **164**
 - プログラムコスト, **166**
 - プロジェクトコスト, **158**
 - プロジェクトの現在のコストメトリクス, **162**
 - プロジェクトの累積コストメトリクス, **158**
- へ
- ベースラインコストの計算式, **148**
- ベースライン人件費の計算式, **148**
- ベースライン非人件費の計算式, **148**
- ベネフィット
 - アクセス許可, **134**
 - 財務データテーブル, **124**
 - プログラムの財務サマリ, **91**
 - 編集, **98**
 - ライフサイクルエンティティの財務サマリ, **48**
 - 編集, **57**
- 変更
 - アクティビティ, **171**
 - コストルール, **17**
 - コストレート, **17**
 - 地域, **32**
 - 地域のカレンダー, **32**
 - 地域の通貨, **32**
- 編集
 - 財務為替レート, **30**
 - 財務データテーブル, **125**
 - 組織単位の財務サマリ
 - 承認された予算, **116**

プログラムの財務サマリ, **93**
コスト, **95**
承認された予算, **94**
ベネフィット, **98**
ライフサイクルエンティティの財務サマリ, **52**
コスト, **54**
承認された予算, **52**
ベネフィット, **57**

ほ

ポートフォリオ
[減損リスク] ポートレット, **178**
[資本化されたプロジェクトタイムライン]
] ポートレット, **179**
[資本化されたプロジェクトの内訳] ポー
トレット, **180**
資本支出データの表示, **177**
資本リスク, **177**
[トータルリスク] ポートレット, **177**

ポートレット
減損リスク, **178**
資本化されたプロジェクトタイムライン,
179
資本化されたプロジェクトの内訳, **180**
通貨、表示プリファレンス, **35**
トータルリスク, **177**
プログラムコストサマリ, **176**

む

無効化
アクティビティ, **172**
地域, **32**

ゆ

有効化
SOP 98-1 トラッキング, **168**
システムレベル, **168**
プロジェクト, **168**

アクティビティ, **170**
資産計上トラッキング, **168**
システムレベル, **168**
プロジェクト, **168**
地域, **32**

よ

予算
承認済み予算を参照
財務サマリを参照
予測コストと実績コスト
コストを参照
予測実際コストの計算式, **151**

ら

ライフサイクルエンティティ
財務サマリ
財務サマリ、ライフサイクルエンティ
ティを参照
ライフサイクルエンティティの財務サマリで
レコードの計画に指定したスナップ
ショット
他のスナップショットや現在の財務サマ
リと比較, **66**
ライフサイクルエンティティの財務サマリの
スナップショット
表示, **64**

り

リクエスト
コピー、財務データテーブルを含む, **127**
財務データテーブル, **121**
リソース
地域への割り当て, **33**

る

[累積コストメトリクスの分析] ページ, **158**

れ

レコードの計画

プログラムの財務サマリのスナップ
ショット, **102**

比較, **103**

ライフサイクルエンティティの財務サマ
リのスナップショット, **65**

ろ

ロールアップ

設定、財務サマリへのコストのロール
アップも参照

ロールアップサービス, **181, 182, 183**

わ

割り当て

地域のリソース, **33**

割引率

プログラムの財務サマリ, **107**